

Table with columns for investigation number (調査番號), name (名), and various performance metrics including flow rate (流量), pressure (壓力), and efficiency (效率). It contains multiple rows of data for different models.

Table with columns for investigation number (調査番號), name (名), and various performance metrics. It includes detailed notes (備考) regarding specific models and their operational characteristics.

二、車輪付型排液量試験成績

Table with columns for investigation number (調査番號), name (名), and various performance metrics. It includes detailed notes (備考) regarding specific models and their operational characteristics.

13E	丸山式横型動力用	ナ稍アリ	トバタ陸用一・五馬力石油發動機	壓力計指針ノ振レ極メテ急ニシテ稍大	100	1.6
30E	二重瓶式動力	ナ稍アリ	クボタ式D型馬力石油發動機	運轉ニ伴フ振動大、之車輪付ノタメ重心高キ爲メカ壓力常ニ變化ス安全弁發條強過グルタメト認ム從テホースノ蛇動甚シキ場合アリ	100	1.4
39E	有光式三聯成動力	ナ稍アリ	トバタ陸用一・馬力石油發動機		100	2.6
42E	町田式三〇〇番コッサン動力E型	ナ稍アリ	ヤンマー三・五馬力石油發動機	噴霧ノ棒狀トナストキニ〇封度ノ降下ヲ見ルニ留	100	2.9

第四表 噴霧試驗成績 (携帶用型ノ分)

調査番号	名稱	供試噴霧器			使用ノ本數	排液量		噴霧放散狀況試驗			噴霧形狀	粒狀	粗密	狀況			
		設計符號	種類符號	配列符號		頭數	孔數	數全孔	數每分	壓指示					量每分	壓當初放	間デノ壓マ
2A1	平位式背掛型	ABAAA	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	1.3	中	ナ稍アリ	良	
3A1	山田式背掛型	ABAAA	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	中	ナ稍アリ	良		
4A1	平位式背掛型	ABAAA	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	中	ナ稍アリ	良		
7A1	白川式背掛型	CCDCC	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	中	ナ稍アリ	良		
11A2	白井式背掛型	AAAEF	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	中	ナ稍アリ	良		
12A1	並木式背掛型	AAAEF	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	中	ナ稍アリ	良		
13A	高川式背掛型	EEBAA	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	中	ナ稍アリ	良		
14A	九山式背掛型	BBBBS	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	中	ナ稍アリ	良		
15A1	山口式背掛型	BBBBS	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	中	ナ稍アリ	良		
16Aa	高川式背掛型	BBBBS	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	中	ナ稍アリ	良		
17A	高川式背掛型	EEBAA	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	中	ナ稍アリ	良		
18A	高川式背掛型	EEBAA	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	中	ナ稍アリ	良		
19A1	高川式背掛型	EEBAA	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	中	ナ稍アリ	良		
21A1	三井式背掛型	AIIB	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	中	ナ稍アリ	良		
22A1	三井式背掛型	AIIB	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	中	ナ稍アリ	良		
23A1	三井式背掛型	BB	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	中	ナ稍アリ	良		
24A	三井式背掛型	BB	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	中	ナ稍アリ	良		
25A2	三井式背掛型	BB	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	中	ナ稍アリ	良		
27A1	三井式背掛型	BB	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	中	ナ稍アリ	良		
28A	三井式背掛型	AAACHA	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	中	ナ稍アリ	良		
29A1	三井式背掛型	AAACHA	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	中	ナ稍アリ	良		
31Aa	三井式背掛型	AAACHA	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	中	ナ稍アリ	良		
32A	三井式背掛型	AAACHA	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	中	ナ稍アリ	良		
34A1	三井式背掛型	AAACHA	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	中	ナ稍アリ	良		
35A1	三井式背掛型	AAACHA	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	中	ナ稍アリ	良		
39A	三井式背掛型	CCBBB	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	中	ナ稍アリ	良		
41A	三井式背掛型	CCBBB	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	中	ナ稍アリ	良		
44A1	三井式背掛型	CCBBB	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	中	ナ稍アリ	良		
45A1	三井式背掛型	ABAE	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	中	ナ稍アリ	良		
46A1	三井式背掛型	ABAE	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	中	ナ稍アリ	良		
47A1	三井式背掛型	ABAE	SB	SB	1	1	35.7	0.6	0.4	2.8	7.4	1.3	中	ナ稍アリ	良		

35A1
39A
41A
44A1
45A1
46A1
47A1

第六表 噴霧試驗成績 (大型ノ分)

番号	噴霧角	噴霧形状	噴霧状況	備考
35A1	100	環状	良好	
39A	100	環状	良好	
41A	100	環状	良好	
44A1	100	環状	良好	
45A1	100	環状	良好	
46A1	100	環状	良好	
47A1	100	環状	良好	

調査番号	名称	供試機	噴霧頭	使用本数	排液量	噴霧時間	噴霧量	噴霧角	噴霧形状	噴霧状況	備考
1C1	藤井式第一號	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
2C2	藤井式第一號	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
3C3	藤井式第一號	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
6C6	藤井式第一號	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
7C7	藤井式第一號	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
10C10	藤井式第一號	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
11C11	白井式	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
12C12	白井式	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
15C15	丸山式	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
16C16	高崎式	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
17C17	高崎式	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
18C18	植木式	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
22C22	植木式	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
24C24	植木式	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
25C25	白鳥式	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
30C30	二重瓶式	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
31C31	池上式	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
34C34	望月式	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
35C35	吉村式	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
39C39	有光式	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
5D5	田中式	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
11D11	田中式	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
13D13	田中式	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
18D18	川崎式	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
26D26	齋藤式	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
40D40	長尾式	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
42D42	長尾式	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	

第六表 噴霧試驗成績 (車輪付型ノ分)

調査番号	名称	供試機	噴霧頭	使用本数	排液量	噴霧時間	噴霧量	噴霧角	噴霧形状	噴霧状況	備考
5D5	田中式	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
11D11	田中式	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
13D13	田中式	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
18D18	川崎式	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
26D26	齋藤式	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
40D40	長尾式	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	
42D42	長尾式	1-A	DB	1	100	100	100	100	環状	良好	

2A ₂ 3A ₂ 4A ₂ 7A ₁ 11A ₂	山田式背負型自動噴霧器 山田式背負型自動噴霧器 山田式背負型自動噴霧器 山田式背負型自動噴霧器 山田式背負型自動噴霧器	200 200 200 200 200	不能 不能 不能 不能 不能	不能 不能 不能 不能 不能	不能 不能 不能 不能 不能	不能 不能 不能 不能 不能	一五〇封度ニテ「シリンダー」上部ノ「ハンダ」付部分破レ試験不能 一四〇封度ニテ液槽上部先端ノ「ハンダ」付部分破レ試験不能
22C 24C ₁ 25C 30C ₁	植木式噴霧器 植木式噴霧器 植木式噴霧器 植木式噴霧器	200 200 200 200	不能 不能 不能 不能	不能 不能 不能 不能	不能 不能 不能 不能	不能 不能 不能 不能	三二〇封度ニテ「シリンダー」上部ノ「パッキング」ハミ出ズ
31C 34C 35C 39C	池田式噴霧器 池田式噴霧器 池田式噴霧器 池田式噴霧器	200 200 200 200	不能 不能 不能 不能	不能 不能 不能 不能	不能 不能 不能 不能	不能 不能 不能 不能	三二〇封度ニテ「シリンダー」上部ノ「パッキング」ハミ出ズ
9E 15E 30E 39E 43E	長尾式動力車輪付噴霧器 長尾式動力車輪付噴霧器 長尾式動力車輪付噴霧器 長尾式動力車輪付噴霧器 長尾式動力車輪付噴霧器	200 200 200 200 200	不能 不能 不能 不能 不能	不能 不能 不能 不能 不能	不能 不能 不能 不能 不能	不能 不能 不能 不能 不能	一七〇封度ニテ空気室下部継目ヨリ漏水シ始メ試験不能 一〇〇封度ニテ安全弁ノ下方ノ水管(鋳物)ノ集(ス)ヨリ漏水シ始メ試験不能
SD ₁ 11D 13D 18D 19D 26D 40D 42D	田中式大型噴霧器 田中式中型噴霧器 田中式小型噴霧器 田中式小型噴霧器 田中式小型噴霧器 田中式小型噴霧器 田中式小型噴霧器 田中式小型噴霧器	200 200 200 200 200 200 200 200	不能 不能 不能 不能 不能 不能 不能 不能	不能 不能 不能 不能 不能 不能 不能 不能	不能 不能 不能 不能 不能 不能 不能 不能	不能 不能 不能 不能 不能 不能 不能 不能	三六〇封度ニテ空気室下「パッキング」ハミ出ズ 三八〇封度ニテ空気室下部(鋳物)ノ小孔ヨリ漏水シ始ム

備考 (一)内ノ壓力ノ規定壓下記ノ壓力ハ規定壓ニ上昇セシメ得ザリシトキノ初壓トス

四 鑑定試験ノ結果

鑑定試験ノ結果適當ナリト認メタル噴霧器(申込順)

- (一) 携 帶 用 型
- 平位式肩掛型噴霧器 尾道市電鐵本社前三一 平位唧筒商會 平位 順 作
 - 山田式特製肩掛噴霧器 東京市淺草區神吉町三九 山 田 知 一 郎
 - タキイ號肩掛式噴霧器 東京市梅小路區東一八〇 同 同 瀧井治三郎
 - タキイ背負式噴霧器 同 同 同 同
 - 白川式背負型自動噴霧器 奈良縣山邊郡朝和村長柄 白川 唧 筒 稻 拔 商 會
 - 白川式背負型自動噴霧器 同 同 同 同
 - 白井式背負型攪拌器付一斗入噴霧器 東京市下谷區金杉町九二番地 白龍社唧筒製作所 白 井 瀧 藏
 - 白井式丸型背負自動噴霧器 同 同 同 同
 - 並木式肩掛式半自動噴霧器 東京市淺草區七軒町四 並 木 喜 三 郎
 - 並木式三號背囊型噴霧器 同 同 同 同
 - 日東式背負自動噴霧器 大阪市北區澤上江町七丁目二五 嵯 峨 山 喜 一 郎
 - 丸山式背囊型半自動噴霧器 東京市神田區鍛冶町二丁目一 丸山商會 内 山 良 治
 - 丸山式背負自動噴霧器 同 同 同 同
 - 高塚式昇用噴霧器 東京市下谷區御徒町二丁目三二 高 塚 丑 之 助

川崎式肩掛噴霧器
 ヤマト肩掛噴霧器
 ヤマト背囊噴霧器
 三公式背負自動噴霧器
 三公式肩掛用噴霧器
 植木式空氣自動背負型噴霧器
 植木式背囊型噴霧器
 齋藤式肩掛用噴霧器
 齋藤式背負自動噴霧器
 ウシダ成功肩掛用噴霧器
 橋本式背囊型噴霧器
 小林式背囊式噴霧器
 神木式肩掛半自動型噴霧器
 神木式背囊型噴霧器
 池上式新案肩掛分解蓋付噴霧器
 池上式T字型強力式肩掛噴霧器
 宿谷新肩掛噴霧器
 望月式T字型肩掛噴霧器

靜岡縣富士郡本市場二九二
 東京市豊島區目白町三丁目三五二二
 東京市下谷區龍泉寺町二六三
 同
 横濱市中區中村町二一
 同
 東京市神田區五軒町二二
 同
 東京市芝區白金三光町一五七
 東京市中野區文園町十一
 長野縣下高井郡中野町大字中野七六ノ四
 東京市淺草區阿部川町五九
 同
 清水市江尻町三〇
 同
 東京市下谷區谷中眞島町一
 清水市辻一四六ノ四

川崎噴霧器製作所 川崎 泰
 ヤマト種苗農具株式會社 石田増之助
 同
 三公商會 山崎 辰五郎
 同
 横濱植木株式會社 鈴木 清藏
 同
 三共商會 齋藤 泰一郎
 同
 牛田噴霧器工場 牛田 清郎
 橋本噴霧器製作所 橋本 春吉
 小林 八郎
 神木唧筒商會 神木 菊太郎
 同
 池上農具商會 池上 宇吉
 同
 宿谷製作所 宿谷 龜三郎
 望月 文次郎

望月式肩掛半自動噴霧器
 吉村式背囊型自動噴霧器
 吉村式背負型A自動噴霧器
 有光式肩掛噴霧器
 更生式背囊型噴霧器
 鷺印文化噴霧器
 橋本式最新半自動肩掛型噴霧器
 協立式背負型自動噴霧器
 (二) 普通型
 平位式分解半自動噴霧器
 山田式最新式噴霧器
 山田式噴霧器
 タキイ號大型半自動噴霧器
 旭式大型半自動噴霧器
 白川式半自動A型噴霧器
 明立式別型半自動噴霧器
 並木改強力一本管大器
 並木式分解式朝顔半自動噴霧器

同
 大阪市浪速區元町五ノ五三四
 同
 大阪市西區阿波座上通一ノ一〇
 東京市神田區金澤町四
 東京市本所區龜澤町四丁目一九
 東京市下谷區上車坂町二六
 東京市淺草區小島町一丁目三
 尾道市電鐵本社前三三一
 東京市淺草區神吉町三九
 同
 京都市梅小路猿樂東入一八〇
 大阪市東區本野町一七
 奈良縣山邊郡朝和村長柄
 久留米市兩替町六
 東京市淺草區七軒町四
 同

同
 吉村唧筒製作所 吉村 生雄
 同
 有光製作所 有光 幸茂
 更生式噴霧器製作所 石川 清通
 安田 松太郎
 三星社 橋本 芳助
 協立商會 渡邊 佳照
 平位唧筒商會 平位 順作
 山田 和一郎
 同
 タキイ種苗株式會社 瀧井治三郎
 旭國産噴霧器工場 内田 與助
 白川 唧筒 稻坂 商會
 明立社 九州營業所 井上梅太郎
 並木 喜三郎
 同

日東式總分解半自動噴霧器	大阪市北區澤上江町七丁目二五	日東社	嵯峨山善一郎
日東式小型半自動噴霧器	大阪市北區澤上江町七丁目二五	日東社	嵯峨山善一郎
丸山式引拔管三吋半橫分解半自動噴霧器	東京市神田區鍛冶町二丁目一番地	丸山商會	内山良治
高塚式強壓半自動噴霧器	東京市下谷區御徒町二丁目三二	高塚	塚丑之助
川崎式半自動噴霧器	靜岡縣富士郡富士町本市場二九二	川崎噴霧器製作所	川崎泰
大石式噴霧器一號型	東京市豊島區目白町三五二二	ヤマト種苗農具株式會社	石田増之助
三式副動式半自動噴霧器	大阪市西區土佐堀通一丁目三四	日本農藥株式會社	夏目廉介
三式強力半自動噴霧器	東京市下谷區龍泉寺町二六二	三公社	山崎辰五郎
植木式特製半自動噴霧器	同	同	同
植木式實用半自動噴霧器	橫濱市中區中村町二一	橫濱植木株式會社	鈴木清藏
ウシダ成功噴霧器	同	同	同
白鳥式半自動高壓噴霧器	東京市芝區白金三光町一五七	牛田噴霧器工場	牛田清郎
齋藤式大型半自動噴霧器	東京市下谷區入谷町三七一	白鳥商會製作所	白鳥音治
神木式省力半自動型噴霧器	東京市神田區松住町一二	齋藤商會	齋藤吾一郎
池上式高壓式半自動型噴霧器	東京市淺草區阿部川町五九	神木商會	神木菊太郎
池上式分解式強力噴霧器	清水市江尻町三〇	池上農具商會	池上宇吉
宿谷新半自動噴霧器	同	同	同
	東京市下谷區宿谷中龍島町	宿谷製作所	宿谷龜三郎

(三) 大型

岡恒式半自動噴霧器	廣島縣御調郡田熊本通	岡恒商會	岡野恒一
望月式半自動噴霧器	清水市辻一四六ノ四	望月	月文次郎
吉村式最新式半自動噴霧器	大阪市浪速區元町五ノ五三四	吉村唧筒製作所	吉村生雄
長内式手押噴霧器	青森縣黒石町山形九〇	長内	内長吉
鷺印分解裝置付半自動噴霧器	東京市本所區龜澤町四丁目一九	安田	田松太郎
協立式半自動強力噴霧器	東京市淺草區小島町一丁目三	協立商會	渡邊佳照
吉井式高壓噴霧器	東京市神田區金澤町四	吉井	井秀松
	同	同	同
藤井式噴霧器第一號足付	岡山市上ノ町九七	藤井	井正治
藏井式噴霧器第三號	同	同	同
平井式半自動型噴霧器	尾道市電鐵本社前三三一	平井唧筒商會	平井順作
山田式半自動型強壓噴霧器	東京市淺草區神吉町三九	山田	田和一郎
旭式ノーツ號樽付噴霧器	大阪市東區木野町一七	旭國產噴霧器工場	内田與助
旭式愛國號噴霧器	同	同	同
白川式大型ハンドル付樽付用噴霧器	奈良縣山邊郡朝和村長柄	白川	川唧筒稻扱商會
丸山式橫型ハイプレス噴霧器	東京市神田區鍛冶町二丁目一	丸山商會	内山良治
高崎式高壓半自動ハンドル付噴霧器	大阪市浪速區東關谷町二丁目一	高崎	崎理吉

川崎式キングスター二號機	静岡縣富士郡富士町本市場二九二	川崎噴霧器製作所	川崎 泰
植木式樽付半自動噴霧器	横濱市中區中村町二一	横濱植木株式會社	鈴木 清藏
ウシダ省力成功噴霧器	東京市芝區白金三光町一五七	牛田噴霧器工場	牛田 清郎
ウシダ樽付用高速度噴霧器	同	同	同
二重瓶式半自動横杆付噴霧器	大阪市西淀川區蒲江南二ノ一	二重瓶噴霧器株式會社	初田 勝治
二重瓶式ピアレス噴霧器	同	同	同
望月式最大高壓噴霧器	清水市北一四六ノ四	望月 文次郎	望月 文次郎
吉村式大型半自動噴霧器	大阪市浪速區元町五ノ五三四	吉村 生雄	吉村 生雄
有光式樽付噴霧器	大阪市西區阿波座上一ノ一〇	有光製作所	有光 幸茂
(四) 車輪付型			
田中式大型一號	静岡縣富士郡富士町下横割二〇ノ一	田中 國太郎	田中 國太郎
田中式車輪付小型	同	同	同
白井式高級ボールベアリング タイプ噴霧器	東京市下谷區金杉町九三	白龍社唧筒製作所	白井 瀧藏
川崎式富士二號機	静岡縣富士郡富士町本市場二九二	川崎噴霧器製作所	川崎 泰
(五) 動力用型			
丸山式横型動力用噴霧機	東京市神田區鍛冶町二丁目一 大阪市西區阿波座上一ノ一〇	丸山商會 内山 良治	丸山 良治
有光式三聯成動力噴霧機		有光製作所	有光 幸茂

五 出品物ニ對スル概評

本鑑定試験ニ出品セラレタル噴霧器ニ付キ之ヲ型式別ニ分ツ時ハ左記ノ如ク携帯用型最多數ヲ占メ普通型ト共ニ出品點數ノ過半ニ達セリ。而シテ本試験ニ於テ從來ノ比較試験ニ比シ一段ト進出ヲ見タルハ動力用型噴霧器ナリ。以下型式別ニ從ヒ簡單ナル概評ヲナサントス。

總出品點數	一三五點
携帯用型	五一點
普通型	四三點
大型	二五點
車輪付型	九點
動力用型	五點
附屬品	二點

(一) 携帯用型噴霧器

本型式ニ屬スル噴霧器ハ其ノ携帯方法又ハ使用方法ヨリ見テ更ニ次ノ三種ニ區別セラレ各出品點數左記ノ如シ。
 肩掛用トシテ手動シツツ使用スルモノ 二十一點
 背部ニ負ヒ手動シツツ使用スルモノ 十七點
 豫メ空氣ヲ壓搾シタル後背部ニ負ヒ手動スルコトナク使用スルモノ 十三點
 肩掛用ハ外觀内容殆大同小異ニシテ構造又簡易ナルモノ多シ。本型式ニ屬スルモノハ唧筒機體ヲ藥液槽上蓋ニ取付ケ

常ニ壓搾力ヲ之ニ及ボスヲ以テ特ニ堅固ニナス要アルベシ。出品物ニ付キ之ヲ見ルニ夫々多少ノ補強方法ヲ施セ共内ニ充分ナラザルモノアリ。其ノ排液量ハ毎分〇・四乃至〇・六立ニシテ比較的統一セラレタリ。而シテ噴霧器トシテハ使用方法上弱壓ナルニ其ノ噴霧頭之ニ伴ハザルヲ認メタリ。即普通型以上ノ強壓ノモノニ適スルヲ漫然之ニ添附シタルノ感アルモノ少カラザリキ。

背部ニ負テ手動シツツ使用スルモノハ藥液槽何レモ長腎型ニシテ把手ヲ槓杆トナセリ。唧筒ハ藥液槽中央ニ設置セリ。本型ニ屬スルモノハ前者ニ比シ使用上大ナル能率ヲ得可キニ拘ラズ排液量〇・三立程度ノモノアリ。且之ニ使用スル槓杆ノ適切ナラザルモノ比較的多キヲ見タリ。前者ニ比シ多少特徴ヲ示サントスル傾向ヲ認ム。即把手ヲ左右ニ交換シ得ル裝置、又攪拌器ヲ附設スル等ノ點ナレドモ特ニ考慮ニ値スルモノナシ。又腰帶ヲ附シ器ノ安定ヲ計ルモノ三、四器ニ過ギズ。中ニ腰帶取付金具ナキモノアレドモ本型式ニ於テハ特ニ其ノ必要ヲ認ム。

壓搾空氣ニヨル所謂自動型ト稱セラルルモノハ初壓ニ於テ相當ノ壓力ヲ加フル必要アリ。而モ之ガ破裂ヲナス時ハ相當傷害ヲ及ボス可キハ明カナルトコロナリ。然ルニ水壓試驗ニ於テ十三器中三點ノ不合格ヲ見タルハ寒心ニ耐エズ。一段ト其ノ強サノ度合増加ノ要アルヲ認メタリ。液槽ハ何レモ銜締メヲナセ共其ノ銜ニ銅材ヲ使用スルモノ過半ナリ。工作容易ニシテ設計誤ラザル時ハ不可ナキモ出品器ニ付キ見ルニ之ガ爲テ工夫セルモノ殆ド無シ。又眞鍮ハ強サノ點前者ヨリ優レドモ加工稍困難ニシテ頭部割レタルモノ多キヲ見タリ注意ヲ要ス。之ガ排液量並ニ噴霧狀況ヲ見ルニ使用噴霧頭一個ノ場合ニ換算シ毎分〇・四乃至〇・五立、其ノ持續時間平均二十五分内外ナルモノ多シ。而シテ同一容量ト見做ス時ハ弱壓ニ於ケル噴霧狀況可良ナルモノ程有效撤布量ヲ増加スルハ當然ナル可キヲ以テ肩掛用ト共ニ其ノ噴霧頭ノ構造特ニ適良ナルヲ要ス。然ルニ出品器中之ニ添ハザルモノアリ注意ヲ要ス。又徒ニ容量ヲ増サンガ爲メカ丈高キモノアリ壓搾時ニ不具合ヲ感ゼリ。

(二) 普通型噴霧器

本型式ハ携帯用型ト共ニ最一般ナル噴霧器ニシテ其ノ形式殆ド統一セラレ稍劃一ニ墮スルノ嫌ナキニアラズ。之ニ排出管ヲ露出セルモノト然ラザルモノトアリ。後者大多數ニシテ前者七器ヲ數ヘリ。其ノ特質特記スベキ程ノコトナキモノト認ム。又器底ニ圓形器臺枠ヲ有スルモノト上部ニ簡易ナル足踏押へ金具ヲ附シ器臺ヲ附セザルモノアリ。實地使用上ニハ大差ナキモ押へ金具ヲ附シタルモノノ内ニハ足ニ適セザルモノアリ。尙本式中ニ所謂一本管ト稱セラルル構造ノモノ五點アリ。壓力變化ノ狀態何レモ稍劣レドモ農家ニ於テハ構造簡易ナルト安價ノタメ相當使用セラルル可キヲ以テ更ニ優秀ナルモノヲ工夫セラル可キモノト認ム。

總ジテ工作方法佳良ナレドモ特色ヲ附セン爲カ徒ニ管材ニ栓子ヲ設ケ排出管ヲ洗滌ノ爲取出スニ遺具少キ農家ニ在リテ困難ヲ感ズル憾ミアルモノアリ。特ニ總分解ト稱スレドモ之ガ爲却テ不結果ヲ來タシ其ノ所謂總分解ノ特色ヲ没却シ然モ使用上ノ煩瑣ヲ殘スノミナレバ之ガ設計工作ニハ特ニ注意ヲ要ス。殊ニ栓子類ノ回轉方法ヲ簡易ニナスベキナリ。又一方之ト反對ニ販賣上ノ利益ヲ増スベキガ爲カ稍工作粗雜ノモノアリ。排液量一立内外ノモノ最多ク、二立内外ニ及ブモノアレドモ稍過多ナルベク〇・五立以下ハ過少ナルベシ。又壓力ノ變化狀況十乃至十五封度内外ニシテ不可ナルモノ少シ。噴霧狀況亦總ジテ可良ナリキ。

(三) 大型噴霧器

本型式ニ屬スルモノハ元來藥液槽ニ取付ケ使用スル大型ナルモノヲ主トスレドモ出品器ニ對シ確然タル分類ヲナス能ハズ。車輪付機體様ノモノヲ含メテ大型トナセリ。從テ前二者ノ如ク外觀内容ニ統一ナク出品者ニ於テモ尙研究中ノモノアル可ク前二者ニ對シ其ノ質著シク劣レリ。

大部分槓杆ノ把手トシ八十封度以上ノ高壓ニ耐ユルガ如ク設計セラレタリ。揚水加壓方法モ排水量ヲ増加セシメンガ爲

カ多ク「ピストン」ノ形式トス。而テ其ノ耐壓狀況各器一樣ナラザルヲ以テ豫備試験ニ於テ八十封度以上ノ適當ナル壓ヲ定メ供試セルモ取扱ヒ不具合ナルモノ多キヲ見タリ。例ヘバ桶ニ取付クルニ其ノ側ニ取付クル構造ヲ有スルニ長キ把手ヲ有スルガ如キ或ハ大型ト稱シ殆ド普通型ト異ナラザル爲容器ニ固着ノ不便ヲ感ズルガ如キ一例ナリ。又容器内殘量比較的多キモ本型式ノ共通の缺點ナルベシ。此ノ場合ニ殘量トハ槽底ニ噴霧器ヲ當テルモ吸入口高キニヨル殘量ナリ。

本型式中ニ吸水管ヲ有シ槽外ニ横型唧筒ヲ置キ使用スルモノ二器アリ。噴霧橫壓増加ノ傾向ニ伴フ改案ナルベシ。毎分排水量二乃至三立ヨリ一立以下ノ範圍ニアリ。大量ノモノハ五立ニ及ベドモ其ノ必要ヲ認メズ。壓力ノ變化百二十封度ノモノニ在リテ二〇%、百封度若シクハ八十封度ノモノニアリテ十乃至十五%ニシテ大ナル不可ナシ。

(四) 車輪付噴霧器

何レモ藥液槽ヲ有シ車輪ニ依リ移動ニ便スルヲ特徴トスル大型果樹園用ノモノナリ。又從テ其ノ能率、壓力モ前掲ノ型式ニ比シ重要ナルモノト認ム。

型體何レモ二輪車ナレドモ弧輪ノモノ二點アリ。中尾式及大石式之ナリ。構造上特ニ共通のニ舉グ可キ缺點ナケレドモ前掲ノ型式ト異ナリ槽、車輪及ビ唧筒其ノ他合一ノ要アリ巧拙ノ差ヲ認ム。其ノ毎分排水量ハ三・四立ヲ示ス。壓力モ亦百五十封度ニ於テ困難ナラザルモノ多ク其ノ變化二〇%内外ナリ。然レドモ中ニ一立ニ滿タザルモノ或ハ六立以上ニ及ブモノアリ大型、普通型ニ如ズ又動力ヲ應用スベキモノト認ム。

(五) 動力用型噴霧機

發動機其他ノ原動機或ハ役畜ヲ利用スルモノヲ含マシメシガ出品セラレタルモノハ全部石油發動機ヲ利用スルモノナリ。之ニ藥液槽ヲ有スルモノ一機、有セザルモノ四機アリ、動力用トシテ液槽ヲ有スルニ如ザル可シ。又一面粗放の果樹園

ニ適スルモノト集約的果樹園ニ適スルモノトアリ。前者ニ適スルト認ムルモノ二機後者ニ適スルモノ三機アリ。

製作總ジテ入念佳良ト認ムレドモ原動機及傳動裝置、唧筒ヲ單ニ併置シタルノ感ナキニ非ズ。其ノ單化融合ヲ計ル可キナリ。

石油發動機ハ一馬力半ヨリ三馬力半ニ及ビ傳導裝置ハ何レモ鎖及ビ齒車ニ依レリ。齒車ハ四機切齒車ヲ採用セリ。唧筒ノ回轉數ハ三機百、一機ハ二百回轉ニ近ク型式ハ多ク「ブランジャー」複筒若シクハ三筒ニシテ壓力ノ平均ヲ計レリ。然レドモ空氣室ノ容量不足或ハ安全弁ノ動作不完全ニシテ壓力變化急激ノモノアリ。動力用トシテ更ニ改良ノ要アルベシ。又運轉中ノ振動比較的良好ナリシハ二機ニシテ車輪ヲ附セザルニヨル事ニ依リ顯著ナラザリシモノナル可キモ此ノ種小型高速ノ發動機ノ利用セラル可キ傾向ヲ認メラル折柄特ニ注意ヲ要ス。

排水量ハ噴出量ニ對シ餘剩返流量總ジテ多シ。之レ噴霧頭ノ關係ニ依リ此ノ結果ヲ招來セルカ止ムヲ得ザル事ト思考セラルレドモ餘剩液ノ力勢ヲ他ニ利用スルカ回轉數ヲ適正ニナスコト肝要ナルベシ。

(六) 主要部分

「シリンドー」及「ブランジャー」ハ總ジテ不可ナカリシガ「ピストン」ハ時ニ軋ムモノアリ。革質及之ガ押ヘ金具ノ適否ニ依ルガ如ク思考セラル。使用時特ニ不快ヲ感ズレバ注意ヲ要ス。又中ニ「グリース」ヲ極端ニ填充シタルモノアリ。革ノ柔軟性保持上肝要ナルハ勿論ナレドモ過多ノ要ヲ認メズ。之ガ爲噴孔ヲ塞グコト多ク又工作精度ノ隱蔽手段トモ解セラルルハ遺憾ナリ。

弁ハ球狀弁大多數ナリ。携帶用型中自動式唧筒中ニハ「コルク」材ヲ使用セルモノ在レドモ稍軟弱ニシテ彈性ニ乏シカル可ク耐久力増大上金屬弁ニ如ザル可シ。又弁座ヲ「シリンドー」ニ鑲付シタルノミナラズ弁押ヘ迄鑲付シタルモノアリテ洗滌ニモ相當不便ヲ感ズ。之等ハ元來取外シ得可キモノト認ム。

空氣室ハ前述ノ外大ナル不可ヲ認メズ。

(七) 附屬品類

(イ) 噴霧頭

唧筒本器ノ考案殆ド軌ヲ一ツニナスニ反シ、噴霧頭ハ極メテ多種多様ナリ。而シテ唧筒容量ト無關係ニ何等ノ定見ナク之ヲ羅列シ添付シタルノ感ナキ能ハザルハ遺憾トス。多頭ノモノハ大型以上ノ容量ノモノニハ適ス可キモ普通型以下ニハ適セズ。

其ノ構造約二十數種ニ亘リシガ大多數ハ筒型頭蓋ノ中ニ導溝片ヲ螺子若シクハ之ヲ設ケズ挿入シタルモノナリ。而シテ後者ノ場合導溝片ノ遊ビ多ク噴霧狀況ヲ時ニ變化セシメシモノアリ。以上ノモノニ次ギ噴孔板ヲ板金材トシ其ノ取換ニ便ニナシタルモノアリ。將來噴霧頭トシテ此ノ型式ヲ妥當ト信ズ。噴孔ハ殆ド正圓ニ近ク不可ナルモノ少カリシハ喜ブベキコトト言フ可ク内ニ二、三他部分ノ優秀ナルニ反シ噴孔ノ歪ミタルモノアリ。噴霧狀況ニ影響顯著ナラザリシモ加工方法ノ改善ノ要アルベシ。

(ロ) 握手管

何レモ大同小異ナリ。果樹園用ノ如キ長キモノハ多ク竹材ヲ使用シ補強セシガ内ニ露出管ノモノニシテ長キガタメ稍軟弱ノ感アルモノアリキ。之ニ附設スル「コック」ニ單ナル「コック」ト然ラザルモノトアリ。内一點附屬品トシテ出品セラレタルモノニ單ナル「コック」アリタレドモ其ノ握リヲ彎曲シ手動ニ便ニシタルモノアリ。又藥液撒布中特ニ算ヲ指ニテ押シ開キツツ作業スル可キ構造ノモノアリ。時々ノ停止ニハ便ナレドモ實際上却テ疲勞ヲ覺ルガ如キ感アリ。

(ハ) ゴムホース

「ゴムホース」ハ何レモ「ゴム」製造工場ノ製品ニシテ自製製品ナシ。「ダンロップ」製最多數、角一製品之ニ次グ。試験中壓力ニ耐エズ破裂シタルモノナケレドモ其ノ「ゴム」質ハ將來各藥品ニ對シ又風化ニ對シ耐久的ノモノタルベキハ明カナリ。之ニ卷キ込ミタル布ハ三枚以上五枚ノモノ多カリシガ其ノ卷キ方ニ粗雜ノモノアリ。三枚ナルニ「重ナリ」ニ枚ノ部分ヲ殘ス等アリシハ注意ヲ要ス。

之ニ差込ミタル接續金具ハ案外面白カラザルモノアリ。「ホース」内面ヘノ喰込凸部ハ數ヲ増サズ其ノ形狀ヲ尖角ニナスベキナリ。接續螺子ニ至テハ批評ノ限リニ非ズ。「ピッチ」種々ニシテ薄肉管ニ深キ螺子ヲ設ケタルアリ。厚肉管ニ對シ極メテ淺キ或ハ小ナル螺子ヲ設ケタルアリ。將來宜シク標準規格ニ據ル可キナリ。

(ニ) バツキング

「バツキング」ノ噴霧器ニ於ケル效果ハ極メテ重要ナリ。

材料ハ多ク革ヲ使用スルモ「ゴム質」ノモノ亦少カラズ。強サノ點ハ革ノ方優レドモ大ナルモノヲ得難キ缺點アリ。出品者中之ガ材質ノ改善ニ着眼セルモノアルハ喜ブベシ。又「バツキング」挿入部分ニ喰込ヲ設ケズ或ハ特ニ設ケツツ之ニ適合セザルモノヲ使用セルアリ。前者ノ場合ハ大ナル支障ノ原因トナルコト本試験中ニモアリタリ。後者ノ場合ハ特ニ支障ナキモ製作的良心ノ如何ニ及ブ。

(ホ) 其ノ他

藥液槽ハ總ジテ材質良好ナリシガ亞鉛鐵板使用ノモノニ器アリ。攪拌裝置車輪付型ニ於テ材料不適ノモノアリシ外大ナル不可ナカリシモ携帶用型其ノ他ニ於テハ無キニ如ザル程度ノモノアリキ。

爐過裝置ハ總ジテ可良ナリシガ極メテ軟弱粗雜ナルモノアリ改良ヲ認ム。

(八) 特殊構造ノ出品物

(イ) 昇水用噴霧器

蠶室消毒用トシテ出品人東京市下谷區御徒町二丁目高塚丑之助ノ出品中ニ昇水用噴霧器アリ。

藥液槽ヲ有シ手提用トシ使用時ハ床面等ヘ其儘置キテ使用スル型體ナレドモ携帯用型ニ編入セリ。容器ハ「セト」引鐵板ヲ使用シ之ニ總「エボナイト」製唧筒ヲ設ケ成績可良ナリキ。

(ロ) 足踏式噴霧器

足踏式噴霧器ハ未ダ多カラズ、出品セラレタルモノハ東京市本所區龜澤町四丁目安田工場製品ニシテ分類上普通型ニ編入セリ。

槓杆ヲ利用シ倒置セル「シリンドー」内ノ「ピストン」ヲ下踏衝程ニ加壓スル如クナセリ。稍新考案ノ氣味失ハザル感アレドモ移動不便ニ非ズ成績又佳良ナリキ。

(ハ) 大石式噴霧器

東京市豊島區目白「ヤマト」種苗農具株式會社ノ出品ニ係リ、液ト共ニ空氣ヲモ噴出セシメ以テ噴霧ノ液粒ヲ微細ニナスヲ特徴トシ塗料撒布器ト同種ナリ。

噴霧狀況ヲ調査セルニ他ニ比シ著シク微粉多クレドモ相當ノ粒(液滴)ヲ伴ヒタリ。又他ニ比シ著シク異ナル點ハ排出量極テ少量ナル點ナリ。排出量多少ノ病害蟲驅除豫防上ノ效果ヲ措キ之ヲ機構上ノミヨリ見ル時ハ氣筒内徑ヲ相當大トシ空氣ヲ相當壓ノ下ニ噴出セシメテ差支ナキ様工夫セラレシガ手動ナルタメ壓縮ニ大ナル力ヲ要シ且力ニ大小ヲ覺ユルハ空氣唧筒ノ特徴ナリ。又從テ手動用トシテ排出量ヲ增加スルハ不可能ナルベシ。且ツ噴霧頭ニ設ケラレタル「コック」ニヨリ量ヲ加減スルニ量ヲ増ス時ハ小滴ノ増加ヲ示ス。之液量ニ對シ空氣量不足ノ結果ニ因ランカ。尙噴霧角著シク小ナリ。

之ヲ要スルニ温室栽培ノ如キ藥害ヲ恐ルル高級作物乃至稻ノ如キ葉面ニ纖毛ヲ有シ藥液ノ展着困難ナルモノニ適スキモ野外ニ於ケル利用價值ハ更ニ一段ノ研究ヲ要スベシ。

(ニ) 車輪液槽噴霧器

本器ハ全ク新考案ニヨル可ク此種出品ハ喜ブ可キ現象ト云フベシ。

東京市荏原區下神明町四九一、三正電機商會中尾正元ノ出品ニ係リ弧輪車ヲ中空トシ、之ヲ液槽トシ中空車軸ヲ槽中ニ垂下シ其ノ車軸部ノ一端ヨリ唧筒ニ連結セリ。槽内ニ羽根多數ヲ半徑ニ設ケ攪拌ニ便セリ。

然レドモ未ダ噴霧器ノ製造經驗少キガ如ク槽ハ全部亞鉛鐵板ヲ使用シ噴霧頭ハ携帯用型ノモノヲ添付シ實用ノ域ニハ一段ト改良ノ要ヲ認ム。

之ヲ要スルニ本鑑定試驗ニ於テハ噴霧器トシテ其ノ構造機能或程度ノ進歩ノ跡顯著ナルハ喜ブベシト雖、將來進デ製作方法ノ改善ヲ最モ急務ト認ム。特ニ大型以上ノモノハ製作臺數少カル可ク稍缺點多キヲ以テ更ニ研究改良ノ要アリ。新規考案勿論肝要ナレドモ前述ノ如ク其ノ製造工程ヲ進メ機械工作法ノ全的應用ヲ緊急事ト認ム。

人力脫穀機
人力搗穀機
唐石箕
萬石箕
縱線選穀器

鑑定試驗成績

愛知縣立農事試驗場

第一 人力脱穀機鑑定試験成績

一 出 品 物

鑑定試験ニ出品セルモノヲ披開廻轉型式ニ分チテ列舉スレバ次ノ如シ。

軸 廻 轉 式

- アサイ式光榮號脱穀機
- シバタ式大黒印脱穀機
- マツモト式モダン號脱穀機
- ダイヤモンド號脱穀機
- 新明王式雷公號脱穀機
- 永田式國防號脱穀機
- 日東式無音號脱穀機
- 改良シート式脱穀機
- 牛田式活躍號脱穀機
- 文明式旭光號脱穀機
- 大王印ミノル式親玉號脱穀機
- 大竹式新優勝號脱穀機

アイコク式新愛國號脫穀機
 不二式雄大號脫穀機
 タカラヤホーネン號脫穀機
 ホマレ式脫穀機
 清水式脫穀機
 九洲號脫穀機
 軸固定式
 神勢式神宮號脫穀機
 伸和式脫穀機
 白川式大和號脫穀機
 野上式キク黄菊號脫穀機
 前田式脫穀機
 大久保式新魁號脫穀機
 スロキ式マコト號脫穀機
 フジ井式愛穀號二人用脫穀機
 報國式天下一脫穀機

二 供試材料

脱穀試験ニ供用セル小麦材料ニ關スル調査次ノ如シ。

品	種	赤坊主
產地		愛知縣碧海郡安城町
生産年度		昭和十年
性狀ノ大要		中
脱粒ノ難易		中
芒ノ有無		ナシ
粒ノ長短		中ノ長
稈ノ長短		長
子實重量歩合		平均四一・一四%
刈取時期ノ適否		適期
刈取後ノ乾燥方法		刈取後約三〇程程ノ小把ニ束ネタル後地干ヲ晴天約二日間行フ
子實含有水分量		一八・七%
供試束ノ大サ		一〇九八疋
一把ノ重量		約二九種
一把ノ直徑		

供試量
 把 數 一〇〇把
 百把重量 平均 一〇九・七七一疋 最大 一一九・〇二五疋 最小 一〇三・六八八疋

三 試驗方法

試驗ハ次ノ如クニシテ施行セリ。

(イ) 供試材料ノ調製

小麥ヲ刈リ取り直チニ小把ニ束ネ後約二日間地干ヲ行ヒ、天候ノ關係ニ依リ之ヲ畦畔一定ノ個所ニ集積シ後試驗室ニ運搬セリ。室内ニ於テハ高サ約二米穂先ヲ向ヒ合セニシテ之ヲ細長ク置キ尙供試品ノ乾燥防止ニ努タリ。

(ロ) 作業人夫及試驗方法

本試驗ニハ次ノ如キA、B二人ノ農夫ヲ使用シ、一人扱ノモノハ供試一〇〇把ヲ各一人ニ付五〇把宛ヲ交代ニテ、又二人扱ニテハ各五〇把宛ヲ同時ニ作業セシメタリ。

作業ハ連續作業ニ耐エ得ル程度ニテ行ハシメ、且扱残り無キ様注意セリ。尙作業前後ノ作業ノ脈膊數ヲ一分間ニ付調査セリ。

種別	年	齡	身	長	體	重	壯健程度
A (男)		三六		一・五四五		五五・八〇〇	中
B (男)		二二		一・五七六		五三・六三〇	中

四 試驗成績

第一表 人力脱穀機靜止檢査成績 (申込順)

名稱	項目	構造考案	材	料	工	作
アサキ式大黒印國産號	マツモト式モダン	イハヤシ式モダン	ダシイ式モダン	神イハヤシ式モダン	新川王式和雷和公	白川式大和防
野田式キク大菊	永田式キク大菊	日東式無音	牛田式旭光	文田式旭光	大竹式新親玉	スズキ式新親玉
大久保式新親玉	アサキ式新親玉	不二式雄大	ホカヤ式雄大	清井式愛能	九國式天下一號	報國式天下一號
優可良	優可良	優可良	優可良	優可良	優可良	優可良
良	良	良	良	良	良	良
優可良	優可良	優可良	優可良	優可良	優可良	優可良
良	良	良	良	良	良	良
優可良	優可良	優可良	優可良	優可良	優可良	優可良
良	良	良	良	良	良	良

第二表 人力脱穀機運轉試驗成績

項目	試驗期日	天候	供試量	所要人員	所要時間	足踏總數	每分平均	每分轉數	每分當軸	投落物量	麥	秤
名												
稱												
目												
試驗期日												
天候												
供試量												
所要人員												
所要時間												
足踏總數												
每分平均												
每分轉數												
每分當軸												
投落物量												
麥												
秤												

新明王式雷公號脫穀機
 報國式天下一脫穀機
 アイコク式新愛國號脫穀機
 アサイ式光榮號脫穀機
 ミノル式大王印親玉號脫穀機
 シバタ式大黒印國產號脫穀機
 清水式萬能號脫穀機
 白川式大和號脫穀機

一八〇〇 東京市荒川區尾久町六丁目六四五
 一五〇〇 京都府福地山町内記五丁目五七
 一七〇〇 愛知縣丹羽郡岩倉町岩倉
 一八〇〇 愛知縣知多郡成岩町宇南家下一七
 一八五〇 神奈川縣橋本郡生田村高石一四三六
 一七〇〇 兵庫縣赤穂郡上郡町三三六
 一八〇〇 名古屋市南區西古渡町丁ノ坪五五
 一〇〇〇 奈良縣山邊郡朝和村長柄八三二

一六〇
 東京細王舎工場 榎本長吉
 報國社 天 芦田本店
 愛國社 本店
 宮津屋 商會
 細王舎第一工場 箕輪勇作
 柴田商會 柴田三代治
 名古屋農具製作所 清水半作
 白川 唧筒稻拔商會

六 出品物ニ對スル概評

ダイヤモンド脱穀機

本機ハ作業者ノ脚ノ上下動ヲ連接桿及齒車等ノ機構ニ依リ半鐵骨製三角臺枠ノ斜邊上ニ架設セル抜胴ニ傳ヘテ之ヲ廻轉セシムルモノナリ。其ノ抜胴ハ植齒セル十二枚ノ胴板ヨリ成リ之ガ廻轉ハ其ノ軸ニ依リテ行ヒ猶其ノ齒車裝置ハ普通ノ外觸ノモノ大小二個ヲ用ヒ、之ヲ略密閉シテ臺枠外側ニ設ケ且其ノ間隙調節ハ連接桿側ノ大齒車ニ依リ爲シ得ルガ如キ機構ヲ有スルモノナリ。

九州號脱穀機

出品機ニ付調査ノ結果ニ依レバ機構製作良好ナリ。猶作業輕快ニシテ其ノ成績モ佳良ナリ。
 本機ハ作業者ノ脚ノ上下動ヲ連接桿及齒車等ノ機構ニ依リ半鐵骨製三角臺枠ノ斜邊上ニ架設セル抜胴ニ傳ヘテ之ヲ廻轉

セシムルモノナリ。其ノ抜胴ハ植齒セル十二枚ノ胴板ヨリ成リ、之ガ廻轉ハ其ノ軸ニ依リテ行ヒ、猶其ノ齒車裝置ハ普通ノ外觸ノモノ大小二個ヲ用ヒ、之ヲ略密閉シテ臺枠外側ニ設ケ且其ノ間隙調節ハ連接桿側ノ大齒車ノ外匣ニ依リ爲シ得ル如キ機構ヲ有スルモノナリ。

ホマレ式脱穀機

出品機ニ付調査ノ結果ニ依レバ抜胴ト臺枠トノ間隙狭ク軸ニ層層卷キ付ク傾向アリタルモ、機構製作概シテ佳良ナリ。且作業成績ハ稍穂切レ等多キ傾向アリタルモ之ハ供試材料ノ關係アリタルヲ以テ先ヅ佳良ナルモノト言ヒ得ベシ。
 本機ハ作業者ノ脚ノ上下動ヲ連接桿及齒車等ノ機構ニ依リ半鐵骨製三角臺枠ノ斜邊上ニ架設セル抜胴ニ傳ヘテ之ヲ廻轉セシムルモノナリ。其ノ抜胴ハ植齒セル十二枚ノ胴板ヨリ成リ、之ガ廻轉ハ其ノ軸ニ依リテ行ヒ、其ノ齒車裝置ハ普通ノ外觸ノモノ大小二個ヲ用ヒ、之ヲ略密閉シテ臺枠外側ニ設ケ且其ノ間隙調節ハ連接桿側大齒車ノ外匣ニ依リ爲シ得ルガ如キ機構ヲ有スルモノナリ。

伸和式脱穀機

出品機ニ付調査ノ結果ニ依レバ機構製作並作業成績何レモ良好ナリ。
 本機ハ作業者ノ脚ノ上下動ヲ連接桿及齒車等ノ機構ニ依リ木骨製三角臺枠ノ斜邊上ニ架設セル抜胴ニ傳ヘテ之ヲ廻轉セシムルモノナリ。其ノ抜胴ハ植齒セル十二枚ノ胴板ヨリ成リ、之ガ廻轉ハ軸固定式ニ依リ行ヒ、猶其ノ齒車裝置ハ普通ノ外觸ノモノ大小二個ヲ用ヒ、之ニ上覆ヒヲ附シテ臺枠内側ニ設ケ且其ノ間隙調節ハ抜胴ノ固定軸ニ依リテ爲シ得ルガ如キ機構ヲ有スルモノナリ。

出品機ニ付調査ノ結果ニ依レバ機構製作ハ概シテ佳良ナルモ猶齒車ノ耐久上其ノ被覆裝置ヲ完全ナラシムレバ一層可ナリ。次ニ作業成績ハ佳良ナリ。

不二式雄大號脫穀機

本機ハ作業者ノ脚ノ上下動ヲ連接桿及齒車等ノ機構ニ依リテ半鐵骨製三角臺枠ノ斜邊上ニ架設セル披胴ニ傳ヘテ、之ヲ廻轉セシムルモノナリ。其ノ披胴ハ植齒セル十二枚ノ胴板ヨリ成リ、之ガ廻轉ハ其ノ軸ニ依リテ行ヒ、猶其ノ齒車裝置ハ普通ノ外觸ノモノ大小二個ヲ用ヒ、之ヲ略密閉シテ臺枠外側ニ設ケ且其ノ間隙調節ハ連接桿側ノ大齒車ニ依リ爲シ得ルガ如キ機構ヲ有スルモノナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作良好ナリ。猶作業輕快ニシテ其ノ成績モ佳良ナリ。

永田式國防號脫穀機

本機ハ作業者ノ脚ノ上下動ヲ連接桿及齒車等ノ機構ニ依リテ半鐵骨製三角臺枠ノ斜邊上ニ架設セル披胴ニ傳ヘテ之ヲ廻轉セシムルモノナリ。其ノ披胴ハ植齒セル十二枚ノ胴板ヨリ成リ、之ガ廻轉ハ其ノ軸ニ依リテ行ヒ、猶其ノ齒車裝置ハ内觸ノモノ大小二個ヲ用ヒ、之ヲ密閉シテ臺枠外側ニ設ケ、且其ノ間隙調節ハ連接桿側ノ大齒車軸ニ依リテ爲シ得ルガ如キ機構ヲ有スルモノナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作概シテ佳良ナルモ植齒ハ齒先ノ稍不揃ナルモノアリタルヲ以テ製作上注意ヲ要ス。次ニ作業成績概シテ佳良ナリ。

牛田式活躍號脫穀機

本機ハ作業者ノ脚ノ上下動ヲ連接桿及齒車等ノ機構ニ依リテ半鐵骨製三角臺枠ノ斜邊上ニ架設セル披胴ニ傳ヘテ之ヲ廻轉セシムルモノナリ。其ノ披胴ハ植齒セル十二枚ノ胴板ヨリ成リ、之ガ廻轉ハ其ノ軸ニ依リテ行ヒ、猶其ノ齒車裝置ハ普通ノ外觸ノモノ大小二個ヲ用ヒ、之ヲ略密閉シテ臺枠外側ニ設ケ且其ノ間隙調節ハ連接桿側ノ大齒車ノ外匣ニ依リ爲シ得ルガ如キ機構ヲ有スルモノナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作ハ概シテ佳良ナルモ製作ハ稍粗雜ナルモノアリ。猶作業能率ハ稍良好ナラザリシモ之ハ供試材料ニ依ルヲ以テ先ヅ佳良ト言ヒ得ベシ。

野上式キケ黃菊號脫穀機

本機ハ作業者ノ脚ノ上下動ヲ連接桿及齒車等ノ機構ニ依リテ半鐵骨製三角臺枠ノ斜邊上ニ架設セル披胴ニ傳ヘテ之ヲ廻轉セシムルモノナリ。其ノ披胴ハ植齒セル十二枚ノ胴板ヨリ成リ之ガ廻轉ハ軸固定式ニ依リ行ヒ猶其ノ齒車裝置ハ普通ノ外觸ノモノ大小二個ヲ用ヒ、之ヲ略密閉シテ臺枠外側ニ設ケ且其ノ間隙調節ハ披胴ノ固定軸ニ依リテ爲シ得ルガ如キ機構ヲ有スルモノナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作概シテ良好ナルモ、猶臺枠ノ側板ハ木製ナルモ、鐵骨製ニ代フレバ尙一層可ナリ。次ニ作業成績ハ佳良ナリ。

大竹式新優勝號脫穀機

本機ハ作業者ノ脚ノ上下動ヲ連接桿及齒車等ノ機構ニ依リテ半鐵骨製三角臺枠ノ斜邊上ニ架設セル披胴ニ傳ヘテ之ヲ廻轉セシムルモノナリ。其ノ披胴ハ植齒セル十二枚ノ胴板ヨリ成リ、之ガ廻轉ハ其ノ軸ニ依リテ行ヒ猶其ノ齒車裝置ハ普通ノ外觸ノモノ大小二個ヲ用ヒ之ヲ略密閉シテ臺枠外側ニ設ケ且其ノ間隙調節ハ連接桿側大齒車ノ外匣ニ依リテ爲シ得ルガ如キ機構ヲ有スルモノナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作良好ナリ。猶作業輕快ニシテ其ノ成績モ佳良ナリ。

大久保式新魁號脫穀機

本機ハ作業者ノ脚ノ上下動ヲ連接桿及齒車等ノ機構ニ依リテ半鐵骨製三角臺枠ノ斜邊上ニ架設セル披胴ニ傳ヘテ之ヲ廻轉セシムルモノナリ。其ノ披胴ハ植齒セル十二枚ノ胴板ヨリ成リ、之ガ廻轉ハ其ノ軸固定式ニ依リテ行ヒ、猶其ノ齒車裝置ハ

普通ノ外觸ノモノ大小二個ヲ用ヒ、之ニ上覆ヒヲ附シテ臺枠ノ内側ニ設ケ、且其ノ間隙調節ハ撥胴ノ固定軸ニ依リ爲シ得ルガ如キ機構ヲ有スルモノナリ。猶臺枠ハ簡單ニ折疊ミ得ルモノナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構及製作ハ概シテ佳良ナルモ齒車ノ耐久上其ノ被覆裝置ヲ完全ナラシムレバ一層可ナリ。次ニ穂切等ハ比較的尠ク作業成績ハ佳良ナリ。

文明式旭光號脱穀機

本機ハ作業者ノ脚ノ上下動ヲ連接桿及齒車等ノ機構ニ依リ半鐵骨製三角臺枠ノ斜邊上ニ架設セル撥胴ニ傳ヘテ之ヲ廻轉セシムルモノナリ。其ノ撥胴ハ植齒セル十二枚ノ胴板ヨリ成リ、之ガ廻轉ハ其ノ軸ニ依リテ行ヒ猶其ノ齒車裝置ハ普通ノ外觸ノモノ大小二個ヲ用ヒ、之ヲ略密閉シテ臺枠ノ外側ニ設ケ且其ノ間隙調節ハ連接桿側小齒車ノ外匣ニ依リテ爲シ得ルガ如キ機構ヲ有スルモノナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作ハ良好ナリ。猶作業能率ハ稍不良ナリシモ之ハ供試材料ノ關係アルヲ以テ先ヅ佳良ナリト言ヒ得ベシ。

マツモト式モダン號脱穀機

本機ハ作業者ノ脚ノ上下動ヲ連接桿及齒車等ノ機構ニ依リテ鐵骨製四角臺枠ノ斜邊上ニ架設セル撥胴ニ傳ヘテ之ヲ廻轉セシムルモノナリ。其ノ撥胴ハ植齒セル十二枚ノ胴板ヨリ成リ、之ガ廻轉ハ其ノ軸ニ依リテ行ヒ、猶其ノ齒車裝置ハ普通ノ外觸ノモノ大小二個ヲ用ヒ、之ニ上覆ヒヲ附シテ臺枠内側ニ設ケ、且其ノ間隙調節ハ連接桿側ノ大齒車軸ニ依リテ爲シ得ルガ如キ機構ヲ有スルモノナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作ハ概シテ佳良ナルモ稍粗雜ナル傾向アリ。作業成績ハ佳良ナリ。

前田式脱穀機

本機ハ作業者ノ脚ノ上下動ヲ連接桿及齒車等ノ機構ニ依リテ木骨製三角臺枠ノ斜邊上ニ架設セル撥胴ニ傳ヘテ之ヲ廻轉セシムルモノナリ。其ノ撥胴ハ植齒セル十二枚ノ胴板ヨリ成リ、之ガ廻轉ハ軸固定式ニ依リテ行ヒ、猶其ノ齒車裝置ハ普通ノ外觸ノモノ大小二個ヲ用ヒ、之ニ上覆ヒヲ附シテ臺枠内側ニ設ケ、且其ノ間隙調節ハ撥胴ノ固定軸ニ依リテ爲シ得ルガ如キ機構ヲ有スルモノナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作概シテ佳良ナリ。但齒車ハ耐久上其ノ被覆裝置ヲ完全ナラシムルヲ可トス。次ニ作業ハ比較的輕快ニシテ其ノ成績モ佳良ナリ。

シート式脱穀機

本機ハ作業者ノ脚ノ上下動ヲ連接桿及齒車等ノ機構ニ依リテ木骨製三角臺枠ノ斜邊上ニ架設セル撥胴ニ傳ヘテ之ヲ廻轉セシムルモノナリ。其ノ撥胴ハ植齒セル十枚ノ胴板ヨリ成リ之ガ廻轉ハ其ノ軸ニ依リテ行ヒ、猶其ノ齒車裝置ハ普通ノ外觸ノモノ大小二個ヲ用ヒ、之ニ上覆ヒヲ附シテ臺枠外側ニ設ケ、且其ノ間隙調節ハ連接桿側ノ大齒車軸ニ依リテ爲シ得ルガ如キ機構ヲ有スルモノナリ。尙本機ハ撥胴上部ニ木製ノ箱型被覆アリ。且之ト關連シテ撥胴下邊ニ開閉式金網枠ヲ附シテ穂切レ等ノ調製並麥類ノ脱穀作業ニ便ナラシムル裝置ヲ有ス。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ撥胴ノ撥板十枚ヨリ成レル爲撥胴直徑小ニシテ作業稍困難ナル傾向アリ。且臺枠ノ側板ト撥胴トノ間隙狹キ爲其ノ部ヘ稈屑ヲ卷込ム傾向アリタルモ機構製作並作業成績概シテ佳良ナリ。

新明王式雷公號脱穀機

本機ハ作業者ノ脚ノ上下動ヲ連接桿及齒車等ノ機構ニ依リテ半鐵骨製三角臺枠ノ斜邊上ニ架設セル撥胴ニ傳ヘテ之ヲ廻轉セシムルモノナリ。其ノ撥胴ハ植齒セル十二枚ノ胴板ヨリ成リ、之ガ廻轉ハ其ノ軸ニ依リテ行ヒ、猶其ノ齒車裝置ハ普通ノ外觸ノモノ大小二個ヲ用ヒ、之ヲ密閉シテ臺枠外側ニ設ケ且其ノ間隙調節ハ連接桿側ノ大齒車軸ニ依リテ爲シ得ルガ

如キ機構ヲ有スルモノナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作良好ナリ。猶作業抵抗ハ比較的大ナルモノアリタルモ、之ハ供試材料ノ乾燥稍不良ニ依ルヲ以テ其ノ作業成績ハ先ヅ良好ナルモノト言ヒ得ベシ。

報國式天下一脱穀機

本機ハ作業者ノ脚ノ上下動ヲ連接桿及齒車等ノ機構ニ依リテ木骨製三角臺枠ノ斜邊上ニ架設セル撥胴ニ傳ヘテ之ヲ廻轉セシムルモノナリ。其ノ撥胴ハ植齒セル十四枚ノ胴板ヨリ成リ、之ガ廻轉ハ軸固定式ニ依リテ行ヒ、猶其ノ齒車裝置ハ普通ノ外觸ノモノ大小二個ヲ用ヒ、之ニ上覆ヒヲ附シテ臺枠内側ニ設ケ、且其ノ間隙調節ハ撥胴桿側ノ固定軸ニ依リテ爲シ得ルガ如キ機構ヲ有スルモノナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ連接桿機構ハ他機ト異リ稍改良ノ跡ヲ認メ得ルモ製作ハ稍粗雑ナリ。猶齒車ノ耐久上之ガ被覆ヲ完全ニスルヲ可トス。作業能率ハ佳良ナリシモ臺枠ノ側板木製ナルタメ作業中稍撓曲シ抵抗ヲ増加スル傾向アルヲ以テ鐵骨製トナスヲ可トス。

アイコク式新愛國號脱穀機

本機ハ作業者ノ脚ノ上下動ヲ連接桿及齒車等ノ機構ニ依リテ鐵骨製三角臺枠ノ斜邊上ニ架設セル撥胴ニ傳ヘテ之ヲ廻轉セシムルモノナリ。其ノ撥胴ハ植齒セル十四枚ノ胴板ヨリ成リ之ガ廻轉ハ其ノ軸ニ依リテ行ヒ、猶其ノ齒車裝置ハ普通ノ外觸ノモノ大小二個ヲ用ヒ、之ヲ略密閉シテ臺枠外側ニ設ケ且其ノ間隙調節ハ撥胴側小齒車ノ外匣ニ依リテ爲シ得ルガ如キ機構ヲ有スルモノナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作概シテ佳良ニシテ且其ノ作業成績モ佳良ナリ。

アサイ式光榮號脱穀機

本機ハ作業者ノ脚ノ上下動ヲ連接桿及齒車等ノ機構ニ依リテ半鐵骨製三角臺枠ノ斜邊上ニ架設セル撥胴ニ傳ヘテ之ヲ廻轉セシムルモノナリ。其ノ撥胴ハ植齒セル十二枚ノ胴板ヨリ成リ、之ガ廻轉ハ其ノ軸ニ依リテ行ヒ、猶其ノ齒車裝置ハ普通ノ外觸ノモノ大小二個ヲ用ヒ、之ヲ略密閉シテ臺枠外側ニ設ケ且其ノ間隙調節ハ撥胴軸ノ軸承吊リニ依リテ爲シ得ルガ如キ機構ヲ有スルモノナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作良好ナリ。猶作業輕快ニシテ其ノ成績モ佳良ナリ。

ミノル式大王印親玉號脱穀機

本機ハ作業者ノ脚ノ上下動ヲ連接桿及齒車等ノ機構ニ依リテ鐵骨製三角臺枠ノ斜邊上ニ架設セル撥胴ニ傳ヘテ之ヲ廻轉セシムルモノナリ。其ノ撥胴ハ植齒セル十二枚ノ胴板ヨリ成リ、之ガ廻轉ハ其ノ軸ニ依リテ行ヒ、猶其ノ齒車裝置ハ普通ノ外觸ノモノ大小二個ヲ用ヒ、之ヲ密閉シテ臺枠外側ニ設ケ、且其ノ間隙調節ハ連接桿側大齒車ノ外匣ニ依リテ爲シ、且押上ゲ螺子ヲ附シ之ヲ容易ナラシムルガ如キ機構ヲ有スルモノナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作良好ニシテ且作業成績モ佳良ナリ。

シバタ式大黒印國產號脱穀機

本機ハ作業者ノ脚ノ上下動ヲ連接桿及齒車等ノ機構ニ依リ半鐵骨製三角臺枠ノ斜邊上ニ架設セル撥胴ニ傳ヘテ之ヲ廻轉セシムルモノナリ。其ノ撥胴ハ植齒セル十四枚ノ胴板ヨリ成リ、之ガ廻轉ハ其ノ軸ニ依リテ行ヒ、猶其ノ齒車裝置ハ普通ノ外觸ノモノ大小二個ヲ用ヒ、之ヲ密閉シテ臺枠外側ニ設ケ、且其ノ間隙調節ハ撥胴軸側小齒車ノ外匣ニ依リテ爲シ得ルガ如キ機構ヲ有スルモノナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作概シテ良好ナルモ、撥胴ト臺枠トノ間隙稍狭ク軸ニ程屑等ノ卷キ付ク傾向アルハ注意ヲ要スル所ナリ。次ニ作業成績ハ良好ナリ。

清水式萬能號脫穀機

本機ハ作業者ノ脚ノ上下動ヲ連接桿及齒車等ノ機構ニ依リテ鐵骨製三角臺枠ノ斜邊上ニ架設セル拔胴ニ傳ヘテ之ヲ廻轉セシムルモノナリ。其ノ拔胴ハ植齒セル十二枚ノ胴板ヨリ成リ、之ガ廻轉ハ其ノ軸ニ依リテ行ヒ、猶其ノ齒車裝置ハ普通ノ外觸ノモノ大小二個ヲ用ヒ、之ヲ略密閉シテ臺枠外側ニ設ケ、且其ノ間隙調節ハ連接桿側大齒車ノ外匣ニ依リテ爲シ得ルガ如キ機構ヲ有スルモノナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作概シテ良好ナルモ臺枠ノ側板稍纖弱ニシテ作業中撓曲スル感アルヲ以テ補強スルヲ要ス。作業成績ハ佳良ナリ。

白川式大和號脫穀機

本機ハ作業者ノ脚ノ上下動ヲ連接桿及齒車等ノ機構ニ依リテ木骨製三角臺枠ノ斜邊上ニ架設セル拔胴ニ傳ヘテ之ヲ廻轉セシムルモノナリ。其ノ拔胴ハ鐵板ニ取換自在ノ拔齒ヲ並列セル十四枚ノ胴板ヨリ成リ、之ガ廻轉ハ其ノ軸ニ依リテ行ヒ、猶其ノ齒車裝置ハ普通ノ外觸ノモノ大小二個ヲ用ヒ、之ニ上覆ヒヲ附シテ臺枠内側ニ設ケ、且其ノ間隙調節ハ拔胴ノ固定軸ニ依リ爲シ得ルガ如キ機構ヲ有スルモノナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作概シテ佳良ニシテ且作業成績モ亦佳良ナリ。

タカラヤホーネン號脫穀機

本機ハ作業者ノ脚ノ上下動ヲ踏板及鎖輪等ノ機構ニ依リテ半鐵骨製三角臺枠ノ斜邊上ニ架設セル拔胴ニ傳ヘテ之ヲ廻轉セシムルモノナリ。其ノ拔胴ハ植齒セル十二枚ノ胴板ヨリ成リ、之ガ廻轉ハ其ノ軸ニ依リテ行ヒ、猶其ノ鎖輪裝置ハ大小二個ヲ用ヒ、之ヲ密閉シテ臺枠外側ニ設ケ、且鎖ノ緊張調節ハ連接桿側ノ大鎖齒車ノ取付枠ニ依リテ爲シ得ルガ如キ機構ヲ有スルモノナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ鎖輪機構ハ作業輕快ヲ缺ク傾向アリテ却ツテ齒車機構ニ劣ルモノアリ。

フジ井式愛穀號二人扱脫穀機

本機ハ作業者ノ脚ノ上下動ヲ拔胴兩側ニアル連接桿及齒車等ノ機構ニ依リテ木骨製三角臺枠ノ斜邊上ニ架設セル拔胴ニ傳ヘテ之ヲ廻轉セシムルモノナリ。其ノ拔胴ハ植齒セル十二枚ノ胴板ヨリ成リ、之ガ廻轉ハ軸固定式ニ依リテ行ヒ、猶其ノ齒車裝置ハ普通ノ外觸ノモノ大小二個ヲ用ヒ、之ニ上覆ヲ附シテ臺枠内側ニ設ケ、且其ノ間隙裝置ハ拔胴ノ固定軸ニ依リ爲シ得ルガ如キ機構ヲ有スルモノナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作稍粗雑ナル傾向アリ。猶二人扱キノ如キ拔胴長キモノニ於テハ安定度ノ大ナル軸廻轉式ニナス方良好ナルベク且齒車ノ被覆ヲ完全ナラシムル要アリ。尙拔胴ノ側板ト植齒板トノ取付ケ不完全ニシテ稍間隙ヲ存セリ。

日東式無音號脫穀機

本機ハ作業者ノ脚ノ上下動ヲ連接桿及齒車等ノ機構ニ依リテ木製三角臺枠ノ斜邊上ニ架設セル拔胴ニ傳ヘテ之ヲ廻轉セシムルモノナリ。其ノ拔胴ハ植齒セル十二枚ノ胴板ヨリ成リ、之ガ廻轉ハ其ノ軸ニ依リテ行ヒ、猶其ノ齒車裝置ハ内觸ノモノ大小二個ヲ用ヒ、之ヲ密閉シテ臺枠外側ニ設ケ、且其ノ間隙調節ハ連接桿側ノ大齒車軸ニ依リテ爲シ得ルガ如キ機構ヲ有スルモノナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作稍粗雑ナルモノアリ、作業モ稍輕快ヲ缺キ臺枠ノ側板撓曲ノ傾向アリ。

神勢式神宮號脫穀機

本機ハ作業者ノ脚ノ上下動ヲ連接桿及齒車等ノ機構ニ依リテ木骨製三角臺枠ノ斜邊上ニ架設セル拔胴ニ傳ヘテ之ヲ廻轉セシムルモノナリ。其ノ拔胴ハ植齒セル十二枚ノ胴板ヨリ成リ、之ガ廻轉ハ軸固定式ニ依リテ行ヒ、猶其ノ齒車裝置ハ普

通ノ外觸ノモノ大小二個ヲ用ヒ、之ニ上覆ヒヲ附シテ臺枠内側ニ設ケ、且其ノ間隙調節ハ撥胴ノ固定軸ニ依リテ爲シ得ルガ如キ機構ヲ有スルモノナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作共ニ粗雑ニシテ作業輕快ナラズ、且臺枠ノ側板モ作業中撓曲スル傾向アリ。猶齒車被覆モ密閉式ニナスヲ可トス。

スゞキ式マコト號脱穀機

本機ハ作業者ノ脚ノ上下動ヲ連接桿及齒車等ノ機構ニ依リテ半鐵骨製三角臺枠ノ斜邊上ニ架設セル撥胴ニ傳ヘテ之ヲ廻轉セシムルモノナリ。其ノ撥胴ハ植齒セル十二枚ノ胴板ヨリ成リ、之ガ廻轉ハ軸固定式ニ依リテ行ヒ、猶其ノ齒車裝置ハ普通ノ外觸ノモノ大小二個ヲ用ヒ、之ニ上覆ヒヲ附シテ臺枠内側ニ設ケ、且其ノ間隙調節ハ撥胴ノ固定軸ニ依リ爲シ得ルガ如キ機構ヲ有スルモノナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作共ニ粗雑ニシテ輕快ナラズシテ作業抵抗大ナル傾向アリ。猶齒車被覆ハ完全ナラシムルヲ可トス。

第二 人力扱摺機鑑定試験成績

一 出 品 物

鑑定試験ニ出品セルモノヲ脱稈部ノ型式ニ分チテ列擧スレバ次ノ如シ。
ロ ー ル 型

龍虎式人力用扱摺機

金時ロール型人力用扱摺機

永田式ロール型人力用扱摺機

㊦式圓盤ロール型人力用扱摺機

イソベ式ロール圓盤型人力用扱摺機

長平式磁器ロール型人力用扱摺機

ゴ ム 白 型

高須式萬年號ゴム白型扱摺機

米田式輕便ゴム白型扱摺機

藤井式人力用ゴム白型扱摺機

橋本式ゴム白型扱摺機

寺本式明光號ゴム白型扱摺機

- 西三式ゴム白型臼摺機
- 天野式國王號ゴム白型臼摺機
- 土白型
- 國富號土白型臼摺機
- 豐富式①號土白型臼摺機
- 橋本式土白型臼摺機
- 龍城號土白型臼摺機
- カクカ式横濱號土白型臼摺機
- ユタカ式土白型足踏臼摺機
- 特殊白型
- 三清式サチナイト白型臼摺機
- 豐富式マグネシット白型臼摺機
- 愛光式マグネシットゴム齒白型臼摺機
- 達摩式カルシウム白型臼摺機
- 衝擊型
- 岩田式衝擊型人力用臼摺機

二 供試材料

臼摺試験ニ供用セル粒ニ關スル調査次ノ如シ。

品 種	千本旭
産 地	愛知縣碧海郡矢作町
生 産 年 度	昭和九年
性 狀 ノ 大 要	芒ノ有無長短 アリ、稍短 穀粒ノ形狀並大小 稍圓形及稍小粒
調 製 程 度	良
一斗重量	一〇〇五〇粒(二・六八〇貫)
一升重量	一〇〇五粒(二六八匁)
含有水分量	一三・七(ホフマン式水分檢定器五回平均)
胴 割 歩 合	二一・六%(一〇〇粒宛五回平均)
剛 度	六・九六粒(田中式剛度計一〇粒宛五回平均)
臼摺歩合	
重量歩合	七八・一七%
容量歩合	五〇・六〇%

龍虎「ゴム・ロール」臼摺機ニテ玄米摺出率八〇%ニ依リ調製ス

供試極量
重量 一一〇・四〇〇疋
容量 八斗

三 試驗方法

試驗ハ次ノ如クニシテ施行セリ。

(イ) 供試標準

試驗着手前ニ玄米摺出率ヲ土白式及之ニ準ズルモノハ七〇%又ロール式及ゴム白式等ノモノハ八〇%程度ニテ且連續作業ニ耐エ得ル状態ニ糶落下量及白間隙等ノ調節ヲ出品者立會ニテ行フ様ニセリ。

(ロ) 作業人夫及試驗方法

本試驗ニハ次ノ如キA、B二人ノ農夫ヲ使用シ一人作業ノモノハ供試糶八斗ヲ四斗宛ニ等分シ各一人ニ付キ四斗ヲ、又二人作業ノモノハ八斗ヲ連續シテ糶摺セシメタリ。

種別	年	身	長	體	重	壯健程度
A (男)	三六	一五四	一五五	五五	八〇	中
B (男)	二二	一五七	一五六	五三	六三	中

(ハ) 構造調査

本試驗終了後脱稈部、軸承ケ各調節裝置等ノ機構製作、損傷等ニ付キ分解調査ヲナセリ。

四 試驗成績

第一表 人力糶摺機靜止檢查試驗成績

型式・名稱	項目	考察構造ノ良否	材料工作ノ良否	摺部ノ良否	使用ノ難易	安定ノ良否
型ルーロ 長イ②永金龍 ソ 田時虎 平ベ	高須式 萬年式 井式 三本式 國式 天野式	可 良 良 良 良	不 不 不 不 不	可 可 可 可 可	可 可 可 不 不	良 良 良 良 良
型白ムゴ 西橋式 寺本式 天野式	富式 富式 富式 富式 富式	可 可 可 可 可	不 不 不 不 不	可 可 可 可 可	可 可 可 不 不	良 良 良 良 良
式白土 カ龍橋式 タカカ式 カカ式 カカ式	富式 富式 富式 富式 富式	可 可 可 可 可	不 不 不 不 不	可 可 可 可 可	可 可 可 不 不	良 良 良 良 良
型白種特 達愛豐三 カカカ式 カカカ式 カカカ式	富式 富式 富式 富式 富式	可 可 可 可 可	不 不 不 不 不	可 可 可 可 可	可 可 可 不 不	良 良 良 良 良
衝擊型 岩田式	式式式式 式式式式 式式式式 式式式式	良 良 良 良 良	不 不 不 不 不	良 良 良 良 良	良 良 良 不 不	良 良 良 良 良

第二表 人力糶摺機運轉試驗成績

型式・名稱	項目	試驗日期	候天	供試極量	所要人員	所要時間	調節下	調節間	別使手足	總運數	運均每分	轉分脫稈部	仕上玄米量	殘	量	量	量	量	量
型ルーロ ②永金龍 田時虎 式式式式	試驗日期	〇〇〇〇年 〇〇月〇〇日 〇〇時〇〇分	晴	〇〇〇〇斗	二人	〇〇分	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

長式式 〇・六〇時 〇・四〇〇八〇 一三一八 五〇 一 手 二五三 突 〇・三六 三・三六 二〇・三六 〇・三六

名	稱	價	格	住	所	氏	名
金時	ロール型人力用耙摺機	四〇〇		愛知縣實飯郡豊川町大字古宿字北浦一ノ第五		共榮社	林 總 吉
橋本	式土白型耙摺機	一〇〇〇		三重縣阿山郡城南村久米二八二		橋本	耙摺機製造所 橋本 保
ユタカ	式土白型足踏耙摺機	二二〇〇		岡崎市能見町一四一		豊	年 社
國富	號土白型耙摺機	一六〇〇		岡崎市戸崎町上り場西五ノ三		岡崎農具製作所	富田 三三
愛光	式マグネシットゴム齒白型耙摺機	一五〇〇		愛知縣知多郡大高町字中能瀬三六		愛光農機製造株式會社	富田利吉
寺本	式明光號ゴム白型耙摺機	三〇〇〇		愛知縣知多郡八幡町八幡西前田		萬國農富社	加藤 半次郎
高須	式萬年號ゴム白型耙摺機	二二〇〇		兵庫縣揖保郡龍野町北龍野一二		高須農機合名工作所	高須治郎吉
永田	式ロール型人力用耙摺機	三七〇〇		三重縣伊勢電鐵橋前		永田	機械製作所
岩田	式衝擊型人力用耙摺機	四六〇〇		名古屋市南區深下町六七		井	桁 商 店
豊富	式①號土白型耙摺機	九五〇		名古屋市南區星崎町九一		久	納 豐 吉
藤井	式人力用ゴム白型耙摺機	二〇〇〇		名古屋市中區牧野町六		藤井	惣 高 五 郎 光
天野	式國王號ゴム白型耙摺機	一七〇〇		岐阜縣武儀郡關町乙ノ一七九九		天野商會	天野 實之輔
長平	式磁器ロール型人力用耙摺機	三三〇〇		兵庫縣揖保郡越部村常崎四六七		タイム式佐藤合名會社	
龍虎	式ロール型人力用耙摺機	四六〇〇		東京市日本橋區室町四ノ五		廣	瀬 製 作 所

五 鑑定試験ノ結果

鑑定試験ノ結果適當ナリト認メタル人力耙摺機 (申込者ノいろは順)

名	稱	價	格	住	所	氏	名
金時	ロール型人力用耙摺機	四〇〇		愛知縣實飯郡豊川町大字古宿字北浦一ノ第五		共榮社	林 總 吉
橋本	式土白型耙摺機	一〇〇〇		三重縣阿山郡城南村久米二八二		橋本	耙摺機製造所 橋本 保
ユタカ	式土白型足踏耙摺機	二二〇〇		岡崎市能見町一四一		豊	年 社
國富	號土白型耙摺機	一六〇〇		岡崎市戸崎町上り場西五ノ三		岡崎農具製作所	富田 三三
愛光	式マグネシットゴム齒白型耙摺機	一五〇〇		愛知縣知多郡大高町字中能瀬三六		愛光農機製造株式會社	富田利吉
寺本	式明光號ゴム白型耙摺機	三〇〇〇		愛知縣知多郡八幡町八幡西前田		萬國農富社	加藤 半次郎
高須	式萬年號ゴム白型耙摺機	二二〇〇		兵庫縣揖保郡龍野町北龍野一二		高須農機合名工作所	高須治郎吉
永田	式ロール型人力用耙摺機	三七〇〇		三重縣伊勢電鐵橋前		永田	機械製作所
岩田	式衝擊型人力用耙摺機	四六〇〇		名古屋市南區深下町六七		井	桁 商 店
豊富	式①號土白型耙摺機	九五〇		名古屋市南區星崎町九一		久	納 豐 吉
藤井	式人力用ゴム白型耙摺機	二〇〇〇		名古屋市中區牧野町六		藤井	惣 高 五 郎 光
天野	式國王號ゴム白型耙摺機	一七〇〇		岐阜縣武儀郡關町乙ノ一七九九		天野商會	天野 實之輔
長平	式磁器ロール型人力用耙摺機	三三〇〇		兵庫縣揖保郡越部村常崎四六七		タイム式佐藤合名會社	
龍虎	式ロール型人力用耙摺機	四六〇〇		東京市日本橋區室町四ノ五		廣	瀬 製 作 所

六 出品物ニ對スル概評

金時ロール型人力用糶摺機

本機ハ作業者二人相向ヒ各T型把手ヲ前後ニ交互押引シ其ノ往復運動ヲ連接桿及齒車ニ依リテ「ゴムロール」軸ニ傳達シ「ロール」間隙ニ落下シ來リタル糶ヲ脱稈スル二人用手押式糶摺機ナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作共ニ概ネ良好ニシテ疲勞ヲ感ズルコト比較的少ク能率ハ毎時一・二石一人當リニテハ六斗ニシテ中庸ノモノナリ。

之ヲ要スルニ本機ハ人力用糶摺機トシテハ比較的良好ナルモノト云ヒ得ベシ。

橋本式土臼型糶摺機

本機ハX型組棒上ニ設置シ白間隙調節裝置等ヲ缺クモ上臼ノ糶粒ニ依ル持チ上リ程度等ヲ調節スル發條及臼ヲ四ヶ所ノ發條ニ依リ支ヘタル浮動裝置等ヲ有シ、又上臼ノ廻轉ハ遣木ニ依ル土臼型糶摺機ナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構上、臼ノ輕轉裝置及間隙調節裝置ヲ缺ク爲、補ヒトシテノ白浮動裝置ハ或ル程度有效ナルモノノ如ク能率ハ毎時七・五斗ヲ得タリ。但シ之ハ作業稍困難ナル状態ナリシヲ以テ毎時七斗位ヲ適度トスベキモ、此ノ種ノモノトシテハ比較的較良好ナリ。猶此ノ浮動裝置ノ爲手力ノ加ハル毎ニ、其ノ側ニテ稍碎米ヲ多ク生ズル傾向アリタリ。又其ノ取付ケハ不完全ナルタメ安定ヲ缺ケリ。且全體のニ製作稍粗雑ナルヲ以テ注意ヲ要ス。

ユタカ式土臼型足踏糶摺機

本機ハ自轉車ノ如ク腰掛ケ兩足ニテ「クランク」ヲ交互ニ踏ミ、其ノ廻轉運動ヲ「チェーン」及齒車ニ依リテ白軸ニ傳

ヘ以テ上臼ヲ廻轉スル足踏式土臼型糶摺機ナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構モ概ネ佳良ニシテ疲勞ヲ感ズルコト及米質ノ損傷共ニ比較的少ク、又能率ハ毎時六・三斗ニシテ中庸ノモノナリ。唯臼齒ノ配列稍不揃ナル點及軸承ヶ部分ノ製作幾分粗雑ナル傾向アルヲ以テ、之等ノ製作ニ一層ノ注意ヲ要スルモノナリ。猶齒車ヲ傷メザル爲足踏ヲ中止スルト共ニ足ヲ離スル必要トスルモ「コースター」ヲ附スレバ臼ノミ廻轉シ良好ナラン。

之ヲ要スルニ本機ハ臼等ノ製作ニ猶注意ヲ要スルモ此ノ種ノモノトシテハ比較的良好ナルモノナリ。

國富號土臼型糶摺機

本機ハH型組棒上ニ設置シT型把手ヲ前後ニ押引シ、其ノ往復運動ヲ連接桿ニ依リ白軸下部ヲ曲ゲテ作レル曲柄軸ニ傳達シ上臼ヲ廻轉セシムル手押式土臼型糶摺機ナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作共ニ佳良ニシテ米質ノ損傷モ此ノ種土臼型トシテハ比較的少ク能率ハ毎時約六斗ニシテ中庸ナリ。

即チ本機ハ此ノ種人力用糶摺機トシテハ比較的良好ナルモノナリ。

愛光式マグネシトゴム齒臼型糶摺機

本機ハ植齒ニハ「ゴム」板ヲ以テシ其ノ間ヲ「マグネシト」ト稱スル「マグネシアセメント」石粉、鋸屑、「ニガリ」等ノ配合劑ヲ以テ填充セル特殊臼ヲ十型組臺上ニ設置シ遣木ニ依リ上臼ヲ廻轉スル臼型糶摺機ナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ稍填充部ノ目立ち多キ感アルモ龜裂ヲ生ズルコト少ク、又米質ノ損傷モ少ク、且能率ハ毎時七斗強ニシテ良好ナリ。猶機構製作ニ於テモ概ネ佳良ナリ。

即チ本機ハ人力用糶摺機トシテ比較的良好ナルモノナリ。

寺本式明光號ゴム臼搥機

本機ハ「ゴム」臼ノ縦摺リ式ノモノニシテ作業者二人相向ヒT型把手ヲ前後ニ交互押引シ其ノ往復運動ヲ連接桿及齒車ニ依リテ臼軸ニ傳達シ、其レニ固定セル一方ノ「ゴム」臼ヲ垂直面ニ廻轉セシメ、更ニ他ノ「ゴム」臼ハ臼送込胴へ「ピン」止メニ依リ遊動式ニ固定シ送込胴ト共ニ左右ニ進退セシメテ玄米摺出率ヲ調節シ得ル如キ機構ヲ有スル手押式「ゴム」臼型搥機ナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ考案トシテハ見ルベキモノアリテ、固定臼ノ遊動装置ニ依リ米質ノ損傷少キ傾向アルモ能率ハ毎時六斗強、一人ニテハ三斗強ニシテ甚ダ良好ナラズ。之ハ臼落下量稍少ク作業比較の容易ナリシヲ以テ、尙高メ得ンモ併シ製作ノ不良ナルモノアリシニモ因ルモノノ如シ。即チ臼送込胴ノ移動装置ノ鑄物作りナル爲ニ多ク作業中兩臼端ニ喰ヒ違ヒヲ生ジ依テ能率ヲ減少セル傾向アルヲ以テ右移動装置ハ機械仕上ノ製作ヲ必要トスルモノナリ。猶本機ノ如ク相當高速廻轉ヲ利用スルモノハ兩臼接觸ノ良否ニ依リ能率ニ大差ヲ生ズルハ明ナルヲ以テ組枠ハ弛ミ多キ木骨ヨリ鐵骨製ニナス方適當ナラン。次ニ臼ノ取換ヘニ稍不便ナルモ本機ノ如ク臼徑(三六・四糎)小ナルモノハ此ノ取換ヘヲ容易ナラシムル要アリ。

之ヲ要スルニ本機ハ稍改良ヲ要スル點ヲ有スルモ人力用搥機トシテハ比較的良好ナリ。

高須式萬年號ゴム臼型搥機

本機ハ十型組臺上ニ設置シ遣木ニ依ル手ノ廻轉運動ヲ以テ上臼ヲ廻轉スル人力用ゴム臼型搥機ナリ。出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ米質ハ玄米摺出率ノ大ナリシ爲稍損傷ヲ見タルモ差支ヘナキ程度ナリ。本機ハ概シテ機構製作共ニ佳良ニシテ且能率ハ毎時七・二斗強ニシテ良好ナリ。即チ本機ハ人力用搥機トシテハ比較的良好ナルモノナリ。

永田式ロール型人力用搥機

本機ハ作業者鐵製腰掛ケ臺ニ腰掛ケ機械兩側ニアル「レバー」ノ端ヲ兩脚ニテ交互上下ニ踏ミ、其ノ上下運動ヲ連接桿ニ依リ内外兩面ニ夫々齒ヲ有スル大齒車ニ傳ヘ、更ニ兩「ゴムロール」軸ニ固定セル齒車ヲ此ノ兩齒面ニ各嚙合セシメテ「ロール」軸ヲ廻轉シ以テ「ロール」間隙ニ落下シ來ル臼ヲ脱釋スル一人用足踏式搥機ナリ。出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ能率ハ毎時六・九斗ニシテ又疲労ヲ感ズルコトモ比較の少ク、人力用搥機トシテハ比較的良好ナルモ猶次ノ諸點ニ對シ改良ヲ加フレバ一層良好ナラン。

- 一、構成材料全體的ニ稍纖弱ナリ。
- 二、「ゴムロール」ノ取換ヘニ困難ナルヲ以テ之ヲ簡易ナラシム。本機ハ直徑一三二耗ノ小「ゴムロール」ヲ使用スルヲ以テ特ニ取換ヘノ容易ナラシムルコトハ必要ナリ。
- 三、足踏ミノ上下動距離三四糎ニシテ稍大ナル傾向アリ。
- 四、足踏方式ヲ足踏摺機ノ如キ形式ニ改ムレバ體重ヲ利用シ、且兩足ヲ交互ニ休メテ使用シ得ルノミナラズ、猶二人ニテモ作業ヲナシ得ルヲ以テ能率ヲ高メ得ン。

岩田式衝擊型人力用搥機

本機ハ作業者二人相向ヒT型把手ヲ交互押引シ其ノ往復運動ヲ連接及齒車ニ依リ羽根車ニ傳達シ臼ハ羽根車内ヲ誘導セラレ之ヲ皿狀「ゴム」輪盤ニ衝擊セシメテ脱釋スルモノナリ。出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作共ニ佳良ニシテ特ニ新シク附裝セル除塵裝置ハ有效ニ働キ同機特有ノ夥シキ塵埃ハ殆ド飛散セズ良好ナリ。能率ハ毎時一人當リ五斗ニシテ稍少キモノナリ。猶米質ハ佳良ナルモ幾分折米ヲ生ズルハ注意ヲ要スル所ナリ。

之ヲ要スルニ本機ハ人力用扱摺機トシテ比較的良好ナルモノナリ。

豐富式①號土臼型扱摺機

本機ハ十型組臺上ニ設置シ遣木ニ依ル手ノ廻轉運動ヲ以テ上臼ヲ廻轉スル土臼型扱摺機ナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作共ニ概ネ佳良ナルモ、唯上臼ノ溝ノ深サ稍深クシテ碎米幾分多キ傾向アリタルヲ以テ製作上注意ヲ要スルモノナリ。能率ハ比較的良好ナルモ、唯上臼ノ溝ノ深クシテ碎米幾分多キ傾向アリタルヲ以テ製作上注意ヲ要スルモノナリ。能率ハ比較的良好ナルモ、唯上臼ノ溝ノ深クシテ碎米幾分多キ傾向アリタルヲ以テ製作上注意ヲ要スルモノナリ。

藤井式人力用ゴム臼型扱摺機

本機ハ十型組臺上ニ設置シ遣木ニ依ル手ノ廻轉運動ヲ以テ上臼ヲ廻轉スル人力用「ゴム」臼型扱摺機ナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作概ネ佳良ナルモ能率ハ「ゴム」齒ノ硬度低ク、且粘着性ヲ有スル爲作業抵抗稍大ナル傾向アリテ能率ハ毎時四・三斗強ニシテ良好ナラザルヲ以テ改良ヲ要ス。尙臼間隙調節ノ爲臼軸ヲ上下スル機構ナルモ其ノ臼軸ハ單ニ捻込ムノミニテ固定裝置ナキモ之ハ臺裏ニテ螺子止メヲ附スル要アリ。之ヲ要スルニ本機ハ「ゴム」質等ニ改良ヲ要スルモ人力用扱摺機トシテハ比較的良好ナリ。

天野式國王號ゴム臼型扱摺機

本機ハ十型組臺上ニ設置シ遣木ニ依ル手ノ廻轉運動ヲ以テ上臼ヲ廻轉スル「ゴム」臼型扱摺機ナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作共ニ概ネ良好ニシテ米質損傷モ比較の少ク、且能率ハ毎時六・八斗ヲ得タリ。而シ之ハ作業抵抗大ナリシ感アルヲ以テ一般的ニハ六斗位ヲ期シ得ベシ。

即チ本機ハ人力用扱摺機トシテ比較的良好ナルモノナリ。

長平式磁器ロール型人力用扱摺機

本機ハ廻轉スル磁器製「ロール」ト其ノ斜上方ニ載置セル數枚ノ「ゴム」板ヲ結合シ、之ニ重錘ヲ加ヘタル重錘「ゴム」齒トノ間ノ接觸ニ依リ扱ヲ脱稈スルモノニシテ其ノ「ロール」軸ノ廻轉ニハ作業者ハT型把手ヲ前後ニ押しシ其ノ往復運動ヲ連接桿及齒車ニ依リ傳達シテ行フ所ノ一人用押し扱摺機ナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ一人用トシテハ傳達機構及製作ハ共ニ佳良ナリ。能率ハ毎時五斗ニテ稍低キ感アリ。本機ハ人力用扱摺機トシテハ比較的良好ナルモ米質ノ損傷稍大ナル傾向アルヲ以テ次ノ諸點ニ付キ改良研究ヲ加フレバ一層可ナリ。

- 一、碎米ハ少キモ玄米ノ肌摺レ程度寧ロ土臼ヨリモ大ニシテ米質ヲ劣惡ナラシムル傾向アルヲ以テ脱稈部ノ構造及材質等ニ付キ改良ヲ要ス。
- 二、扱送込裝置ヲ附シ扱ヲ「ロール」面ニ一様ニ分散セシムル様ニナスコト必要ナリ。現在之ヲ缺ク爲ニ中央ノミニテ脱稈サレ且玄米摺出率ヲ適當ナラシムルコト困難ナル傾向アリ。米質ノ損傷及能率ノ比較の少キ點モ右ニ因ルモノナラン。
- 三、作業抵抗比較の大ナルヲ以テ作業者ハ二人ニテ行ヒ得ル二人式トスルカ、或ハ助手ト二人並ビテ容易ニ作業ナシ得ル様ナラシム要アリ。
- 四、重錘「ゴム」齒ヲ作業ノ初終等ニ一々助手ニ依リ加除スルハ不便ナルヲ以テ作業者ニ於テ容易ニナシ得ル機構ニナスヲ可トス。

龍虎ロール型人力用扱摺機

本機ハ作業者二人相向ヒ各T型把手ヲ前後ニ交互押しシ、其ノ往復運動ヲ連接桿齒車及「チェーン」ニ依リテ「ゴムロール」軸ニ傳達セシメ、更ニ遠心力利用ニ依ル扱自動調節裝置ヲ經テ「ロール」間隙ニ來タル扱ヲ脱稈スル二人用押し扱摺機ナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作共ニ概不佳良ニシテ扱自動調節裝置モ相當有效ニ働キ疲勞ヲ感ズルコトモ比較的少シ。且能率ハ毎時一・一石強、一人當リニテハ約五・七斗ニシテ稍少キ感アルモ先ヅ中庸ノモノナリ。

達摩式カルシューム臼型扱摺機

本機ハ植齒ニハ極齒ヲ用フルモ其ノ間ハ「カルシューム」ト稱スル石膏「コンニヤク」芋粉等ノ混合劑ヲ填充セル特殊臼ヲ十型組臺上ニ設置シ遣木ニ依ル上臼廻シヲナス臼型扱摺機ナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ填充部ヨリ白粉ヲ剝離シ、之ガ玄米表面ニ附着シテ米質ヲ甚ダ低下セシムル傾向アルヲ以テ配合方法ニ改良ヲ要スルモノナリ。猶本機ハ構造製作共ニ稍粗雜ナルモノアリ。又扱落下量調節裝置及臼軸固定裝置等ヲ缺クヲ以テ之ヲ附スル方可ナリ。

之ヲ要スルニ本機ハ機構上及臼ノ製作上猶改良ヲ必要トシ佳良ナラザルモノナリ。

橋本式ゴム臼型扱摺機

本機ハX型組粹上ニ設置シ且下臼ヲ四ヶ所ノ發條ニテ支エ以テ臼ニ浮動性ヲ與フル裝置ヲ有シ、上臼ヲ遣木ニ依ル手ノ廻轉運動ヲ以テ廻轉セシムル「ゴム」臼型扱摺機ナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ臼ノ輕轉裝置及間隙調節裝置ヲ缺キ、單ニ扱粒ニ依ル上臼ノ持ち上リ程度ヲ發條ニ依リ調節スルモノニシテ此ノ種ノモノハ作業抵抗多キモノナルモ、本機ハ臼ノ浮動裝置ニ依リ稍抵抗ヲ減ズル傾向ヲ認め得タリ。而シ手力ノ加ハル毎ニ臼ノ兩端離合ノ度大ニシテ玄米摺出率ヲ減ジ、且玄米ノ肌摺レヲ増ス傾向アルヲ以テ尙浮動裝置ノ改良ヲ要スルモノナリ。又發條取付裝置モ粗雜ニシテ作業中發條飛び出スコトアルヲ以テ其ノ取付ケヲ確實ナラシムル要アリ。又「ゴム」質稍粘着性多キ傾向アルヲ以テ之ガ良好ナルモノヲ選定スルヲ可トシ、猶「ゴム」臼型トシテハ

臼ノ間隙調節及輕轉等ノ裝置ヲ附スルヲ可トセン。

之ヲ要スルニ本機ハ「ゴム」臼型トシテハ佳良ナラザルモノナリ。

カクカ式横濱號土臼型扱摺機

本機ハ十型組臺上ニ設置シ遣木ニ依ル手ノ廻轉運動ヲ以テ上臼ヲ廻ス土臼型扱摺機ナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ能率トシテハ毎時約六・八斗ニシテ比較的良好ナルモ、碎米モ多ク且機構製作上ニモ改良ヲ要スル所多シ。即チ第一ハ土臼ノ製作ニシテ本機ハ他ト異ル植齒ノ配列ヲナシ、中辦ノ各角隅ヲ標準トシ、其ノ各邊ニ沿フテ白面ヲ四大別シ、更ニ各ヲ四區劃ニ分チ、之ヲ扱ノ流出方向ニ從ヒ其ノ區劃ヲ小ナラシメ、且植齒ヲ順次傾斜セシムルモノニシテ、右ハ理論上ハ何ナルモ實際ノ製作上ニハ不便ヲ伴フベク、出品機ニ於テモ植齒數及其ノ間隔共ニ不揃ニシテ米質ヲ損傷セルヲ以テ良好ナル製法トハ言ヒ難キモノナリ。第二ハ輕轉裝置ニ利用セル玉承ケ部分ニシテ其ノ面積モ小サク、且其ノ防塵方法不完全ニシテ埃ノミナラズ、扱等モ混入シ居リ玉承ケノ效果ヲ減殺スルヲ以テ改良ヲ要スルモノナリ。第三ハ製作全體ニ粗雜ナリ。

之ヲ要スルニ本機ハ機構及製作上ニ改良ヲ必要トシ佳良ナラザルモノナリ。

米田式輕便ゴム臼型扱摺機

本機ハX型ノ組粹上ニ設置シ遣木ニ依ル手ノ廻轉運動ヲ以テ上臼ヲ廻スル人力用「ゴム」臼型扱摺機ナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ臼ノ間隙調節裝置及輕轉裝置ヲ缺キ、單ニ發條ニ依リ扱粒ニ依リ上臼ノ持ち上リ程度ヲ調節スル裝置ヲ有スルノミナルヲ以テ、抵抗多ク特ニ作業中熱ノタメ順次「ゴム」質ノ抵抗ヲ増シ作業困難トナル傾向アリタリ。運轉試験ハ發條ヲ全然弛メ上臼ノ重量ノミニテ作業ヲ行ヒ、能率ハ毎時六・七斗ヲ得テ相當良好ナルモ、到底一人ニテハ連續作業ハ不可能ナル状態ナリ。即チ本機構造ノ如キハ一般ニ抵抗多キ傾向アル「ゴム」臼型ニハ適セザルモノノ如シ。

三清式サチナイト臼型糶摺機

本機ハ臼ノ製作ニ「サチナイト」ト稱スル「マグネサイト」、黒鉛、石棉粉、石粉等ノ特殊材料ヲ配合加工シテ植齒及填充部ヲ形作り植齒ノ部分ハ黒色、填充部ハ白色ヲ呈スル特殊白ニシテ之ヲ函枠内ニ設置シ懸垂セル竿ヲ引廻シ乍ラ上臼ヲ廻轉スル引廻式臼型糶摺機ナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ能率ハ毎時約八・七斗ニ達セルモ疲勞甚シク、一人ニテハ到底連續作業困難ナリ。之ハ糶落下量調節装置ヲ全々缺クニ依ルモノナリ。尙其ノ他臼ノ間隙調節装置及輕轉装置等モ甚ダ不完全ニシテ殆ド用ヲナサザル状態ナルヲ以テ改良ヲ要ス。猶本機ハ米質ニ對シテモ重大ナル缺點ヲ有スルモノニシテ即チ作業中白ヨリ盛ニ白粉ヲ剝離シ、之ガ玄米表面ニ附着シテ一斗重量ヲ減ジ雨天ニハ宛ラ乾燥ノ不良ナル米ノ如キ状態ヲ呈シ、米質ヲ劣惡ナラシム傾向アルヲ以テ臼ノ填充部ノ材料配合ニ改良ヲ要スルモノナリ。之即チ本機ハ機構及臼製作上大改良ヲ加エザレバ實用ニ適セザルモノナリ。

豊富式マグネシット臼型糶摺機

本機ハ植齒ニハ極齒ヲ用ヒ填充土ノ代リニ「マグネシット」ト稱スル「マグネシヤセメント」石粉、鋸屑、「ニガリ」等ノ混合劑ヲ用ヒタル特殊ノ臼ヲ十型組臺上ニ設置シ遺木ニ依リ上臼ヲ廻轉セシムル臼型糶摺機ナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構ハ概ネ佳良ナルモ臼部ニハ改良ヲ要スルモノアリ。即チ配合劑ハ「ニガリ」ヲ用ヒタル爲カ粉トシテ飛散セザルモ所々ニ龜裂ヲ生ジ小塊トナリテ剝離スル傾向アリ。次ニ能率ハ毎時九・七斗強ヲ得タルモ疲勞ヲ感ズルコト大ナル傾向アリタルヲ以テ、連續的ニハ毎時八斗位ナルベク能率のニハ良好ナル傾向アルモ碎米特ニ多ク碎米率約三%アリ。肌摺程度モ大ナルヲ以テ米質ハ概シテ良好ナラザルモノナリ。

西三式コム臼型糶摺機

本機ハH型組棒上ニ設置シ作業者ハT型把手ヲ前後ニ押しシ其ノ往復運動ヲ連接桿ニ依リ臼軸下部ヲ曲ゲテ作レル曲柄軸へ傳達シ上臼ヲ廻轉セシムル手押し式「コム」臼型糶摺機ナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ「コム」臼ノ品質不良ニシテ碎米多キ傾向アリテ、玄米摺出率低キニ拘ラズ米質良好ナラズ。又能率モ毎時約四・二斗ニシテ不良ナリ。猶漏斗ノ糶落下装置ハ機構製作共ニ不完全ナリ。

即チ本機ハ「コム」質及漏斗ノ改善ヲ要シ佳良ナラザルモノナリ。

イソベ式ロール圓盤型人力用糶摺機

本機ハ廻轉スル「ゴムロール」ト之ニ依リ誘動セラルル皿狀「ゴム」圓盤トノ間隙ニテ糶ヲ脱稗スルモノニシテ作業二人相向ヒT型把手ヲ交互押しシ其ノ往復運動ヲ連接桿及齒車ニ依リ「ロール」軸ニ傳達スル所ノ二人用手押し式糶摺機ナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ次ノ諸點ニ改良ヲ加ヘザレバ未ダ實用ニ適セザルモノナリ。

- 一、機構上圓盤軸ノミナラズ「ロール」軸ニモ傾斜角度ヲ附スル爲齒車間ノ抵抗大ナル傾向アルヲ以テ「ロール」軸ハ傾斜セサル様改良ヲ要ス。
- 二、傳導大齒車ハ固定軸上ヲ遊動セル機構ナルモ齒車間ノ抵抗大ナル傾向アルヲ以テ、大齒車ト其ノ軸ヲ固定シ完全ナル軸承ヲ利用スル方可ナリ。
- 三、玄米摺出率低キ傾向アリテ之ヲ良好ナラシメントセバ落下量ヲ甚ダシク減少セシムルコトヲ要スルヲ以テ此ノ點大イニ考究ヲ要ス。
- 四、糶送込「ロール」及糶落下口共ニ過大ニシテ糶落下量ノ調節困難ナリ。
- 五、糶落下ノ曳出シ装置ヲ作業中容易ニナシ得ル様ニナスコト必要ナリ。

⑧式圓盤ロール型足踏糶摺機

本機ハ廻轉スル大「ゴム」圓盤ト之ニ依リ誘動セラルル小「ゴムロール」間ニ粒ヲ落シテ脱稈スルモノニシテ圓盤ヲ廻轉スルニハ足踏式稻扱機ノ如ク踏ミ板ヲ足ニテ上下ニ踏ミ、其ノ上下運動ヲ連接桿及齒車ニ依リ傳達シテ行フ所ノ足踏式扱機ナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作共ニ相當研究考慮ノ跡ヲ認メ得ベキモ猶次ノ諸點ヲ改良セザレバ未ダ實用ニ適セザルモノナリ。

- 一、脚力ヲ加フル毎ニ杵柱撓ミ圓盤ト「ロール」トノ間隙ニ廣狹ヲ生ジ以テ作業ヲ甚ダ困難ナラシメ且玄米摺出率ヲ低下セシムル傾向アリ。
- 二、齒車間ニ雜音ヲ生ジ抵抗ヲ増ス傾向アルヲ以テ、齒車間隙ヲ調節スル爲ニ大齒車ヲ移動セシメ得ル機構ニナス要アリ。
- 三、脱稈部ノ一方ヲ遊動式ニナスモノハ玄米摺出率低キ傾向アル爲ニ足踏數等ノ多キヲ要求スルモ、之ハ疲勞ヲ早カラシムルヲ以テ毎分七〇—八〇回程度ニテ利用シ得ル様考究ヲ要ス。
- 四、圓盤及「ロール」ノ取換ヘヲ一層容易ナラシムルヲ要ス。

龍城號土臼型扱機

本機ハH型組杵上ニ設置シT型把手ヲ前後ニ押しシ其ノ往復運動ヲ連接桿ニ依リ白軸下部ヲ曲ゲテ作レル曲柄軸ニ傳達シ以テ上臼ヲ廻轉スル手押し土臼型扱機ナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ植齒稍整列ヲ缺キ、且兩臼共ニ目立テ深キニ過ギ碎米量特ニ多ク碎米率二・一%ニ達スルヲ以テ臼製作上特ニ注意ヲ要スルモノナリ。尙漏斗下部ノ角度緩ニシテ粒落下状態稍不良ナルヲ以テ角度ヲ急ナラシムル方可ナリ。之ヲ要スルニ本機ハ機構ニ於テハ概ネ佳良ナルモ臼ノ製作上一層注意ヲ要スルモノナリ。

第三 唐箕鑑定試験成績

一 出 品 物

鑑定試験ニ出品セルモノヲ羽根車廻轉型式ニ分チテ示セバ次ノ如シ。

輕轉裝置付

- カネウメ式特選號唐箕
- 小宮式改良唐箕
- 小宮式米選器付唐箕
- 岡田式輕便唐箕
- 指 敬 式 唐 箕
- スズキ式改良唐箕
- 川崎式光輝米選器付唐箕
- 久田式改良唐箕
- 川崎式改良唐箕
- 直 接 式
- 伊 勢 唐 箕
- 田 口 式 改 良 唐 箕

綾田式讃岐松島唐箕
幸助唐箕

二 供試材料

唐箕試験ニ供用セル扱ニ關スル調査次ノ如シ。

品	種	千本旭
産地		愛知縣碧海郡矢作町
生産年度		昭和九年
性狀ノ大要		芒ノ有無長短 アリ、稍短
穀粒ノ形狀竝大小		稍圓形及稍小粒
調製程度		良
一斗重量		一〇〇・一三疋(二・六八〇貫)
一升重量		一〇〇・五疋(二六八匁)
含有水分量		一三・九%(ホフマン氏水分檢定器五回平均)
胴割歩合		二二・〇%(一〇〇粒宛五回平均)
剛度		六・八七疋(田中式剛度計一〇粒宛五回平均)
扱摺歩合		

重量歩合	七八・一五%	龍虎式「ゴムロール」扱摺機ニテ玄米摺出率約八〇%ニテ調製ス
容量歩合	五〇・五七%	
供試扱量		
重量	一〇〇・二五疋	
容量	一石	

三 試験方法

試験ハ次ノ如クニシテ施行セリ。

- (イ) 供試材料ノ調製
供試扱ヲ充分攪拌シ一斗重量ヲ均一ナラシメタルモノヲ一回ノ供試量扱一石宛ヲ各以ニ豫メ封入シ置キ之ヲ各唐箕試験前ニ三菱式單相四分ノ一馬力電動機ヨリ齒車傳導ノ岩田式摺落機ヲ使用シ、其ノ扱落下量ヲ一定ナラシメ、且電壓ヲ一〇〇「ヴォルト」ニ調節シテ扱摺ヲ行ヒ、此ノ摺落ノモノヲ試験ニ供用セリ。
- (ロ) 作業人夫及供試方法
一定ノ人夫(男)ヲ用ヒ豫メ選別狀態ヲ調査シ置キ其ノ調製程度ニ依リ連續作業セシメタリ。
- (ハ) 構造調査
試験終了後各部構造及損傷ニ付キ調査セリ。

四 試驗成績

第一表 唐箕靜止檢查成績 (申込順)

名稱	項目	構造考案ノ良否	材料工作ノ良否	使用ノ難易
伊田口勢式唐箕	可	可	良	稍
田口松島唐箕	可	不	良	稍
力ネウメ式特選良唐箕	可	不	良	稍
小宮式選機付唐箕	稍	可	良	易
指田式唐箕	可	可	良	易
スズキ式唐箕	優	良	良	易
幸田式唐箕	可	良	良	易
久松式唐箕	不	不	良	難

第二表 唐箕運轉試驗成績

名稱	項目	試驗期日	天候	供試糧量		所要時間	總手廻數	每分平均手廻數	每分平均車廻數	各部調節			唐箕先平均風速 (米/秒)			落一 番口 落全 量
				重	量					落	下	口	誘	導	板	
伊田口勢式	式	六月五日	晴	100.0	100.0	3分18秒	1,480	23.7	123.7	適宜	適宜	適宜	3.0	2.7	2.3	6.5
田口松島式	式	六月五日	晴	100.0	100.0	3分18秒	1,480	23.7	123.7	適宜	適宜	適宜	3.0	2.7	2.3	6.5
力ネウメ式	式	六月五日	晴	100.0	100.0	3分18秒	1,480	23.7	123.7	適宜	適宜	適宜	3.0	2.7	2.3	6.5
小宮式	式	六月五日	晴	100.0	100.0	3分18秒	1,480	23.7	123.7	適宜	適宜	適宜	3.0	2.7	2.3	6.5
指田式	式	六月五日	晴	100.0	100.0	3分18秒	1,480	23.7	123.7	適宜	適宜	適宜	3.0	2.7	2.3	6.5
スズキ式	式	六月五日	晴	100.0	100.0	3分18秒	1,480	23.7	123.7	適宜	適宜	適宜	3.0	2.7	2.3	6.5
幸田式	式	六月五日	晴	100.0	100.0	3分18秒	1,480	23.7	123.7	適宜	適宜	適宜	3.0	2.7	2.3	6.5
久松式	式	六月五日	晴	100.0	100.0	3分18秒	1,480	23.7	123.7	適宜	適宜	適宜	3.0	2.7	2.3	6.5

四 試驗成績

第一表 唐箕靜止檢查成績 (申込順)

名稱	項目	構造考案ノ良否	材料工作ノ良否	使用ノ難易
伊田式	唐箕	可	可	稍易
田口式	唐箕	可	不	稍易
講松式	唐箕	可	可	稍易
小宮式	唐箕	可	可	稍易
指田式	唐箕	可	可	稍易
ス幸式	唐箕	可	可	稍易
川崎式	唐箕	可	可	稍易
久力式	唐箕	可	可	稍易
川崎式	唐箕	可	可	稍易
久力式	唐箕	可	可	稍易

第二表 唐箕運轉試驗成績

名稱	項目	試驗期日		天候	供試粒量		時間	總數	平均	各部調節	唐箕先平均風速	
		重	容		上	中					下	重
伊田式	唐箕	晴	晴	晴	100	100	1.5	100	1.5	適宜	1.5	1.5
田口式	唐箕	晴	晴	晴	100	100	1.5	100	1.5	適宜	1.5	1.5
講松式	唐箕	晴	晴	晴	100	100	1.5	100	1.5	適宜	1.5	1.5
小宮式	唐箕	晴	晴	晴	100	100	1.5	100	1.5	適宜	1.5	1.5
指田式	唐箕	晴	晴	晴	100	100	1.5	100	1.5	適宜	1.5	1.5
ス幸式	唐箕	晴	晴	晴	100	100	1.5	100	1.5	適宜	1.5	1.5
川崎式	唐箕	晴	晴	晴	100	100	1.5	100	1.5	適宜	1.5	1.5
久力式	唐箕	晴	晴	晴	100	100	1.5	100	1.5	適宜	1.5	1.5

名稱	項目		重量	容量	重量	容量	重量	容量	重量	容量	重量	容量	重量	容量	重量	容量	重量	容量
	一	二																
完全米	一	番	重量	容量	重量	容量	重量	容量	重量	容量	重量	容量	重量	容量	重量	容量	重量	容量
下	物	精	米	查	量	量	量	量	量	量	量	量	量	量	量	量	量	量
計	米	查	量	量	量	量	量	量	量	量	量	量	量	量	量	量	量	量
二	番	口	落	下	物	精	查	量	量	量	量	量	量	量	量	量	量	量
完	全	米	粗	粒	重	容	重	容	重	容	重	容	重	容	重	容	重	容
層	米	重	容	重	容	重	容	重	容	重	容	重	容	重	容	重	容	重

川崎式改良唐箕	二六〇〇	福井市神宮寺町通	川崎	川崎興作
田口式改良唐箕	二二〇〇	神奈川県足柄上郡松田町神山二二〇	田口	田口増吉
指敬式唐箕	一七五〇	愛知県碧海郡明治村西端下七	指敬	指敬製作所 丹治 實司
岡田式輕便唐箕	一五〇〇	愛知県碧海郡知立町四六	岡田	岡田農具製作所 岡田 健吉
幸助式改良唐箕	二五〇〇	島根縣八束郡秋鹿村大字岡本九五三	幸助	幸助唐箕製作所 松崎 幸助
小宮式改良唐箕	一八〇〇	福井市松ヶ枝上町	小宮	小宮農具製作所 小宮 宅造
久田式改良唐箕	一四八〇	愛知県碧海郡旭村字荒子	久田	久田農具製作所
伊勢式改良唐箕	一四五〇	三重縣河藝郡箕田村大字中箕田一三一	伊勢	伊勢唐箕製作所 杉本 利雄
スズキ式改良唐箕	一五〇〇	一宮市城崎通二丁目三	鈴木	鈴木商會 鈴木 鐵一

五 鑑定試験ノ結果

鑑定試験ノ結果適當ナリト認メタル唐箕 (申込者ノいろは順)

名	稱	價	格	住	所	氏	名
カネウメ式特選號唐箕		二〇〇〇		愛知県愛知郡鳴海町	柳農具製作所	柳	農具製作所
川崎式光輝米選機付唐箕		二六〇〇		福井市神宮寺町通	川崎	川崎	興作
田口式改良唐箕		二二〇〇		神奈川県足柄上郡松田町神山二二〇	田口式改良唐箕製造所	田口	増吉
指敬式唐箕		一七五〇		愛知県碧海郡明治村西端下七	指敬製作所	丹治	實司
岡田式輕便唐箕		一五〇〇		愛知県碧海郡知立町四六	岡田農具製作所	岡田	健吉
幸助式改良唐箕		二五〇〇		島根縣八束郡秋鹿村大字岡本九五三	幸助唐箕製作所	松崎	幸助
小宮式改良唐箕		一八〇〇		福井市松ヶ枝上町	小宮農具製作所	小宮	宅造
久田式改良唐箕		一四八〇		愛知県碧海郡旭村字荒子	久田農具製作所	久田	農具製作所
伊勢式改良唐箕		一四五〇		三重縣河藝郡箕田村大字中箕田一三一	伊勢唐箕製作所	杉本	利雄
スズキ式改良唐箕		一五〇〇		一宮市城崎通二丁目三	鈴木商會	鈴木	鐵一

六 出品物ニ對スル概評

カネウメ式特選號唐箕

本機ハ齒車ニ依ル輕轉裝置ヲ利用シ彎曲支腕上ニ杉板ヲ打チ付ケタル羽根ノ羽根車ヲ廻轉シ、鼓胴ノ大サハ六八種ニシ

テ稍小型唐箕ナリ。落下及仕分けノ各部分ニハ夫々調節装置ヲ附ス。即チ前者ハ落口及落下誘導板ヲ調節シ、後者ハ一ノ口、二ノ口間及風洞出口ニ於テ行ヒ、且風洞上邊ヲ四種程末擴リニセリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作良好ニシテ作業容易且選別状態モ亦良ク此ノ種ノモノトシテハ良好ナルモノナリ。

尙本機ニハ不熟米除去ノ爲其ノ唐箕ノ一ノ口流シ板ヲ木板ト金網板トノ二重ニシ、之ヲ切り換へ使用シ得ルト共ニ此ノ金網板ヲ振動セシムル二重選穀機構ヲ有スルモ調査ノ結果ニ依レバ、此ノ振動式金網板ハ特ニ選別效果大ナラズ。故ニ其ノ角度ヲ急ニシテ振動セザルモノニテ可ナリ。

川崎式光輝米選器付唐箕

本機ハ齒車ニ依ル輕轉裝置ヲ利用シ、彎曲支腕上ニ杉板ヲ打チケタル羽根ノ羽根車ヲ廻轉シ、鼓胴ノ大サハ六三種ニシテ稍小型唐箕ナリ。落下及仕分けノ各部分ニハ夫々調節裝置ヲ附ス。即チ前者ハ落口及落下誘導板ヲ調節シ、後者ハ風洞出口ニ於テ行ヒ、且風洞上邊ヲ一種程末擴リニセリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ製作機構共ニ良好ニテ作業輕快且選別状態モ比較的良ク此ノ種ノモノトシテハ良好ナルモノナリ。

猶本機ハ其ノ鼓胴下へ縦線選穀器ヲ附裝シ、切換裝置ニ依リ玄米再選ノ場合ニ利用シ得ルコトニセリ。調査ノ結果ニ依レバ其ノ機構製作概ネ佳良ニテ又選別状態モ良好ナリ。

田口式改良唐箕

本機ハ杉板製羽根ノ羽根車ヲ直接把柄ニ依リ廻轉スルタメ、鼓胴ノ大サハ九四種ニ達スル大型唐箕ナリ。猶落下及仕分けノ各部分ニハ夫々調節裝置ヲ附ス。即チ前者ハ漏斗下部ニ於テ落口及落下誘導板ヲ調節シ後者ハ風洞出口ニ於テ行フモ

ノナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ本機ハ製作機構並選別成績ハ共ニ概シテ佳良ナリ。但手廻數毎分一三〇回ノ多キニ達シタルモ連續作業ニ於テハ現在ノ如ク小鐵管ニ依ル軸承ニテハ廻轉數ノ安定ヲ保チ難キ傾向アルヲ以テ球入りトナシ、尙鼓胴ヲ小型ニナシ、之ニ速轉裝置ヲ附スレバ一層可ナラン。

之ヲ要スルニ本機ハ此ノ種ノモノトシテハ稍佳良ナルモノナリ。

指敬式唐箕

本機ハ齒車ニ依ル輕轉裝置ヲ利用シ羽根車ヲ廻轉シ、鼓胴ノ大サハ七六種ニシテ中型唐箕ナリ。羽根ハ「ベニヤ」板ヲ支腕上ニ打付ケ、鼓胴ハ稍渦卷狀ニ其ノ末端ニ於テ約六種末擴リニナシ、猶風洞上邊ヲ八・五種程末擴リノ形態トセリ。落下及仕分けノ各部分ニハ夫々調節裝置ヲ附ス。即チ前者ハ落口及落下誘導板ヲ調節シ、後者ハ一ノ口、二ノ口間及風洞出口ニ於テ行フモノナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ輕轉裝置ノ製作稍粗雜ニテ抵抗幾分多キ傾向アルヲ以テ、之ガ製作ニハ注意ヲ要スルモ機構製作ハ概シテ佳良、又選別状態モ比較的良好ナリ。

之ヲ要スルニ本機ハ此ノ種ノモノトシテハ比較的佳良ナルモノナリ。

岡田式輕便唐箕

本機ハ齒車ニ依ル輕轉裝置ヲ利用シ支腕上ニ杉板ヲ打チケタル羽根ノ羽根車ヲ廻轉シ、鼓胴ノ大サハ八六・五種ニシテ中型唐箕ナリ。落下及仕分けノ各部分ニハ夫々調節裝置ヲ附ス。即チ前者ハ落口及落下誘導板ヲ調節シ、後者ハ一ノ口、二ノ口間及風洞出口ニ於テ行ヒ且風洞上邊ヲ一種程末擴リトセリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ輕轉裝置付トシテハ鼓胴ノ大サ幾分大ナル爲作業抵抗稍多キ感アルモ機構製作概ネ佳

良ニシテ且選別状態モ比較的良好ナリ。

即チ本機ハ此ノ種ノモノトシテハ比較的良好ナルモノナリ。

幸助唐箕

本機ハ「サワラ」製羽根ノ羽根車ヲ直接把柄ニ依リ運轉シ、鼓胴ノ大サハ九七・五種ニシテ大型唐箕ナリ。落下部分ニミ調節装置ヲ有シ、且落下誘導板ハ固定シ落下口ノ開度ノミニテ行フ。猶風洞上邊ハ八種程末擴リニセリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構上ニハ何等特長ナキモ、製作ハ概シテ佳良ニテ軸承装置ハ球入りトナシ、作業比較の輕快ニテ選別状態モ亦佳良ナリ。

即チ本機ハ此ノ種ノモノトシテハ比較的良好ナルモノナリ。

小宮式改良唐箕

本機ハ齒車ニ依ル輕轉裝置ヲ利用シ、支腕上ニ杉板ヲ打チ付ケタル羽根ノ羽根車ヲ廻轉シ、鼓胴ノ大サハ六九種ニシテ、稍小型唐箕ナリ。落下及仕分ケノ各部分ニハ夫々調節裝置ヲ附ス。即チ前者ハ落下誘導板ヲ固定シ、落口ノミニテ調節シ後者ハ一ノ口、二ノ口間及風洞出口ニテ行ヒ、且風洞上邊ハ三種程末擴リニセリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ落口調節目盛ノ刻ミ間隔大ニシテ調節ヲ適度ナラシムルコト稍困難ナレ共、製作機構概ネ佳良ニシテ且選別状態モ亦比較的良好ナルモノナリ。

即チ本機ハ此ノ種ノモノトシテハ比較的良好ナルモノナリ。

久田式改良唐箕

本機ハ齒車ニ依ル輕轉裝置ヲ利用シ、彎曲支腕上ニ杉板ヲ打チ付ケタル羽根ノ羽根車ヲ廻轉シ、鼓胴ノ大サハ七三・五種ニシテ小型唐箕ナリ。鼓胴ノ半下邊ヲ二重裝置ニシテ鼓胴上邊ノ風ヲモ利用スルコトニシ、尙落下及仕分ケノ各部分ニハ

夫々調節裝置ヲ附ス。即チ前者ハ落口及落下誘導板ヲ調節シ、後者ハ一ノ口、二ノ口間及風洞出口ニ於テ行ヒ、且風洞上邊ヲ二種程末擴リニセリ。尙一ノ口流シ板ハ金網板ト取換フルコトヲ得。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構、製作、良好、作業容易ニシテ且選別状態モ良ク此ノ種ノモノトシテハ良好ナルモノナリ。

伊勢唐箕

本機ハ廻轉軸近クヲ切抜キセル杉板製羽根ノ羽根車ヲ直接把柄ニ依リ廻轉スル爲、鼓胴ノ大サハ七・五種ニ達スル稍大型唐箕ナリ。猶落下及仕分ケノ各部分ニハ夫々調節裝置ヲ附ス。即チ前者ハ漏斗下部ニ於テ落口及落下誘導板ヲ調節シ、後者ハ風洞出口ニ於テ行ヒ、且風洞上邊ヲ三・五種程末擴リニセルモノナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ製作、機構概ネ佳良ナリ。猶作業ハ手廻數毎分一一五回トナレルモ、軸承裝置球入ナル爲比較的容易ニシテ且選別状態モ佳良ナリ。

之ヲ要スルニ本機ハ此ノ種ノモノトシテハ比較的良好ナルモノナリ。

スズキ式改良唐箕

本機ハ齒車ニ依ル輕轉裝置ヲ利用シ、支腕上ニ杉板ヲ打チ付ケタル羽根ノ羽根車ヲ廻轉シ、鼓胴ノ大サハ七二種ニシテ中型唐箕ナリ。落下及仕分ケノ各部分ニハ夫々調節裝置ヲ附ス。即チ前者ハ落口及落下誘導板ヲ調節シ、後者ハ一ノ口、二ノ口及風洞出口ニテ行ヒ、且風洞上邊ヲ三・五種程末擴リトセリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作概ネ佳良ニシテ作業モ比較的輕快ニシテ選別状態モ亦良好ナリ。即チ本機ハ此ノ種ノモノトシテハ比較的良好ナルモノナリ。

川崎式改良唐箕

本機ハ齒車ニ依ル輕轉裝置ヲ利用シ支腕上ニ「ヒバ」板ヲ打チ付ケタル羽根車ヲ廻轉スレ共、其ノ外觀ハ一般唐箕ト異リ壺形ヲナシ漏斗鼓胴及風洞ヲ一體トセル構造ナリ。鼓胴ノ大サハ約六七・四糎ニシテ稍小型唐箕ナリ。落下及仕分ケノ各部ニハ夫々調節裝置ヲ附ス。即チ前者ハ落下誘導板ハ固定シ落下口ノミニテ調節シ、後者ハ一ノ口、二ノ口間及風洞出口ニテ行ヒ、且風洞ハ比較的短クシテ風洞上邊ヲ斜上方ニ開放セシメタリ。

出品機ニ付キ調査ニ依レバ選別狀態良好ナラズシテ一ノ口ニモ粗穀混入シ易ク、且二ノ口ニハ良米及粗ノ落下量多キ傾向アリ。之ハ落下誘導板ノ誘導距離ノ短ク、且風洞ノ構造不良ニ因ルモノノ如シ。尙落口調節目盛ノ刻ミ間隔大ニシテ調節ヲ適度ナラシムルコト困難ナリ。且其ノ調節機構ノ働キ圓滑ナラズ。即チ本機ハ尙改良ヲ要シ良好ナラザルモノナリ。

小宮式米選器付唐箕

本機ハ小宮式改良唐箕ノ鼓胴下へ縦線選穀器（米選器）ヲ附裝シ、切換裝置ニ依リ玄米再選別ノ場合ニ利用セントスルモノナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ米選器其ノ物ハ佳良ナルモ、米選器へノ落口ノ幅大ニ過グル爲落下玄米ハ躍動シテ落下狀態ヲ不良ナラシメ其ノ效果殆ド無キヲ以テ猶大イニ研究改良ヲ要ス。

綾田式讃岐松島唐箕

本機ハ杉板製羽根ノ羽根車ヲ直接把柄ニ依リ廻轉シ、鼓胴ノ大サハ九五糎ニシテ大型唐箕ナリ。落下及仕分ケノ各部分ニハ夫々調節裝置ヲ附ス。即チ前者ハ落口及落下誘導板ヲ調節シ、後者ハ風洞出口ニ於テ行ヒ、且風洞上邊ヲ八糎程末擴リニセルモノナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ廻轉部分ニ桎材ヲ直接使用セル爲稍歪ヲ生ジ抵抗多キ傾向アルヲ以テ、球入軸承等ニシテ輕快ナラシムル要アリ。又羽根板薄ク補強裝置ナキヲ以テ龜裂ヲ生ズル虞アリ。尙選別狀態餘リ良好ナラズ。特ニ一

ノ口へ粗穀付キ易キ傾向アルヲ以テ、風ノ上昇力ヲ附與スル爲風洞入口下部ノ鼓胴板ヲ四―五糎延ス等改良ヲ必要トスルモノナリ。

即チ本機ハ此ノ種ノモノトシテハ佳良ナラザルモノナリ。

第四 萬石鑑定試驗成績

一 出品物

鑑定試驗ニ出品セルモノヲ網面配置型式ニ分チテ示セバ次ノ如シ。
折返シ式

- カネウメ式 萬石
- 岡田式 三重 萬石
- 川崎式 光輝 萬石
- 久田式 標準 萬石
- マルヨ式ノーリツ號 萬石
- 重合セ式
- 小宮式 改良 萬石
- 瑞光式 萬石
- 佐藤式日の出扱浮速整裝置 萬石

二 供試材料

萬石試驗ニ供用セル扱ニ關スル調査次ノ如シ。

品	種	千本旭
産地		愛知縣碧海郡矢作町
生産年度		昭和九年
性状ノ大要		芒ノ有無長短 アリ、稍短 穀粒ノ形狀並大小 稍圓形及稍小粒
調製程度		良
一斗重量		一〇〇・一三疋 (二・六七〇貫)
一升重量		一〇〇〇疋 (二六七匁)
含有水分量		一三・九% (ホフマン氏水分檢定器五回平均)
胴割歩合		二二・〇% (一〇〇粒宛五回平均)
剛度		六・八七疋 (田中式剛度計一〇粒宛五回平均)
扱摺歩合		
重量歩合		七八・一五
容量 ^一 歩合		五〇・五七

龍虎「ゴムロール」扱摺機ニテ玄米摺出率平均八〇%ニテ調製

斜ヲ緩ニセルニ因ルヲ以テ稍荒目トスルヲ可トス。
カネウメ式萬石

本器ハ網幅三八・五種ニシテ中型ナリ。各網ノ配置ハ仕上網ヲ折返シ式ニセルモノニシテ即チ上段ニ粗分ケ網ト小米網トヲ平行セシメ、仕上網ハ小米網尻ヲ受ケテ反對角度ニ傾斜セシメ、粗米混合物ハ粗分ケ網下部ノ網下ト仕上網尻トノ二ヶ所ニ分ルモノナリ。各網ノ角度調節ハ粗分ケ網ハ末端跳上ゲ式、小米網ハ上端段階式、又仕上網ハ下部引上ゲ式トセリ。猶網線ハ緊張装置ヲ有ス。

出品器ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作概シテ良好ナリ。猶選別成績略佳良ナルモ横口、後口ノ量夫々多キハ前者ハ粗分網上段ノモノ及後者仕上網ノ夫々細カキニ因ルモノナリ。

川崎式光輝萬石

本機ハ網幅三二種ニシテ稍小型ナリ。各網ノ配置ハ仕上網ヲ折返シ式ニセルモノニシテ、即チ粗分ケ網ト小米網トヲ平行セシメ、仕上網ハ小米網尻ヲ受ケテ反對角度ニ傾斜セシメ、粗米混合物ハ粗分ケ網下部ノ網下ト仕上網尻トノ二ヶ所ニ分ルモノナリ。各網ノ角度調節ハ粗分ケ網ハ末端跳上ゲトシ、小米網ハ上端押上ゲ式、仕上網ハ末端卷上ゲ式ナリ。尙仕上網面上ニ引寄セ装置ヲ附シテ調整ニ便セリ。網線ノ緊張装置ハナシ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作共ニ良好ニシテ選別成績モ仕上米口ニ稍粗混入率多キ傾向アルモ概シテ佳良ナリ。

岡田式三重萬石

本器ハ網幅三七・五種ニシテ中型ナリ。各網ノ配置ハ仕上網ヲ折返シ式ニセルモノニシテ即チ粗分ケ網ト小米網トヲ平行セシメ仕上網ハ小米網尻ヲ受ケテ反對角度ニ傾斜セシメ粗米混合物ハ粗分ケ網下部ノ網下ト仕上網尻トノ二ヶ所ニ分ルモノナリ。

ルモノナリ。

各網ノ角度調節ハ粗分ケ網ハ末端卷上ゲヲ行ヒ、尙其下半部ハ別ニ引上装置アリ。仕上網ハ末端卷上ゲ式、小米網ハ上端押上式ナリ。猶仕上網面上ニハ引寄装置ヲ附シ調整ニ便セリ。網線ハ緊張装置アリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作概シテ良好ナリ。選別成績ハ能率最モ大ナリシモ横口及粗口ノ状態良好ナラザリシハ稍漏斗ノ開口度大ニシテ且粗分ケ網ノ傾斜稍急ナリシニ依ルモノニシテ網目ノ大サハ大體良好ナリ。

佐藤式日の出級浮速装置萬石

本器ハ網幅三七・五種ニシテ中型ナリ。各網ノ配置ハ四段ニ平行セル重ネ合セ式ナリ。即チ上段ハ粗分ケ網、第二段ハ中網、第三段ハ仕上網、第四段ハ小米網ニシテ粗米混合物ハ一ヶ所ニ集マルモノナリ。各網ノ角度調節ハ粗分ケ網ハ末端跳上ゲ式トシ又上部ニ於テ四枚同時ニ一個ノ螺子ニテ押上ゲテ爲シ得ルモノナリ。猶網線ノ緊張装置アリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作概シテ良好ニシテ操作モ輕便ナリ。選別成績ノ能率ハ佳良ナルモ粗口及小米口量夫々多ク、且兩者ニ上米ノ混入量多キハ前者ハ粗分ケ網下部ノ荒目部分ノ長サ短ク後者ハ網目稍荒キニ因ルモノノ如シ。

久田式標準萬石

本器ハ網幅三八・五種ニシテ中型ナリ。各網ノ配置ハ仕上網ヲ折返シ式ニセルモノニシテ、即チ上段ニ粗分ケ網ト小米網トヲ平行セシメ仕上網ハ小米網尻ヲ受ケテ反對角度ニ傾斜セシメ、粗米混合物ハ粗分ケ網下部ノ網下ト仕上網尻トノ二ヶ所ニ分ルモノナリ。各網ノ角度調節ハ粗分ケ網ハ末端卷上ゲ式、尙其ノ下半部ハ別ニ引上ゲ装置アリ。小米網ハ上端階段式、仕上網ハ末端卷上ゲ式ナリ。尙仕上網面上ニハ引寄セ装置ヲ附シ調整ニ便セリ。網線ハ緊張装置ヲ有ス。

出品器ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作共ニ良好ナリ。選別成績ハ仕上網ノ網目幾分細カキ爲後口ノ量多キモ概シテ

良好ナリ。
マルヨ式ノ一リツ號萬石

本器ハ網幅三七種ニシテ中型ナリ。各網ノ配置ハ仕上網ヲ折返シ式ニセルモノニシテ即チ上段ニ粗分ケ網ト小米網トヲ平行セシメ、仕上網ハ小米尻ヲ受ケテ反對角度ニ傾斜セシメ、粗米混合物ハ粗分ケ網下部ノ網下ト仕上網尻トノ二ヶ所ニ分ルモノナリ。各網ノ角度調節ハ粗分ケ網及小米網ハ夫々上端押上ゲ式及仕上網ハ末端引上ゲ式ナリ。尙仕上網面上ニ引寄セ装置ヲ附シ調製ニ便セリ。網線ハ緊張装置アリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作稍粗雑ニシテ選別成績モ良好ナラザルモノアリ。即チ能率低ク且横口及後口ノ量多ク、且仕上米中ニ粗ノ混入率最モ多カリキ。本器ハ猶網目製作上改良ヲ要スルモノナリ。粗分ケ網目ハ稍細カキ傾向アリ。

小宮式改良萬石

本器ハ網幅三六・八種ニシテ中型ナリ。各網ノ配置ハ三段ニ平行セシメタル重ネ合セ式ナリ。即チ上段ハ粗分ケ網ニテ二枚ヨリ成リ、中段ハ中網、下段モ二枚ヨリ成リ、上部ハ小米網、下部ハ仕上網トセリ。尙粗米混合物ハ一ヶ所ニ集マルモノナリ。各網ノ角度調節ハ仕上網ハ其ノ末端ヲ引上ゲテ行フモ他ハ何レモ上端引上ゲ式ナリ。猶網線装置アリ。

出品器ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作ハ稍不良ニシテ且選別成績モ良好ナラズ。仕上米口ニ於ケル能率ハ最モ劣ルルニ粗混合率ハ却テ稍多ク、猶横口量多カリキ。之ハ仕上網ノ網目稍細カキニ原因スルモノノ如シ。併シ粗混合率多キハ横口量ヲ少クスル爲仕上網角度ヲ緩ニ調節スルニ因レリ。猶粗分ケ網上部ノ網目モ稍細カキ爲粗口ニ上米混入スル傾向アルヲ以テ粗口ノ萬石臺脚下ニ約四・五種ノ木片ヲ挿入シテ使用セリ。依テ本器ハ粗分ケ網上段及仕上網目ノ網ヲ稍荒クシ、且其ノ角度調節範圍ヲ大ナラシムルヲ可トス。

第五 縦線選穀器鑑定試験成績

一 出 品 物

鑑定試験ニ出品セルモノヲ線間隙調節型式ニ分チテ示セバ次ノ如シ。

千鳥調節式

伸 和 式 米 選 器

カネウメ式米選器

長 澤 式 選 穀 器

マルヨ式米選器

平面調節式

日本魂義士號平面選穀器

佐藤式平面調節日の出米選器

久田式真正平面選穀器

伸 縮 式

ワタル式米選器

二 供試材料

米選器ニ供用セル玄米ハ一定ノモノヲ摺出シ得ル粒ヲ得ルコト困難ナリシヲ以テ、品種ノ一定セル「ロール」米及土白米ニテ各愛知旭五等ノ俵裝米ヲ充分攪拌シ一斗重量ヲ均一ナラシメテ之ヲ供試材料トセリ。其ノ性狀等ノ概要ヲ示セバ次ノ如シ。

A、「ロール」米

品 種	愛知旭
産 地	愛知縣碧海郡安城町
生 産 年 度	昭和九年
檢 査 等 級	愛知五等
性 狀 ノ 大 要	芒ノ有無長短 アリ短
穀粒ノ形狀竝大小	稍長形中粒
一斗重量	一五・〇〇〇疋(四・〇〇〇貫)
一升重量	一・五〇〇疋
完全米千粒重	二三・八七二瓦 五回平均
完全米ノ大サ	

長 × 幅 × 厚

五・四七九粒 × 三・二二五粒 × 二・二一〇粒

一〇粒五回平均

一五・一% (ホフマン氏水分檢定器五回平均)

一七・六% (一〇〇粒宛五回平均)

五・五九疋 (田中式剛度計一〇粒宛五回平均)

重量百分率 (%)

九五・四七

三・七九

〇・三六 百瓦宛一〇回平均

〇・〇六

〇・三二

六〇・〇〇〇疋

四斗

供試玄米量
重 量
容 量
B、土 白 米
産 品 種 地

愛知旭
愛知縣碧海郡安城町

生産年度	昭和九年
検査等級	愛知五等
性状ノ大要	アリ、短
穀粒ノ形状竝大小	稍長形中粒
一斗重量	一四・六八一疋(三・九一五貫)
一升重量	一・四六八疋
完全米千粒重	二三・七八七五回平均
完全粒ノ大サ	長 × 幅 × 厚 五・四八三耗 × 三・二二八耗 × 二・二五一耗 一〇粒宛 五回平均
含有水分量	一四・五%
胴割歩合	一三・六%
剛度	六・九一疋
精査歩合	重量百分率(%) 九六・一五
完全米	二・五五
屑米	

碎米	一・〇六	百瓦宛一〇回平均
粃	〇・〇六	
供試玄米量	〇・一九	
重量	五八・七二五疋	
容量	四斗	

三 試験方法

試験ハ次ノ如クニシテ施行セリ。

(イ) 供試材料調製

前記ノ如ク既検査米ヲ豫メ充分攪拌シ一斗重量均一ナル様努メ、更ニ之ヲ四斗宛以ニ入レ置キ順次使用セリ。

(ロ) 試験方法

番外米ニテ一應豫備調査ヲ行ヒ、後ニ本試験ヲ施行セリ。

名	稱	價 格	住 所	氏 名
長澤式	選穀器	二二〇	愛知縣豊海郡安城町大字安城荒子一三七	岡田 政一
伸和式	米選器	三三〇	神戸市神戸區三宮町一丁目九	和田 商店機械部
カネウメ式	米選器	二二〇	愛知縣愛知郡鳴海町	梅農 具製作所
日本魂義士號	平面選穀器	二二〇	兵庫縣飾磨郡餘部村青山一〇〇〇	河部農具製作所 河部 孝夫
マルヨ式	米選器	三三〇	新潟縣西蒲原郡小池村小池五六四二	丸與商會 藤 井 壽 松
久田式	真正平面選穀器	一八〇	愛知縣豊海郡旭村大字荒子	久田 農具製作所

五 鑑定試験ノ結果

鑑定試験ノ結果適當ナリト認メタル縦線選穀器(申込者ノいろは順)

名	稱	價 格	住 所	氏 名
長澤式	選穀器	二二〇	愛知縣豊海郡安城町大字安城荒子一三七	岡田 政一
伸和式	米選器	三三〇	神戸市神戸區三宮町一丁目九	和田 商店機械部
カネウメ式	米選器	二二〇	愛知縣愛知郡鳴海町	梅農 具製作所
日本魂義士號	平面選穀器	二二〇	兵庫縣飾磨郡餘部村青山一〇〇〇	河部農具製作所 河部 孝夫
マルヨ式	米選器	三三〇	新潟縣西蒲原郡小池村小池五六四二	丸與商會 藤 井 壽 松
久田式	真正平面選穀器	一八〇	愛知縣豊海郡旭村大字荒子	久田 農具製作所

六 出品物ニ對スル概評

長澤式選穀器

本器ハ縦ニ張架セル多數ノ鋼線ヲ其ノ線面上下二ヶ所ニ於テ深溝ト淺溝トヲ交互ニ附セル角棒ヲ傾斜セシメテ線間隙ヲ調節ナシ得ル千鳥調節型米選器ニシテ其ノ立線ハ二本宛ヲ一組トナセルモノナリ。

出品器ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作概シテ佳良且線間隙ハ比較的均一ナリ。猶屑米選別率四〇%ナルモ之ハ屑米口ノ重量率約一・五%ニテ少ク、線間隙幾分狭キニ依ルモノナリ。併シ完全米混入率ハ微量ナルヲ以テ猶選別率ヲ高ムルハ容易ナリ。

伸和式米選器

本器ハ縦ニ張架セル多數ノ鋼線ヲ其ノ線面上下二ヶ所ニ於テ一定ノ深サノ溝ト傾斜溝トヲ交互ニ附セル角棒ヲ傾斜セシメテ線間隙ヲ調節ナシ得ル千鳥調節型米選器ニシテ其ノ立線ハ二本宛ヲ一組トナセルモノナリ。

出品器ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作概シテ良好ナリ。且線間隙ハ稍不揃ナルモノアリタルヲ以テ注意ヲ要ス。猶層米選別率ハ約三三%ニシテ稍不良ナルモ之ハ層米口重量率約一・三%ニシテ線間隙幾分狭キニ因ルヲ以テ、尙選別率ハ高メ得ルモノナリ。

カネウメ式米選器

本機ハ縦ニ張架セル多數鋼線ヲ其ノ線面ノ上下二ヶ所ニ於テ交叉的ニ刻ミヲ附セル角鐵ヲ傾斜セシメテ、線間隙ヲ調節ナシ得ル千鳥調節型米選器ニシテ立線ハ二本ヲ一組トシテ緊張セシメ得ルモノナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作良好ニシテ線間隙モ比較的均一ナリ。從テ選別成績モ佳良ニシテ層米口ノ重量率約三%ナルニ完全米ノ混入比較的少キ爲層米選別率ハ約七一%トナレリ。

日本魂義士號平面選穀器

本器ハ縦ニ張架セル多數ノ鋼線ヲ其ノ線面上下ノ二ヶ所ニアル溝付帶鐵ノ各溝ヘ二線宛入レ此ノ二線ノ内一線ノミヲ帶鐵ノ左右動ニ伴ヒ動カスコトニ依リ線間隙ヲ調節ナシ得ル平面調節型米選器ニシテ立線ハ一本ノ連續線ヲ以テ作レリ。

出品器ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作概シテ佳良且線間隙ハ比較的均一ナリ。猶層米選別率約三七%ナルモ、此ハ層米口ノ重量率約一・五%ニシテ少ク、線間隙幾分狭キニ因ルモノナリ。併シ完全米混入率ハ微量ナルヲ以テ猶選別率ヲ高ムルハ容易ナリ。

マルヨ式米選器

本器ハ縦ニ張架セル多數ノ鋼線ヲ其ノ線面上下ノ二ヶ所ニ於テ普通螺子ノ間ニ偏心的ニ他ノ螺子ヲ交互ニ切レル丸鐵ヲ廻スコトニ依リ線間隙ヲ調節ナシ得ル千鳥調節型米選器ニシテ其ノ立線ハ二本宛ヲ一組トセルモノナリ。

出品器ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作概シテ佳良ナルモ線間隙ハ稍不揃ヒノ在リタルヲ以テ注意ヲ要ス。猶層米選別率ハ約四六%ニシテ稍少キモ、之ハ層米口重量率約一・七五%ニシテ線間隙幾分狭キニ因ルヲ以テ、尙選別率ヲ高メ得ルモノナリ。

久田式真正平面選穀器

本器ハ縦ニ張架セル多數ノ鋼線ヲ其ノ線面外上部ニ於テ線面棒ヲ傾斜セシメテ線間隙ヲ調節ナシ得ル平面調節型米選器ニシテ夫々ノ立線ハ一本宛兩端ニアル太キ鋼線ニ緊結セシメタルモノナリ。

出品機ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作概シテ良好ナリ。但シ線間隙ハ稍揃ハザルモノ在リタルヲ以テ注意ヲ要ス。猶層米選別率三二%ニシテ稍不良ナルモ、之ハ良米口重量率約一・五%ニシテ線間隙幾分狭キニ因ルヲ以テ尙選別率ハ高メ得ルモノナリ。

ワタル式米選器

本器ハ縦ニ張架セル多數ノ比較的太キ「ゴム」丸紐ヲ上下ニ於テ溝付キ木棒ニ打付ケ、更ニ其ノ下棒ニ卷キ付ケ其ノ伸張度ニ依テ線間隙ヲ調節ナスモノニシテ右「ゴム」丸紐ハ一本宛別個ノモノナリ。

出品器ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ機構製作共ニ不良ニシテ且選別效果モ全然無キモノナリ。

佐藤式平面調節日の出米選器

本器ハ縦ニ張架セル多數ノ鋼線ヲ其ノ線面ノ上下二ヶ所ニ於テ二重螺子ヲ附セル丸鐵ヲ廻スコトニ依リ十一目毎ニ一目ヲ減ジ得テ線間隙ヲ調節ナシ得ル平面調節型米選器ニシテ其ノ立線ハ一本ノ連續線ヨリ成レリ。

出品器ニ付キ調査ノ結果ニ依レバ各部ノ機構製作ハ概シテ佳良ナルモ、線間隙ノ常ニ平均セザル傾向アリ。從テ選別成績良好ナラズ。即チ屑米口ノ重量率約六・五%ニシテ比較的多量ナルニ拘ラズ完全米ノ混入多キ爲メ屑米選別率ハ約三八%ニシテ良好トハ言ヒ難シ。即チ本機ハ猶改良ヲ要スルモノナリ。

動力脱穀機
動力麥摺機

鑑 定 試 驗 成 績

兵庫縣立農事試驗場

第一 動力脱穀機鑑定試験成績

一 出 品 物

鑑定試験ノ申込ヲナシ出品セルモノ次ノ二十五臺ニシテ其ノ名稱、價格、出品者住所氏名次ノ如シ。

名 稱	價 格	住 所	氏 名
上山式自動選別脱穀機特號	六五〇〇	岡山縣邑久郡邑久村	上山農具製作所
柴田式自動選別脱穀機	六五〇〇	岡山市上伊福一八八	柴田農具製作所
板野式脱穀選別機	五九〇〇	岡山縣兒島郡灘崎村	板野初五郎
板野式脱穀選別機麥摺兼用機	六五〇〇	同	同
竹久式自動選別脱穀機 壹號機	四五〇〇	岡山縣赤磐郡瀬戸町	竹久農具製作所
野田式 壹號 脱穀機	四二〇〇	香川縣綾歌郡西庄村	野田文次郎
ツクダ式太陽號脱穀機上扱式全自動	七〇〇〇	香川縣香川郡一宮村	讚一農具社
ツクダ式太陽號脱穀機下扱式全自動	六〇〇〇	同	同
龜屋稻麥自動選別脱穀機	八五〇〇	兵庫縣印南郡上莊村國包	龜屋農具製作所
山本式稻麥兼用脱穀調製機	四五〇〇	兵庫縣揖保郡小宅村	山本健次
甘露號松下式稻麥脱穀機	三五〇〇	同 有馬郡三輪町	關西農具製作所
伊藤式フクリ稻麥脱穀機大型	八五〇〇	神戸市林田區千歲町四ノ一	日本農機製造株式會社

丹羽式動力用稻小麥脫稈機械	四五〇〇	兵庫縣三原郡榎列村	丹羽
サトー式動力用稻麥拔機	六〇〇〇	島根縣八東郡掛屋町六六七ノ一	佐藤商會
副田式選別脫穀機一號型	四五〇〇	熊本市新町一丁目一〇六	副田農具製作所
大貫式脫穀機一號機	八〇〇〇	神奈川縣中郡相川村	大貫商會
龍虎式動力用脫穀機二人用	四七〇〇	石川縣石川郡美川町	廣瀬製作所
齋啓式B型普通型一人扱用脫穀機	四〇〇〇	新潟縣西蒲原郡吉田町	齋啓農具製作所
大竹式B型一號自動選別脫穀機	五五〇〇	愛知縣海部郡大治村	大竹農具製作所
小池式脫穀調製機	六五〇〇	新潟縣西蒲原郡小池村	井伊喜八郎
丸宮式脫穀調製機三號二人用	五〇〇〇	同 岩船郡村上町三九一六	宮本銀作
新津式選別脫穀機參號機	三六〇〇	新潟縣新津町五、五六四	吉徳農具製作所
新津式選別脫穀機壹號機コンベヤ付	五三〇〇	同	同
小谷式自動選別脫穀機	三五〇〇	富山縣射水郡二口村本江	小谷農機製作所
藤井式稻麥兩用脫穀調製機六號機	二五〇〇	兵庫縣美祿郡三木町	藤井巳之吉

二 供試材料

本試験ハ之ヲ第一次、第二次ノ二回ニ分チ、第一次ヲ麥扱試験トシテ稈麥ヲ用ヒ第二次ヲ稻扱試験トシ水稻ヲ用ヒタリ。
 第一次試験供試材料ハ動力用麥摺機鑑定試験ニ供用セル同種類ノ昭和十年兵庫縣明石郡玉津村産ノ稈麥紅梅種ニシテ適期ニ刈取リタルモノヲ晴天ニ三日間地干乾燥シタルモノヲ大人二握リ宛結束シ、試験室附近ノ收納舎内ニ收納セルモノヲ隨所ヨ

リ供試東ヲ採取シテ努メテ性狀ノ均一ヲ期シテ供試セリ。第二次試験供試材料ハ昭和十年兵庫縣明石郡玉津村産及明石市北王子町産ノ水稻農林二號種ヲ適期ニ刈取リ大人二握リ八株宛別藁ニテ結束、晴天ニ一週間架掛乾燥セルモノヲ第一次試験ト同様收納舎ニ一時收納シタルモノヲ隨所ヨリ供試東ヲ採取シテ努メテ性狀ノ均一ヲ期シテ供試セリ。
 以上供試麥及稻ノ性狀ノ大要竝ニ標準調査ノ結果次ノ如シ。

調査事項

材料種別	稈麥紅梅	水稻農林二號(A)	水稻農林二號(B)	備考
刈取時期	六月三日—五日	十一月八日—十日	十一月十五日—十七日	
乾燥程度	普通	普通	普通	
稈ノ大小	中	中	中	
穗長(糶)	九一・〇	九五・〇八	九三・四〇	五〇株測定平均
穂長(糶)	六・〇	一九・四	一八・六	
粒着ノ粗密	密	中	中	
芒ノ有無及長短	有	無	無	
精麥(糶)歩合(%)	四五・四	三七・八	三八・二	
子實含有水分量(%)	一六・二	一八・六	一七・九	「ホフマン」氏水分檢定器三回測定平均
胴割歩合(%)		四・五	六・八	京大式胴割檢定器ニヨル二百粒測定
脱粒ノ難易	中	稍難	稍難	
精麥(糶)一升重(匁)	三六九	二四五	二四七	
一把平均重量(匁)	一一〇	一八九	一九五	五〇把測定平均
扱把ノ大サ(周長(糶))	二九・〇	二九・二	二九・八	五〇把測定平均

四 試驗成績

第一表 運轉試驗、第一次、麥拔之部 (其ノ二)

Main data table with columns for machine name, weight, capacity, and performance metrics. Includes sub-headers like '名', '稱', '全重量', '再選別重量百分比(%)', '口', '二', '精麥', '層麥', '穗切', '稈切', '穗殼', '全重量', '再選別重量百分比(%)', '精麥', '層麥', '穗切', '稈切', '穗殼', '抗ノ振ハ', '散リノ飛', '否ノ良粒', '振動', '撥屑', '撥屑ノ率', '重量', '容量', '每時精麥量', '仕上麥量', '精麥量', '仕上麥精量', '易ノ排塵', '抗ノ振ハ', '散リノ飛', '否ノ良粒', '振動', '撥屑', '撥屑ノ率', '重量', '容量', '每時平均回轉數', '唐箕', '移送器昇降器', '仕上麥量', '二番口', '三番口', '口ノ其重選別他', '重雜物', '稈重量', '量麥屬程七九附', '重量', '容量', '每時仕上麥量'.

備考 供試麥東數欄ノ△印ハ大東ニシテ小東ヲ三東宛合セテ大東トセルモノナリ。

運轉試驗、第一次、麥拔之部 (其ノ二)

Summary table with columns for '名', '稱', '全重量', '再選別重量百分比(%)', '口', '二', '精麥', '層麥', '穗切', '稈切', '穗殼', '全重量', '再選別重量百分比(%)', '精麥', '層麥', '穗切', '稈切', '穗殼'.

備考 供試麥東數欄ノ△印ハ大東ニシテ小東ヲ三東宛合セテ大東トセルモノナリ。

運轉試驗、第一次、麥扱之部 (其ノ二)

Table with columns for name (名), weight (全重量), and performance metrics (再選別重量百分比) for various models. Includes sub-sections for '仕上' and '二'.

Table with columns for name (名), weight (全重量), and performance metrics (再選別重量百分比) for various models. Includes sub-sections for '仕上' and '三'.

Table with columns for name (名), weight (全重量), and performance metrics (再選別重量百分比) for various models. Includes sub-sections for '仕上' and '四'.

第二表 運轉試驗、第二次、稻扱之部 (其ノ一)

Main data table with multiple columns for machine models (e.g., 山式自動選別脱穀機), performance metrics (e.g., 全重, 再選別重量百分比), and test results (e.g., 期試日驗, 天候, 攝氏溫度). The table is organized into three main sections labeled 一, 二, and 三.

運轉試驗、第二次、稻扱之部 (其ノ二)

Summary table for the second part of the experiment, containing columns for '名' (Name), '稱' (Weight), '仕' (Work), '口' (Mouth), '番' (Number), and '口' (Mouth) with various numerical data points.

備考 供試稻東數欄ノ△印ハ大東ニシテ小東ニ東宛ヲ合セテ一東トセルモノナリ。

運轉試驗、第二次、稻扱之部 (其ノ二)

Main data table with multiple columns for machine models (e.g., 上野式, 板野式), weights, and percentages. It is organized into sections for '仕上' (top) and '仕下' (bottom) with various sub-headers like '全重', '精粗', '再選別重量百分比'.

Summary table on the right side, providing aggregated data for different machine models and categories, including '全重', '精粗', and '再選別重量百分比'.

六 出品物ニ對スル概評

一、總 評

本鑑定試験ニ出品申込ヲナセルハ二十八機ナリシモ出品者ノ都合ニ依リ出品セザリシ三臺ヲ除キ、二十五臺ニ付キ實地試験ヲ行ヒタリ。此ノ中「ツクダ」式太陽號上扱式全自動脱穀機、丹羽式動力用稻小麥脱稈機械ハ出品者ノ希望ニ依リ、又新津式選別脱穀機三號機ハ供試材料ノ都合ニヨリ第一次試験ヲ行ハズ。第二次試験ノミヲ施行セルヲ以テ第一次試験ヲナセルモノ二十二臺、第二次試験ヲナセルモノ二十五臺ナリ。以下構造調査並ニ運轉試験ノ結果ニ基キ概評ヲ下セバ次ノ如シ。

(一) 機體構造ニ關スル概評

(イ) 總 說

出品物ヲ型式ニ依リ分類スレバ左ノ如シ。

- 上 扱 式 二人用機 八臺
- 下 扱 式 二人用機 一三臺
- 下 扱 式 一人用機 四臺

之ヲ製作者ノ地方別ニスレバ上扱式ノモノハ岡山縣一五臺ヲ主トシ、香川縣、兵庫縣、熊本縣各一臺ニシテ各一臺ニシテ下扱式ノ主ナルモノハ兵庫縣五臺、新潟縣五臺ニシテ香川縣二臺、島根、神奈川、愛知、富山、石川各縣ニ各一臺宛ナリ。之ハ中國、四國、九州方面ニ於テハ上扱式ノモノヲ使用スルモノ多ク、他ハ主トシテ下扱式ノモノヲ使用スル事多キヲ示スモノナルベシ。一般ニ上扱式ノモノハ禾束ノ大イサ大ナル所ニ用ヒラレ、禾束ノ吸引セラルル力比較的少ク

扱手ガ禾束ヲ捲キ取ラルル虞レ少キモ扱胴ノ廻轉力ニ依リ禾束ガ外方ヘ浮キ上リ氣味トナルヲ以テ、脱穀ニ當リ扱手ガ手加減ヲ加ヘ押ヘ付ケテ反轉スル必要アリ。尙扱胴下ニ選別裝置ヲ附スル關係上扱口ノ位置高ク、從ツテ一般ニ機體ノ高サ大ニシテ穀屑、穂切等ガ扱口ヨリ落下シ、扱手ノ作業ヲ妨グル事アリ。下扱式ノモノハ禾束ヲ引ク力一般ニ強ク往々禾束ヲ捲キ取ラルル虞レアレドモ、扱口ノ位置低ク概シテ脱粒容易ナリ。但シ禾束ノ大ナルモノニハ使用シ難キ缺點アリ。斯クノ如ク兩者ハ夫々得失ヲ有シ、使用者ノ熟練ノ程度、地方ノ慣習等ニヨリ一概ニ優劣ヲ定メ難キモ大體ニ於テ禾束ヲ可成小トシテ下扱式トスルガ作業上便ナルベシ。次ニ扱落物ハ總テ受網ヲ通過セルモノヲ風選裝置ニ依リ選別シ、仕上口ニ精選子實ヲ二番口ニ未熟粒又ハ屑子實ヲ收メ三番口ニ稈屑、塵芥等ヲ排出スル如クナセリ。特ニ仕上口ニハ螺旋式移送機ヲ具ヘ落下物ヲ機側ニ運ビ仕上昇降器ニ依リテ適當ナル容器ニ收容スルガ如クナセルモノ多シ。尙移動運搬ニ便ナル如ク組立式トナシテ二、三番ヲ差込式又ハ取外式トナシ、又被覆ヲ布製トシ析疊式等トナセルハ可ナリ。全重量ハ一人扱用ト二人扱用、仕上昇降器ヲ有スルモノト然ラザルモノニ依リ大差アルモ一人扱用ニ於テ約七五疋(二〇貫)二人扱用ニテ約九四疋(二五貫)(昇降機ヲ含マズ)ヨリ一五〇疋(四〇貫)ヲ超ユルモノアリ。元ヨリ可及的輕量トスルヲ可トス。高サハ一般ニ上扱式ノモノ高ク下扱式ノモノ低シ。据付面積ハ一人用ハ一平方米内外、二人用ニ在リテハ二平方米内外ノモノ多シ。一般ニ出品物ハ何レモ構造考案ニ富ミ、材料工作適當ニシテ實用ニ適セルモノ多シ。

(ロ) 本 機

本機ハ昇降機ヲ除キタル脱穀部及選別部ノ兩者ヲ合メルモノニシテ重量ハ一人扱ニ於テ七五疋内外、二人扱ニテ一〇〇疋乃至一五〇疋ニ及ビ一〇疋内外ノモノ最モ多シ。長サハ八〇糎ニ充タサルモノアレド一四〇糎内外ノモノ多ク、幅ハ一人扱ニテ八〇糎内外、二人扱ニ於テハ一〇〇糎前後ノモノ多ク、高サハ一般ニ上扱式ノモノ高ク、一四〇糎前後ニシテ下扱式ノモノハ一〇〇糎乃至一一〇糎ノモノ多シ。主軸ハ一般ニ一時内外ノモノヲ使用セルモ機幅廣キモノニシ

テ八分ノ七吋以下ノ細キモノヲ使用シ、中央ニ於テ彎曲セルモノ多カリシハ注意ヲ要ス。尙軸承ニハ不注意ナルモノ多ク、多クハ球軸承トセルモノモ材料粗悪ニシテ機枠ヘノ取付方法等ニモ考慮ヲ加ヘザルモノ多數見受ケラレタリ。機枠ハ總テ木材ヲ使用シ、其ノ大サ概シテ適當ナリシモ中ニハ臍組脆弱ニシテ運轉中振動ニ依リテ各部ニ弛緩ヲ生ゼルモノアリ。

(ハ) 扱口及前板

扱口ノ高サハ扱手ノ身長ニヨリ大體適當ナル位置アリ。一般ニ成年男子ニ在リテハ六五種乃至七〇種ナル時作業上最モ疲勞少キガ如ク、之ヨリ高キハ腕ヲ上下スル事ニ依リ相當疲勞ノ度ヲ増加スルモノノ如シ。本試験出品物ノ上扱式ノモノハ全部八〇種以上ニシテ、中ニハ八八種ノモノアリ。之等ハ出來得ル限り低クスルヲ便トスベシ。扱口ノ廣サハ大ナル程作業ニ容易ニシテ、其ノ幅幅ハ二人用トシテハ六五種内外、一人用トシテハ四五種内外ノモノ適當ナリ。禾束ノ大ナルモノヲ供用スル上扱式ニ在リテハ九〇種内外ヲ必要トス。縦幅ハ大ナル程禾束ヲ扱胴ニ掛クルニ便ナレド下扱式ニ於テハ一定ノ限度アリ。又上扱式ノモノモ餘リ大ナレバ扱口ヨリノ飛散多クナルヲ以テ普通束用トシテハ一〇種内外ヲ適當トシ、大束ノ場合ニハ之ヨリ相當大トナス必要アリ。扱口ニ布片ヲ附シ扱口ヨリノ飛散ヲ防ギ、又扱口ニ調節板ヲ附シ大サヲ調節スル如クセルハ可ナリ。尙受網ヨリ扱口ニ至ル傾斜角度ハ扱口ヨリノ飛散ニ重大ナル關係アルヲ以テ此ノ點特ニ留意スル必要アリ。扱口前板ハ禾束ヲ扱胴ニ掛クル前ニ一旦穂先ヲ揃フル爲便ナルモ、上扱式ノモノニ不完全ナルモノ多ク、又下扱式ノモノニモ取付不完全ナルモノアリ、相當面積ヲ有シ可及的強固ニ取付クル必要アルベシ。

(ニ) 回轉胴(扱胴)

回轉胴ノ形狀ハ殆ド圓筒型ニシテ材料ハ木材ノ桁板ヲ合セタルモノ木桁板ノ表面ニ鐵板ヲ被覆セルモノ厚鐵板ニ依ルモノ或ハ木桁ト鐵板トノ組合セヨリナルモノ等各種アリ。木材ノミヨリナルモノハ一般ニ木材ノ乾燥ニ伴ヒ接合部ニ

空隙ヲ生ズル虞アリ、又重量ノ不釣合ヲ來ス事アルヲ以テ注意ヲ要ス。側板ハ勢車代用ヲナスモノニシテ鑄鐵ヨリナルモノ多ク、開放型ト密閉型トアリ。開放型ノモノハヤキモスレバ胴内ニ脱穀物、塵芥等ガ飛入ル事多キヲ以テ可成密閉型トスルヲ可トス。重量ハ直徑及幅ニヨリ大差アルモ一人扱用ニテハ一九疋内外、二人扱用ニ於テハ二〇疋ヨリ三五疋ニ達スルモノアリ。唯相當重量ヲ必要トスルモ過大ナルハ動力ヲ消費スル事多シ。直徑ハ三〇種内外ノモノヨリ五〇種ニ近キモノアリ。上扱式ノモノハ大ニシテ四五種内外ノモノ多ク、下扱式ニ於テハ三五種内外ノモノ多シ。回轉數ト關係大ナルヲ以テ扱齒ノ大サ植齒法等ト共ニ考慮シテ決定スルノ要アリ。扱齒材料ハ總テ鋼線ニシテ最モ大ナルモノハ四番線、最小ナルハ一二番線ナリ。一般ニ上扱式ノモノハ細クシテ齒數多ク、下扱式ノモノハ之ニ反ス。齒杆ノ形狀ハ逆V字型多ク逆U字型ノモノ小數ナリ。高サハ五・一種ノモノ七・五種ノモノ等アレド七種内外ノモノ多シ。配列法ハ螺旋又ハ千鳥植ニシテ中ニハ不定ナルモノアリ。扱齒列數ハ一二ノモノ最モ多ク、上扱式ノモノニハ一六又ハ一四ノモノアリ。下扱式ニハ八ノモノ一臺アリ。一列齒數ハ最少三本ヨリ最大一四本ニ至ル迄種々アリ。回轉間隔ハ二種ニ滿タザルモノ、五種ヲ超過スルノ等アリテ、一定ナラザレド三種内外ノモノ多シ。固定法ハ「ナット」止メ、又釘止、打込止ノ三種アリ。「ナット」止メ最モ完全ニシテ又釘止之ニ亞キ打込止ハ動力用脱穀機トシテ不適當ナリ。尙扱齒破損ノ際取替ニ甚ダ不便ナルモノアリ。使用者ノ手ニヨリ容易ニ取替ヘ得ル如クスル必要アルベシ。

(ホ) 被覆

被覆ハ上扱式ノ多クハ幌型ノ布製トシ、下扱式ノモノハ排塵裝置ノ關係上鐵板製ノモノ多シ。之等ハ何レモ重量ヲ輕クシ、運搬ニ便ナラシムルニ效果アレド中ニハ形狀不適當ニシテ排塵ヲ不良ナラシムルモノアルハ注意ヲ要ス。

(ニ) 排塵裝置

排塵裝置ニ付テハ上扱式ノ多クハ自動的ニ排塵セシムルモノ多ク、機ノ前方又ハ側面ニ排出スルモノ等アレド扱手ノ

足許ニ排出セラレル事ハ作業ヲ妨グル事大ナリ。下扱式ノ多クハ作業中横杆ニ依リ間歇的ニ排塵蓋ヲ開キ、程屑、塵芥等ヲ排出スルモノニシテ手動ニ依ルモノ多ク、足踏ニヨリテ開ク如クセルモノ一臺アリ。上扱式ノ自動式ノモノニハ相當考案ノ跡アルモ未ダ完全ナルモノ少シ。下扱式ノ手動又ハ足動ニ依ルモノハ構造簡單ナルモ實地作業ニ當リ扱手が作業中時々排塵蓋ヲ開閉スルヲ以テ脱粒作業ニ不齊ヲ來シ、負荷ニ斑ヲ生ジ作業所要馬力稍大ナル缺點アリ。尙横杆裝置不良ニシテ開閉ニ相當勞力ヲ要スルモノアリシハ改良ヲ要ス。下扱式ニシテ自動的排塵ヲ試ミタルモノ數種アリ。相當效果ヲ收メタルモ未ダ改良ノ餘地相當アリ。

(ト) 受 齒

受齒ヲ有スルモノ一臺アリ。上扱式ニ於テハ扱口ノ下、下扱式ニ在リテハ主軸前方排塵口ノ下ニ設ケタルモノ多ク形狀ハ丸鐵棒ノモノ、双狀ノモノ、扱齒ト同様ノモノ等種々アリ。特ニ双狀ノモノニ在リテハ稈切、穗切等ヲ細片スルニ效果アレド位置形狀不良ノ爲メ却ツテ機内殘留物ヲ多カラシムルモノアリシハ改良ヲ要ス。

(チ) 受 網

受網ハ「クリンブ」線網又ハ打抜鐵板ヨリナリ、網目ノ大サ又ハ孔ノ直徑ハ一〇〇程度ノモノ多シ。半徑及長サ扱胸ノ大イサニ關係スル所多ク、且ツ其ノ位置ハ風選裝置ト關聯シテ定ムルヲ要スベシ。尙之ヲ脱穀物ノ種類ニヨリ簡單ニ取替得ル如クセルハ可ナリ。

(リ) 風 選 裝 置

風選裝置ニ付テハ各機共相當考慮セラレタルモ、尙起風胴、送風路ノ位置、型狀竝ニ吸風口ノ形狀寸法翼車ノ回轉數等不適當ニシテ風力分布不均等ナリシモノ相當アリ。特ニ幅廣キモノニハ適當ナル風力整流裝置ヲ附スルヲ要ス。尙搖動板、搖動網ヲ利用セルモノハ考案トシテ認ムベク相當效果アリ。

(ヌ) 移 送 器

移送器ハ殆ド螺旋型ニシテ直徑一二種前後、「ビッチ」七種乃至八種ノモノ多ク、概シテ缺點少キモ仕上口ノ選別不良ニシテ筒内ニ子實充滿シ運搬不能トナルモノアリ。又外筒ト螺旋トノ中間ニ挟マリ子實ニ損傷ヲ與フルモノアリ。尙移送器ヲ附セズ傾斜板ヲ利用セルモノアリシモ、傾斜度不足ニシテ子實ガ昇降器ニ達セザリシハ考慮ヲ要ス。吸風口ノ外側ニ被覆ヲ附シ作業中糞穢等ノ侵入ヲ防止セルハ作業上便ナリ。

(ル) 昇 降 器

昇降器ヲ有スルモノ一七臺ニシテ主機ノ側面ニ之ヲ附シ、仕上穀粒ヲ容器ニ收容スルニ便ナラシム。大體ニ於テ缺點少キモ穀粒ガ機内ノ調車ト調帶間ニテ壓碎セラルルモノ、或ハ「バケット」ノ構造不完全ノタメ傷ケラルルモノアリ。又穀粒ガ器底ニ溜リ運轉停止セルモノ昇降器トノ接合部ヨリ穀粒ノ多量漏洩スルモノ等アリシハ注意ヲ要ス。尙昇降器ノ上ニ搖網裝置ヲ附シ仕上穀粒ノ選別ヲナスガ如クナセルモノアリ。考案トシテ認ムベキモ搖動方法、篩網ノ種類、傾斜、角度等ノ關係ヨリ機能十分ナリトハ云ヒ難シ。

(二) 運轉試驗ニ關スル概評

別表運轉試驗成績ニヨリ概評ヲ下セバ次ノ如シ。

(イ) 所 要 時 間

所要時間ハ扱落シ時間ト後始末時間トニ分テ調査セル結果、扱落時間ハ脱粒ノ良否、排塵ノ難易ニ依リ相當ノ差アリ。特ニ排塵困難ノモノニ在リテハ機内ニ於テ穗切、程屑等ガ扱胸ト共ニ廻轉シ、扱落作業ヲ妨グル事大ナリ。別表ニ示ス如ク、第一次試験ニ於テハ一〇貫當リノ所要時間ハ標準東ニ於テ最小二分一六秒、最大二分五五秒ニシテ平均二分三七秒、大東(標準東三東ヲ纏メタルモノ)ニ於テ最小二分九秒、最大二分四二秒ニシテ平均二分二三秒トナリ總平均ニ於テ二

分三秒ヲ要セリ。又一束當リノ所要時間ハ標準東ニ於テ最小一六・七秒、最大二一・九秒、平均一八・二秒ヲ要シ、大東ニ於テハ最小四五・一秒、最大五五・一秒、平均四九・三秒トナレリ。第二次試験ニ於テハ扱手一人十貫當リノ所要時間ハ標準東ニテ最小二分四〇秒、最大三分五二秒、平均三分七秒ニシテ、之ヲ一人用、二人用ニ區別スレバ一人用ニテ二分五七秒、二人用ニテ三分一〇秒ヲ要セリ。又大東（標準東ニ東ヲ纏メタルモノ）ニ於テハ最小三分一三秒、最大二分五三秒、平均二分二七秒ヲ要シ、又扱手一人一束當リノ所要時間ハ標準東ニ於テ最小三一・四秒、最大四五・九秒、平均三六・八秒ニシテ、之ヲ一人用、二人用ニ區別スレバ一人用三四・七秒、二人用三七・四秒ニシテ總平均二分五八秒ヲ要シ、大東ニ於テハ最小五三・三秒、最大六八・二秒、平均五七・四秒トナレリ。以上ノ結果ニ依レバ何レノ場合ニ於テモ一定量ノ稻麥ヲ披落スニ大東ガ標準東ヨリ幾分所要時間少キ事ヲ示シ、一人用、二人用ヲ比較スレバ一人用ノ方幾分披落時間小ナル事ヲ示セリ。之大東トスレバ東數ノ減少ノ爲メ受渡シニ要スル時間ヲ小ナラシムル爲ト二人扱ノ場合ハ扱手ガ互ニ協調センガ爲、幾分休息スル傾向アルヲ以テ一人扱ノ場合ニ比シ一束當リノ所要時間大トナルモノナルベシ。次ニ後始末時間ニ付テハ排塵良好ナルモノハ披落停止後時間ヲ要スル事少キモ排塵困難ナルモノハ此ノ時間比較の大ニシテ、又昇降器ヲ有スルモノハ之ヲ有セザルモノヨリ幾分長期間ヲ要セリ。

(ロ) 所要馬力

所要馬力ハ無負荷最大及平均ノ三者ニ分チ調査セリ。移送器及昇降器ヲ有スルモノハ之ヲ有セザルモノニ比シ幾分大ナルヲ免レズ。機構ノ良否及廻轉數ノ如何ニヨリ相當差異アリ。無負荷馬力ハ第一次試験ニ於テハ總平均〇・二八馬力、第二次試験ニ於テハ〇・二一馬力ヲ示セリ。〇・四馬力以上ヲ示スガ如キモノハ機構上相當考慮ノ餘地アルモノナルベシ。又最大馬力ハ第一次試験ニ於テ總平均一・一四馬力、第二次試験ニ於テ一・四九馬力ヲ示シ平均馬力ハ第一次試験ニ於テ大東ノモノノ平均〇・七〇馬力、標準東ノモノノ平均〇・八三馬力、第二次試験ニ於テハ大東ノモノノ平均一・一五馬力、

標準東ニシテ一人扱ノモノ〇・六九馬力、二人扱ノモノ〇・八八馬力ヲ示セリ。最大及平均馬力ニ於テ第一次試験ヨリ第二次試験ノモノノ所要馬力大ナルハ供試材料ノ脱粒ノ難易ニ依ルモノナルベシ。

(ハ) 毎分平均回轉數

毎分平均回轉數ハ主軸唐箕、移送器、昇降器ニ付記載セルガ、此ノ中特ニ主軸ノ廻轉數ニ付テハ大體適當ナルモノ多カリシモ廻轉周速度ヲ無視シテ大ニ過ギ機體ヲ振動セシメ、且脱粒子實ヲ傷害シ、發芽能力ヲ害セルモノアリシハ最も注意ヲ要ス。有效直徑ノ毎分周速度ハ別表ノ如クニシテ第一次試験ニ於テハ最小五九五米餘、最大一、〇八八米餘ニシテ平均七七・七一米（二、五六六尺餘）第二次試験ニ於テハ最小五九五米餘、最大八七一米餘ニシテ平均七一・八三米（二、三四九尺餘）ナリ。唐箕回轉數ニ付テハ胴直徑、吸風孔ノ大サ、翼ノ形狀、枚數等ヲ考慮シテ定ムベキニ過大ニシテ三番口ニ子實ヲ飛散セシムルモノ過小ニシテ、仕上口ニ稈屑塵芥等ヲ多量ニ混入セルモノアリシハ考慮ヲ要ス。又昇降器ノ回轉數ニ付テモ過大ニシテ振動ノタメ子實ノ排出不充ナルモノアリシハ改良ヲ要ス。

(ニ) 毎時精麥(粃)量

第一次試験ニ於ケル毎時精麥量ハ最小四九・四貫（一・三六石餘）、最大一〇四・六貫弱（二・九一石餘）ニシテ全供試機平均ハ七四・三貫餘（二・〇四石餘）ナリ。又第二次試験ニ於ケル毎時精麥量ハ最小五四・七貫餘（二・一石餘）、最大一九一貫餘（七・五石弱）ニシテ全供試機平均ハ一二四・三貫餘（四・七石弱）ナリ。

(ホ) 毎時馬力精麥(粃)量

第一次試験ニ於ケル毎時馬力精麥量ハ最小五〇・八貫餘（一・三九石弱）、最大一九八貫餘（五・四石餘）ニシテ全供試機平均ハ一〇〇・六貫餘（二・八九石餘）ナリ。又第二次試験ニ於ケル毎時馬力精麥量ハ最小五八・四貫餘（二・二五石餘）最大二四一・七貫餘（九・三石弱）ニシテ全供試平均ハ一四二・二貫餘（五・三八石弱）ナリ。

(ハ) 精粗中ノ玄米及碎米量

第二次試験ニ於ケル精粗七五〇瓦(二〇〇匁)中ノ玄米量ハ最少一五粒(〇・三〇瓦)最多一六一粒(三・二瓦)ニシテ全供試機平均ハ六二粒(一・七瓦)ナリ。又碎米量ハ皆無ノモノアレド最モ多キハ三二片ニ達スルモノアリ。

(ト) 發芽歩合

第二次試験ニヨル精粗ノ發芽歩合檢定ノ結果ニ依レバ最低八七%ニシテ全部發芽セルモノアリ。總平均ニ於テ九六・二%ニシテ低キモノハ特ニ注意ヲ要ス。

(チ) 脱穀歩合

脱穀歩合ハ第一次試験ニ於テ最低八六・五二%、最高九九・一三%、平均九五・二九%トナレリ。第二次試験ニ於テハ最低九〇・五七%、最高九九・七八%、平均九八・〇八%ナリ。

(リ) 穂切中ノ精麥(粗)歩合

第一次試験ニ於テハ穂切中ノ精麥歩合ハ最低〇・八七%、最高一三・四八%、平均四・七一%トナレリ。第二次試験ニ於テハ穂切中ノ精麥歩合ハ最低〇・二二%、最高九・四三%ニシテ總平均一・九五%ナリ。

(ヌ) 穂切歩合

穂切歩合ハ第一次試験ニ於テ最低〇・〇六%、最高〇・七六%、平均〇・三二%ニシテ、第二次試験ニ於テハ最低〇・三七%、最高四・〇五%、平均一・四二%ナリ。

以上ノ如クニシテ運轉試驗ノ結果、構造上特ニ留意スベキ點次ノ如シ。動力脱穀機ノ移動使用セラルル事多ク、且ツ動力ヲ要スル事大ナルヲ以テ製作材料ノ良否、工作ノ精粗ハ機械ノ耐久力ヲ左右スルノミナラズ、作業ノ難易程ノ大小ニモ影響スル事大ナリ。特ニ扱胴ハ脱穀機ノ主體ナルヲ以テ堅牢ナルヲ要ス。扱胴軸ノ太サハ扱胴ノ重量、廻轉數、

軸承間ノ距離等ヲ考慮シテ決定スベク、特ニ軸ノ長キモノニシテ細キニ失スル時ハ作業中又ハ運搬中ニ稍モスレバ屈曲シ、又軸心ニ狂ヒテ生ジ振動大ニシテ所要馬力ヲ増大セシムル虞アリ。又軸承ニ留意シテ良質ノ球入軸承ヲ用ヒ、扱胴軸ト扱胴トノ連結ヲ確實ニスルノ要アリ。扱胴ノ桁材ハ相當ノ厚サヲ有スル堅木ヲ以テ作ルカ厚鐵板ヲ以テ作り桁板ノ結合ヲ強固ナラシムル爲ニハ帶鐵又ハ針金ヲ胴中ニ二本又ハ三本施スヲ可トス。扱齒ハ相當強剛ナルモノヲ用ヒ、作業中東ノ儘吸引サレ、又ハ小木片ノ如キモノヲ喰込ミタル際モ變形又ハ脱落スル事ナキヲ要ス。此ノ爲ニハ扱板ニ打込ミタル儘ナルハ不可ニシテ必ズ裏面ニ於テ折曲ゲ、又釘止メニスルカ、捻子止メトスルヲ要ス。又側板ヲ桁板ニ緊密ニ固着セシメ胴内ニ脱粒物屑等ノ入込ムヲ防止シ、又扱胴軸ヘノ纏絡ヲ防ガンガ爲ニハ側板ヲ密閉シ、一部ニ開閉裝置ヲ附スルカ、或ハ簡單ニ取外シ得ル如クシ扱齒取替ニ便スルヲ可トス。尙扱胴ノ釣合ニツキテモ十分考慮ヲ拂フ必要アリ。受網ノ材料、位置、扱齒トノ間隔等モ作業能率ニ關係シ、受網ノ形狀、位置等モ脱粒ノ難易、穂切量ノ多寡ニ關係スル事大ナリ。又選別裝置ノ適否ハ作業能率ニ影響スル事甚大ニシテ、特ニ風力ノ強弱分布ハ吸風孔、送風孔及翼車ノ形狀構造ニ關スル事大ナルヲ以テ注意ヲ要ス。脱粒物落下口ノ位置形狀、粒受板ノ位置及高サ等ノ相互關係モ考慮スルヲ要シ、特ニ粒受板ノ傾斜ヲ適當ニシ場合ニヨリテハ搖篩裝置ヲ附加スルヲ可トス。尙選別用ニ鐵線又ハ鋼線製ノ「スポーク」ヲ備ヘ大ナル稈切、屑等ヲ別ツ裝置ヲ有セルモ概シテ形狀、位置、間隔、傾斜等適當ナラズシテ其ノ機能ヲ十分に發揮シ得ザルモノ多シ。要スルニ本鑑定試驗ノ結果ニ依レバ稻用又ハ麥用トシテ適當ナルモノ相當アリシモ稻麥兩用トシテ適當ナリト認ムルハ極メテ少ナカリシハ遺憾ニシテ性狀ノ異ナルモノヲ全ク同一ノモノヲ以テ扱落シ選別スルハ或ハ困難ナルベキヲ以テ簡單ニ一部ノ取替ニヨリ其ノ作業ヲ萬全ナラシメ、且又稻麥以外ノ脱穀用又ハ麥摺機用トシテ利用範圍最モ廣キモノヲ製作考案セラレン事ヲ望ム。

動力脱穀機鑑定試験成績別表

試験 番 號	機 名	撥 落 所 要 時 間		有 効 直 徑 ノ 毎 分 周 速 度	
		第 一 次	第 二 次	第 一 次	第 二 次
一〇九八七六	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
二一	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
二二	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
二三	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
二四	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
二五	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
二六	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
二七	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
二八	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
二九	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
三〇	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
三一	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
三二	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
三三	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
三四	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
三五	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
三六	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
三七	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
三八	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
三九	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
四〇	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
四一	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
四二	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
四三	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
四四	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
四五	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
四六	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
四七	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
四八	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
四九	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
五〇	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
五一	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
五二	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
五三	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
五四	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
五五	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
五六	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
五七	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
五八	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
五九	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
六〇	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
六一	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
六二	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
六三	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
六四	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
六五	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
六六	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
六七	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
六八	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
六九	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
七〇	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
七一	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
七二	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
七三	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
七四	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
七五	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
七六	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
七七	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
七八	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
七九	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
八〇	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
八一	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
八二	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
八三	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
八四	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
八五	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
八六	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
八七	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
八八	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
八九	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
九〇	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
九一	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
九二	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
九三	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
九四	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
九五	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
九六	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
九七	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
九八	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
九九	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六
一〇〇	柴田式自動選別脱穀機	△△△△△	△△△△△	七九・六	六八・六

備考 △印ハ大東ナル事ヲ示ス
○印ハ一人扱ナル事ヲ示ス

二、出品物別概評(試験實施順)

次ニ供試各機ニ付キ概評ヲ試ムレバ次ノ如シ。

上山式自動選別脱穀機特號

本機ハ上扱式二人用機ニシテ機體ノ大部分ハ木製ニシテ材料工作一般ニ可ナリ。布製ノ被覆ヲ有シ扱臺ノ高サ高ク、面積小ニシテ作業ニ稍不便ナリ。機高ハ上扱式トシテハ稍小ナルモ全重量ハ大ナリ。扱胴ハ松材ニシテ鑄鐵ノ側板ヲ有シ直徑大ニシテ重量大ナリ。扱齒ハ桁板ニ釘止トナセリ。一番鋼線ヲ用ヒ、廻轉間隔小ニシテ脱穀歩合稍不良ナリ。仕上口ノ上側ニ網帶ヲ運動セシメ、其ノ上ニ穀粒ヲ落下セシメ再選別ヲナシ、又扱口ノ下ニ特殊ノ螺旋型軸ヲ有スル穂切處理裝置ヲ設ケ、穂切中ノ穀粒ヲ分離シテ屑層、塵芥等ヲ機側ニ排出スル如クセリ。運轉試驗ノ結果第一次ニ於テハ毎時精麥量七八貫餘、毎時馬力精麥量一〇・八・五貫餘ニシテ效率中位ナルモ、選別ハ二番口ニ、精麥三番口ニ屑麥ノ混入相當大ナリ。第二次試驗ニヨレバ所要馬力大ニシテ毎時精麥量ハ一七八貫弱ニシテ、毎時馬力精麥量一一貫餘ニシテ效率中位ナルモ、玄米及碎米ノ生成量稍多量ナリ。又選別狀態ハ仕上口ニ番口ニ屑層ノ混入多キハ選別裝置ニ今一段ノ考慮ヲ要ス。

柴田式自動選別脱穀機

本機ハ上扱式二人用機ニシテ機高、据付面積、重量共ニ相當大ナリ。扱胴ハ松材ノ桁板ヨリナリ、扱齒ハ一番鋼線ヲ又釘止ニシ、逆V字型ニシテ螺旋型ニ植付ケタリ。受網ハ十四番「クリンプ」網ヲ用ヒ、排塵口ノ下部ニ受齒ヲ有シ、受網及扱臺ノ下側ノ二個所ニ程切處理裝置ヲ有シ、穀粒ヲ除キテ屑層、塵芥等ヲ機ノ前面ニ排出スル如クシ、被覆ハ布製折疊式トシ移動運搬ニ便セリ。運轉試驗ノ結果第一次ニ於テハ毎時精麥量一〇三貫餘ニシテ毎時馬力精麥量一九八貫ニ達シ效率大ナルモ選別ハ二番口ノ量相當多クシテ、且仕上口ニ屑麥二番口ニ屑層混入相當多シ。第二次ニ於テハ毎時精麥量一八六貫餘、毎時馬力一七三貫弱ニシテ相當大ナルモ、第一次ト同様、二番口ノ量多シ。仕上口ニ糞及屑層三番口ニ精

扱ノ混入相當多ク扱口ノ高サ高ク作業ニ稍不便ニシテ扱口ヨリノ飛散量大ナリ。一般ニ工作材料可ナルモ選別装置ニ付尙一層ノ考慮ヲ要ス。

板野式脱穀選別機

本機ハ上扱式二人用機ニシテ機高大ニシテ全形重量中庸ナリ。扱胴ハ松材ヨリナリ、直徑大キク扱齒ハ一番鋼線ニシテ逆V字型ニシテ釘止メトナセリ。主軸ニ偏心輪ヲ附シ槓桿作用ニヨリ受網ノ下部ノ傾斜板ヲ搖動セシメテ穀粒ノ均等落下スル事ヲ計リ、又扱口ノ下側ニアル穂切塵芥中ノ散粒ヲ選別スル篩ヲ搖動セシムル装置トシ、扇風機ハ上廻シトナシ、風ノ整流装置ヲ附セリ。實地運轉ノ結果ニヨレバ扱齒ノ配列不整ニシテ脱穀歩合悪ク、音響大ニシテ扱口ヨリノ飛散多ク、第一次試験ニ於テハ毎時精麥量六三貫餘、毎時每馬力精麥量八二貫餘ニシテ中以下ナリ。仕上口上ノ穀粒均等落下板上ニ粒ノ堆積多ク、又稈屑塵芥中ノ穀粒選別装置モ操作不完全ニシテ塵芥稈屑ノ繰出十分ナラズ選別不良ナリ。又第二次試験ニ於テハ選別状態稍可ナルモ毎時精穀量一七五貫弱ニシテ、毎時每馬力精穀量一一六貫弱ニシテ效能中位ナリ。機體ノ高サ幅ニ比較シテ機軸主軸其ノ他各部ノ強度稍不足ニシテ振動稍多シ。

板野式脱穀選別機麥摺兼用機

本機ハ上扱式二人用機ニシテ扱胴ヲ二個有シ、主扱胴ニヨリ脱穀セラレザル網上ノ殘物ハ機ノ前方ニ排出セラレ、第二脱穀胴ニ入り再ビ扱落作用ヲ受ケテ排出セラルルモノナリ。尙麥摺用「カバー」ヲ附スレバ麥摺機トシテモ使用セラルル如クナセリ。機高大ニシテ容積中庸重量亦中庸ナリ。扱胴ハ松材ヨリナリ、第一胴直徑相當大ニシテ重量中庸ナリ。扱齒ハ一番線ニシテ逆V字型又釘止ニシテ螺旋植トナセリ、回轉間隔大ナリ。第二胴ハ直徑小ニシテ扱齒ハ第一胴ト同様ニシテ高サ二・三種、回轉間隔三・〇種ナリ。運轉試験ノ結果扱口ノ高サ大ニシテ、且扱臺ナク作業ニ稍不便ヲ感ズ。第二脱穀胴ハ其ノ效果甚ダ少シ。第一次試験ニ於テハ毎時精麥量八三貫強ニシテ、毎時每馬力精麥量ハ八六貫弱ニシテ效能中位ナル

モ扱齒ニ稈屑、穂切等ノ纏絡多ク、腕ヘノ抵抗大ナリ。作業上風力ノ分布一樣ナラズシテ選別状態良好ナラズ。第二次試験ニ於テハ毎時精穀量一二六貫餘、毎時每馬力精穀量一四〇貫餘ニシテ效能中位ナリ。選別又一般ニ不良ナリ。一次、二次ヲ通ジ音響、振動相當大ナルヲ以テ實用上相當考案ノ餘地アリ。尙麥摺機トシテ使用セル結果ニヨレバ選別稍不良ナルモ相當實用ニ適スルモノト認メラレタリ。

竹久式自動選別脱穀機一號型

本機ハ上扱式二人用機トシテ機高相當大ナルモ上扱式トシテハ稍低シ。全型比較的大ニシテ重量中庸ナリ。扱臺ノ下ニ鋸齒狀鐵板四板ヨリナル穂切處理装置ヲ有シ、前面ノ排塵口ニハ「ゴム」布ヲ懸垂シテ排出物ノ調製ヲナス等種々ノ點ニ考案ノ跡アリ。扱胴ハ松材ヲ用ヒ重量大ナラズ。扱齒ハ一番線逆U字型ニシテ又釘止メニシテ千鳥型ニ配列シ釣合良好ナリ。實地運轉ノ結果穂切處理裝置ノ作用良ク働ラキ稈屑塵芥中ノ穀粒ヲ選別シ、稈切ハ細カク切斷サレ足許ニ落下シ、機内ニ殘留スル事少ク、唐箕ノ風力分布比較的平均シテ選別状態良ク、二番口及三番口ノ排出量少ク效能亦大ナリ。上扱式トシテハ作業容易ナルモノニ屬スルモ、尙一層機體各部ノ強度ニ留意スル必要アルベシ。第一次試験ニ於テ毎時精麥量九五貫餘、毎時每馬力精麥量一五九貫弱ニシテ效能大ナリ。又第二次試験ニ於テハ毎時精穀量一八四貫餘、毎時每馬力精穀量一四八貫ニシテ效能中位ニ屬ス。

野田式脱穀機一號機

本機ハ下扱式二人用機ニシテ機高大下扱式トシテ相當大ニシテ据付面積並ニ重量中庸ナリ。扱胴ハ鐵板及「ラワン」材ヲ以テシ、直徑稍大ニシテ重量ハ中位ナリ。扱齒ハ逆V字型八番鋼線ヲ用ヒ、螺旋植ニシテ鐵板木板間ニ挟ミテ取付クル如クナセリ。扱口ノ高サ扱臺ノ廣サ等大體ニ於テ作業ニ便ナルモ扱口ノ幅ハ今少シ大ナル方二人用トシテ可ナルベシ。尙排塵口ノ開閉裝置相當重クシテ作業中ノ排塵ニ稍困難ヲ感ズ。又昇降機ノ取付不良ニシテ振動セリ。構造堅牢ニシテ材料工

作又良好ナリ。第一次試験ノ結果毎時精麥量八二貫弱ニシテ、毎時每馬力精麥量八一〇六貫強ニ達シ、中位ヨリ稍大ニシテ選別一般ニ良好ナリ。第二次試験ニ於テハ毎時精麥量一四一貫強、毎時每馬力精麥量一四六貫弱ニシテ效程中庸ニ屬シ選別亦中庸ナリ。

ツクダ式太陽號上扱式全自動脱穀機

本機ハ上扱式二人用機ニシテ機高一二一種ニシテ上扱式トシテハ低ク、据付面積比較的大ナルモ重量輕シ。扱胴ハ松材ヲ用ヒ、直徑比較的小ニシテ重量亦小ナリ。扱齒ハ九番鋼線ヲ用ヒ逆V字型ニシテ千鳥配列トナシ、又釘止メトナシ回轉間隔稍大ナリ。扱口ノ上面ニ布ヲ懸垂シ、扱口ヨリノ飛散ヲ防止シ、又排塵口ニ於テ鐵製「ロール」ヲ設ケテ排塵口ニ導ク如クシ、更ニ「スポーク」上ニ堆積セルモノヲ風選シテ仕上ノ穀粒ヲ入ル如クナセル爲、穂切屑層等ノ足許ニ排出サルル事ナク上扱式トシテ作業上極メテ便ナリ。本機ハ出品者ノ都合ニヨリ第一次試験ヲ行ハズ、第二次試験ノ結果ニ依レバ所要馬力、所要時間少ナク、毎時精麥量一九一貫強、毎時每馬力精麥量二三三貫弱ニシテ效程大ナリ。選別ハ中位ニ屬ス。材料工作稍粗ニシテ振動アルモ上扱式トシテハ比較的作业ニ便ニシテ麥扱用トシテモ相當使用シ得ベシ。

ツクダ式太陽號下扱式全自動脱穀機

本機ハ下扱式二人用機ニシテ機高据付面積重量共ニ中庸ニシテ扱胴ハ松材ヲ用ヒ、直徑四一種ニシテ比較的大ナルモ重量ハ中庸ナリ。扱齒ハ九番鋼線ヲ用ヒ逆U字型ニシテ千鳥植トシテ又釘止トセリ。扱口ノ大サ高サ等二人用トシテ作業ニ便ナリ。排塵口ニハ二枚ノ開閉板ヲ有シ排塵口出口ニ於ケル「スポーク」ヲ遊動式トシ、穀粒ノ選別ニ便セリ。受齒ハ刀狀ニシテ程切ヲ細斷スル作用ヲ有ス。第一次試験ニ於テハ毎時精麥六八貫強、毎時每馬力精麥量九五貫弱ニシテ效程中位ナリ。移送機上ニ搖動網ヲ附シ、仕上ノ選別状態良好ナルモ第二口ノ量多ク選別稍不良ナリ。第二次試験ニ於テハ毎時精麥量八七貫弱、毎時每馬力精麥量九八貫強ニシテ效程小ナリ。搖動網ヲ除キ、固定傾斜板ヲ附シ「スポーク」ヨリノ選別粒モ

仕上ノ入ル如クナセルモ、其ノ位置竝ニ傾斜適當ナラザルガ爲メ板上ニ堆積スルコト多ク、移送機及扇風機ノ機能ヲ妨ゲタルヲ以テ選別稍惡ク脱穀歩合小ナリ。作業容易ナルモ材料工作稍粗ニシテ機體ノ振動多ク相當考案ノ跡ヲ見ルモ尙改良ノ餘地アルモノト認メラル。

龜屋式稻麥自動選別脱穀機六號

本機ハ下扱式二人用機ニシテ機高低ク据付面積竝ニ重量ハ中庸ナリ。扱胴ハ松材ノ表面ニ鐵板ヲ附シ、直徑中庸ニシテ重量又中庸ナリ。扱齒ハ六番鋼線ニシテ逆V字型螺旋植トシ「ナット」止トス。回轉間隔廣ク總齒數少ナシ。受齒ノ運動ニヨリ自動排塵裝置「スポーク」ノ搖動移送機上ノ搖網裝置及送風口ニ於ケル整風裝置等種々ノ點ニ於テ考案ノ跡著シキモノアリ。運轉試驗ノ結果第一次試験ニ於テハ毎時精麥量六八貫弱、毎時每馬力精麥量七四貫弱ニシテ比較的大ナラズ。選別ハ仕上ノ稍不良ナルモ二、三番口ハ中庸ナリ。第二次試験ニ於テハ毎時精麥量九九貫弱ニシテ毎時每馬力精麥量八一七〇貫餘ニ達シ比較の效程大ニシテ選別モ亦不可ナラズ。工作材料良好ニシテ腕ヘノ抵抗少ク、排塵口ハ開放セル儘行ヒ排塵容易ニシテ脱粒状態可ナリ。

山本式稻麥兼用脱穀調製機

本機ハ下扱式一人用機ニシテ高サ高ク、一人用トシテハ容積竝ニ重量中位ナリ。扱胴ハ松材ヨリナリ直徑中位ニシテ重量輕シ。扱齒ハ一〇番鋼線ヲ千鳥植トシテ型狀逆V字型ニシテ釘止メトス。廻轉間隔少ナリ。受網ニ打抜鐵板ヲ用ヒ其ノ下ニ搖網ヲ設ケ選別セル穀粒ヲ移送機ニ依ラズ機底ヲ漏斗型トシテ昇降器ニ送り込ムガ如クナシ、廻轉軸ノ一端ヲ延長シテ昇降機軸ニ兼用セシメタル等特異ノ點アリ。運轉試驗ノ結果機體竝ニ主軸ノ高サ高キニ失シ、不安定ニシテ振動大ナリ。第一次試験ニヨレバ毎時精麥量五〇貫弱、毎時每馬力精麥量ハ五一貫強ニシテ效程小ナリ。仕上ノ選別ハ良好ナルモ第二番口、第三番口ノ選別不良ニシテ機内淺留物及扱口ノ飛散量多シ。第二次試験ニ依レバ毎時精麥量五五貫弱、毎時

每馬力精粒量五八貫強ニシテ效程小ナリ。搖動網ノ構造不完全ニシテ網上ノ堆積物多ク、仕上ロ二番口ノ選別不良ニシテ昇降器ノ構造不完全ナルタメ脱稈玄米及碎米ヲ多量ニ生ゼリ。一般ニ材料工作粗ニシテ脱粒ハ可ナルモ排塵稍困難ナリ。

甘露號松下式稻麥脱穀機

本機ハ下扱式一人用機ニシテ高サ、容積、重量共ニ小ニシテ扱胸ハ松材ニ鐵板ヲ被覆セリ。直徑小ニシテ重量輕ク、扱齒ハ八番鋼線ヲ用ヒ、螺旋植トシ逆U字型ニシテ「ナット」止メトス。總數四五本ニシテ回轉間隔ハ大ナリ。送風口ニハ調節弁ヲ附シ風向ノ調節ヲナシ昇降機ハ「ベルト」内ニ未乾燥穀粒ノ入りタル際ニモ詰ル事ナク、自動的ニ汲上ゲルガ如クセリ。第一次試験ノ結果ニヨレバ排塵口ヲ開放ノ儘作業セルタメ二番口ノ量甚ダ大ナルモ、毎時精麥量七四貫強、毎時每馬力精麥量一一貫弱ニ達シ效程中庸ナリ。選別ハ二番口稍不良ナルモ仕上ロ三番口ハ良好ナリ。第二次試験ノ結果ニヨレバ毎時精粒量六六貫強、毎時每馬力精粒量ハ一一貫弱ニシテ選別極メテ良好ナリ。材料工作佳良ニシテ腕ヘノ抵抗少ナク排塵容易ニシテ運轉中ノ振動少シ。

伊藤式フクリ稻麥脱穀機大型

本機ハ下扱式二人用機ニシテ主トシテ鐵板ヨリナリ機高中位ニシテ据付面積稍大ニシテ重量又相當大ナリ。扱胸ハ松材ニ鐵板ヲ被覆シ直徑、重量大ニシテ釣合不良ナリ。扱齒ハ七番鋼線ニシテ螺旋植トシ逆V字型トシ「ナット」止トセリ。回轉間隔中位ナリ。受齒風向等ノ調節裝置ヲ有シ排塵口ノ下及ビ移送機上ノ二ヶ所ニ「スボーク」ヲ具ヘ穀粒ノ選別ヲナス如クセリ。運轉試験ノ結果ニ依レバ扱口ノ高サ、廣サ等大體適當ニシテ作業容易ナルモ扱臺ノ取付不完全ナリ。第一次試験ニ於テハ毎時精麥量七八貫強、毎時每馬力精麥量ハ七二貫強、效程ハ下位ナリ。又選別ハ中位ニ屬ス。第二次試験ニ於テハ毎時精粒量一〇八貫強、毎時每馬力精粒量一〇六貫強ニシテ效程下位ニ屬シ選別又良好ナラズ。脱稈玄米竝ニ碎米ノ生成量多ク發芽歩合特ニ惡シ。

丹羽式動力用稻麥脱穀機

本機ハ上扱式二人用機ニシテ第二次試験ノミヲ施行セリ。

機高上扱式トシテハ低ク、容積竝ニ重量亦輕ク移動運搬ニ便ナリ。扱胸ハ鐵板製ニシテ直徑ハ小ニ屬シ重量中庸ナリ。扱齒ハ一二番鋼線ヲ用ヒ千鳥植トシ、逆V字型ニシテ打込止トセリ。回轉間隔三・〇廻ニシテ中庸ナリ。總數ハ一六二本ニシテ多シ。機體ノ材料工作入念ヲ缺キ、塵芥ヲ前方ニ排出スル如クセルモ排塵不良ニシテ扱口ヨリノ飛散粒甚ダ多ク、且扱齒扱胸ヘノ纏絡物多シ。又扱臺ヲ缺クルガ爲メニ作業上不便ナリ。毎時精粒量一二三貫強、毎時每馬力精粒量二四二貫弱ニ達シ、效程大ナルモ作業中機内殘留物ノ排出ノタメ運轉中止ヲナシ、且ツ選別不良ナリ。扱胸ノ構造扱齒ノ取付方法等ニモ改良ノ餘地多シ。

サト一式動力用稻麥脱穀機

本機ハ下扱式二人用機ニシテ大部分木製ニシテ機高小ニシテ据付面積中庸、重量ハ大ナリ。扱胸ハ松材製ニシテ鑄鐵製側盤ヲ附シ、直徑大ニシテ重量又大ニシテ釣合良好ナリ。扱齒ハ八番鋼線ヲ用ヒ逆V字型ニシテ配列不定又釘止メトシ、回轉間隔ハ小ナリ。運轉試験ノ結果作業容易ナルモ受網ト扱口ノ型狀ニヨリ扱口ヨリノ飛散量比較的多ク第一次試験ニ於テハ毎時精麥量四九貫強、毎時每馬力精麥量七三貫強ニシテ效程中位ナルモ、選別ハ二番口ヲ除キ極メテ良好ナリ。第二次試験ニ於テハ毎時精粒量一一八貫強、毎時每馬力精粒量ハ一二貫弱ニシテ效程大ナラズ、又選別狀態ハ二番口ハ稍可ナルモ三番口ニ精粒ノ混入多ク、一般ニ良好ナラズ。材料工作良好ニシテ腕ヘノ抵抗少ナク排塵ハ極メテ容易ニシテ脱粒良好機體ノ振動極メテ少ナシ。

副田式選別脱穀機一號型

本機ハ上扱式二人用機ニシテ機高一四二廻餘ニ達シ、甚ダ大ナリ。据付面積中庸ナルモ重量稍大ナリ。扱胸ハ松材ヨリ

ナリ直徑大、重量稍大ナリ。拔齒ハ一〇番鋼線ヲ用ヒ、千鳥植逆V字型ニシテ、又釘止メトナジ、回轉間隔中位ナリ。機體ハ鐵板張りニシテ被覆ハ折疊式布製ニシテ機高高ク安定ヲ缺キ、工作材料稍粗ナリ。排塵口ノ下ニ双狀ノ受齒ヲ有シ把手ニ依リテ排塵口ヲ開閉スル如クシ、ソノ前方ヲ金網張りトシ塵埃ヲ抜クガ如クセリ。運轉試驗ノ結果排塵稍困難ナルモ第一次試驗ニ於テハ毎時精麥量八九貫餘、毎時每馬力精麥量一四四貫強ニシテ效能大ナリ。選別ハ比較的良好ナリ。第二次試驗ニ於テハ毎時精麥量一三一貫弱、毎時每馬力精麥量二〇四貫強ニ達シ效能大ナリ。選別ハ仕上ロ二番口ニ於テ稍不良ナリ。腕ヘノ抵抗小ニシテ脱粒ハ可ナリ。

大貫式脱穀機一號機

本機ハ下扱式二人用機ニシテ主トシテ木製部ヨリナリ機高低ク据付面積中庸ナルモ重量大ナリ。拔胸ハ鐵板製ニシテ全密閉型トシ直徑中位ニシテ重量大ナリ。拔齒ハ四番鋼線ヲ用ヒ、逆U字型螺旋植トシ「ナット」止メトス。回轉間隔小ニシテ總齒數六四本ナリ。一般ニ構造堅牢ニシテ工作又相當入念ナリ。第一次試驗ニ於テハ把手ニヨル排塵裝置トシ、昇降機ヲ有セザルモノニ付キ試驗シ、第二次試驗ニ於テハ排塵作用ヲ足踏ニテナス如クシ、且昇降器ヲ附セリ。拔胸ノ構造上竝ニ受齒ヲ有セザル爲程層穗切等ノ拔胸ニ絡ミ付ク事多ク、拔落作用不良トナリ、動力ヲ要スル事大ニシテ效能上ラズ。第二番口ノ量甚ダ多ク、第一次試驗ニ於テハ毎時精麥量六七貫強、毎時每馬力精麥量ハ五一貫弱トナリ、選別ハ稍可ナルモ、第二次試驗ニ於テハ毎時精麥量九三貫弱、毎時每馬力精麥量八〇貫強ニ過ギズ。選別又不良ナリ。足踏ニヨル排塵裝置ノ考案見ルベキモノアレド、大サ位置等ニ付尙相當考慮ノ餘地アリ。拔臺廣ク機體安定ニシテ振動少ナク作業ニ便ナルモ腕ノ抵抗稍大ナリ。

龍虎式動力用脱穀機二人用

本機ハ下扱式二人用機ニシテ機高中庸、据付面積稍大、重量中庸ナリ。拔胸ハ總鐵板製ニシテ直徑竝ニ重量中位、拔齒ハ七番鋼線ニシテ逆V字型螺旋植トス。回轉間隔廣ク總齒數七二本ナリ。構造工作普通ナルモ拔齒ノ配列竝ニ大サニ不同アリ。釣合不良ナリ。拔齒ノ取付特殊ニシテ取替容易ナリ。排塵口ノ前方ニ「ズツク」布ヲ懸垂シ排出物ノ緩衝トセルハ可ナルモ二番口狭ク作業ニ不便ナリ。運轉試驗ノ結果麥扱第一次ニ於テハ毎時精麥量六六貫弱、毎時每馬力精麥量六二貫弱ニシテ效能低ク選別亦良好ナラズ。第二次ニ於テハ毎時精麥量一〇七貫弱、毎時每馬力精麥量ハ一二五貫強ニシテ效能中位ナルモ、選別狀態ハ仕上ロニ於テ批第二番口ニ於テ程層ノ混入相當多ク、三番口ハ可ナルモ一般ニ稍不良ナリ。腕ヘノ抵抗ハ比較的少ク排塵ハ容易ナリ。脱粒ハ良ニシテ振動少ナシ。

齋啓式B型普通型一人扱用脱穀機

本機ハ下扱式一人用機ニシテ機高低ク据付面積小、重量中位ナリ。拔胸ハ松材ヲ用ヒ直徑中位重量稍大ナリ。拔齒ハ八番鋼線ヲ用ヒ螺旋植トセルモ配列稍不整ニシテ逆V字型打込止トセリ。材料工作稍不良ニシテ實地試驗ノ結果拔口ノ大サ小ニシテ且傾斜度急ナルタメ禾束ノ脱粒困難ニシテ排塵不良ナリ。效能、竝ニ選別狀態大體中位ニ屬スルモ構造竝ニ工作上改良ヲ要スル點多シ。第一次試驗ニ於ケル毎時精麥量ハ七九貫餘、毎時每馬力精麥量ハ一三〇貫ニ達ス。第二次試驗ニ於テハ毎時精麥量七三貫弱、毎時每馬力精麥量ハ一六一貫強ナリ。

大竹式B型一號自動選別脱穀機

本機ハ下扱式二人用機ニシテ機高ハ比較的小ニシテ据付面積竝ニ重量中庸ナリ。拔胸ハ鐵板製全密閉型ニシテ直徑ハ小、重量稍大ナルモ釣合ハ可ナリ。拔齒ハ七番鋼線ニシテ螺旋植逆V字型特殊狀ノ鑄物ニヨリ「ナット」止メトナシ取替ニ便ナリ。回轉間隔稍大ニシテ總齒數ハ五四本ナリ。移送機、昇降機等ヲ附セズ。運轉試驗ノ結果脱粒良好ニシテ作業容易ナリ。第一次試驗ニ於テハ毎時精麥量八一貫強、毎時每馬力精麥量ハ七九貫弱、效能中位ニシテ選別又中庸ニ屬ス。第二次試驗ニ於テハ毎時精麥量一二一貫強、毎時每馬力精麥量ハ一四九貫餘ニシテ比較的效能大ニシテ、三番口ニ於テ幾分精粗ノ混

入ヲ見タル外仕上二番口ノ選別良ク、一般ニ構造堅牢工作入念ニシテ振動少ク、扱齒ノ固定強固ニシテ構造工作極メテ優良ナリ。

小池式脱穀調製機

本機ハ移送機、昇降機ヲ有セザル下扱式二人用機ナリ。機高据付面積中庸ニシテ重量稍輕シ。扱胸ニハ松材ヲ用ヒ、鐵板張リトシ全密閉型トセリ。直徑中位ニシテ重量稍重ク鈞合良好ナリ。扱齒ハ七番鋼線ヲ用ヒ螺旋植逆U字型ニシテ「ナット」止メトセリ。扇風機ノ除塵裝置竝ニ「ベルト」ノ位置等作業ニ便セシムル外特ニ考案ノ跡ヲ見ザルモ構造極メテ堅牢ニシテ工作又入念ナリ。實地試驗ノ結果第一次ニ於テハ毎時精麥量七九貫弱、毎時馬力精麥量ハ一二三貫強ニシテ效能大ニシテ選別良好ナリ。只風力ノ不足ト分布ノ不同ノタメ「スポーク」上ニ稈屑ノ堆積スルコト稍多シ。又第二次ニ於テハ毎時精麥量一四三貫弱、毎時馬力精麥量一六八貫強ニシテ效能大ナリ。仕上ノ選別狀態良好ナルモ二、三番口ハ中位ナリ。腕ヘノ抵抗小ニシテ排塵ハ中位ナルモ扱口ヨリノ飛散程度少ナク振動無ク脱粒極メテ良ナリ。

丸宮脱穀調製機三號二人用

本機ハ下扱式二人用機ニシテ移送機ヲ有セズ。機高小ニシテ据付面積竝ニ重量中位ナリ。扱胸ハ桎材ニ鐵板ヲ被覆シ、直徑竝重量小ナリ。鈞合稍不良ナリ。扱齒ハ六番鋼線ニシテ螺旋狀ニ植エ付ケラレ、鐵板ニ熔接セルモノヲ胸ノ内部ヨリ出シ、之ヲ「ナット」止ニセルモノニシテ取替ニ便ニシテ回轉間隔二・五種ニシテ稍狭ク齒數ハ少ナシ。二番口ハ差込自由ニシテ運搬ニ便ナリ。扇風機ノ塵埃防止裝置ヲ附シ運轉試驗ノ結果ニ依レバ一次試驗ニ於テハ毎時精麥量八三貫弱、毎時馬力精麥量ハ九五貫餘ニシテ效能大ナルモ選別ハ中位ナリ。又第二次試驗ニ於テハ毎時精麥量一三〇貫強、毎時馬力精麥量ハ一六七貫餘ニシテ稍大ナリ。選別ハ三番口稍不良ナリ。扱齒ノ配列稍不整ノ所アリ。左手ニテ排塵裝置ノ開閉ヲナスハ不便ナルベシ。構造工作一般ニ良好ニシテ振動少ナク脱粒良好ナリ。且腕ヘノ抵抗小ナリ。

新津式選別脱穀機三號機

本機ハ下扱式一人用機ニシテ移送器ヲ有シ昇降機ヲ附セズ。全體ニ構造堅牢ニシテ主トシテ木材ヲ用ヒ、扱胸ハ鐵板製ニシテ扱齒ハ七番鋼線U字型ニシテ鐵板二枚ヲ以テ挟ミ「ボルト」止メトナシ取替容易ナリ。受網ハ打拔鐵板ニシテ取替自由ナリ。扱臺ノ高サ適當ニシテ扱口ニハ特殊ノ「カバー」ヲ附シ幅ノ調節ヲナス如クセリ。二番口ノ差込自由ニシテ又運搬用兼扱臺受用ノ鐵棒枠ヲ設ケ、唐箕吸風口ニ被覆ヲ有シ扱臺ノ下部ヨリ吸風スルガ如クセリ。第一次試驗ハ材料ノ都合ニ依リ之ヲ行ハズ。第二次試驗ノ結果ニ依レバ排塵回數稍多キモ排塵容易ニシテ腕ヲ引カルル事少ク脱粒良ナリ。毎時精麥量七三貫餘、毎時馬力精麥量一一〇貫餘ニシテ特ニ大ナラサレドモ選別ハ比較的良好ナリ。只精粒中ニ稍多量ノ玄米ヲ生ジ、且ツ二番口上ニ精粒ノ含有大ナルハ注意ヲ要ス。又主軸承ノ材料不良ニシテ鈞合不良ナリ。

新津式選別脱穀機一號機コンベアー付

本機ハ下扱式二人用機ニシテ構造ハ殆ド前記三號機ト同様ニシテ堅牢、工作丁寧ニシテ考案ノ跡相當有リ。排塵口ハ二重口トナリ排塵容易ナルモ、第一次試驗ノ結果ニ依レバ二番口上ノ「スポーク」ニ稈切、稈屑、穗殼等ノ堆積多ク、二番口ノ量甚ダ多ク精麥ノ含有量多シ。毎時精麥量六四貫餘、毎時馬力精麥七三貫餘ニシテ效能稍小ニシテ選別稍不良ナリ。脱穀歩合ハ比較的良好ニシテ腕ヘノ抵抗小ナリ。第二次試驗ニ於テハ第一次試驗ノ受網ノ孔ノ直徑七耗ナリシヲ一種ニ交換シテ作業セル結果毎時精麥量ハ一三四貫餘ニシテ相當大ナルモ所要馬力稍多ク、毎時馬力精麥量ハ一〇四貫餘ニシテ稍小ナリ。選別ハ仕上三番口ハ良好ナルモ二番口稍不良ナリ。脱穀歩合大ニシテ穂切歩合小ナリ。

小谷式自動選別脱穀機

本機ハ下扱式二人用機ニシテ主トシテ木材ヲ用ヒ移送機及昇降器ヲ有セズ。扱胸ハ桎材ヲ用ヒ輕量ニシテ、扱齒ハ麥扱ニハ八番線ヲ稻扱ニハ七番線ヲ用ヒ、逆V字型ニシテ打込トセリ。螺旋型トナリ扱臺ノ高サ低ク作業ニ便ナルモ扱口ノ廣

サ稍小ナリ。全重量小ニシテ全形中庸ナリ。構造簡單ナルモ工作材料一般ニ粗雜ニシテ拔齒ノ取替不便ナルノミナラズ、作業中脱落スル虞レ多シ。運轉試驗ノ結果軸承不良ニシテ主軸稍彎曲シ拔胸横振レヲナシ、第一次試驗ニ於テハ毎時精麥量七六・五貫餘、毎時每馬力精麥量一四二貫弱ニシテ相當大ナルモ選別稍不良ニシテ特ニ排塵口ノ構造上三番口ニ大ナル程切レ排出多シ。第二次試驗ニ於テハ毎時精麥量一一七貫餘、毎時每馬力精麥量一三三貫餘ニシテ效程稍小ニシテ選別亦不良ナリ。

藤井式稻麥兩用脫穀調製機一號型

本機ハ下扱式二人用機ニシテ機枠ノ外ハ鐵板ヲ用ヒ構造一般ニ堅牢ニシテ工作良好ナリ。拔胸ハ「ラワン」材ニ鐵板ヲ被覆シ拔齒ハ七番鋼線ヲ逆V字型ニシテ「ナット」止メトナシ螺旋植トセリ。全重稍重ク全形又相當大ナリ。扱臺ノ高サ稍高キモ扱口ノ大サ適當ナリ。排塵口ニハ鉈狀ノ受齒ノ外格子狀ノ遊動板ヲ備ヘ、且ツ開閉扉ノ位置ニヨリ自動的ニ排塵セラルル如クシ昇降機ノ落口ニハ搖網ヲ附シ、仕上穀粒中ノ穂切稈等ヲ除クガ如クセリ。第一次試驗ニ依レバ毎時精麥量五八・六貫弱ニシテ稍小ナルモ毎時每馬力精麥量ハ九九貫餘ニシテ中位ナリ。脫穀歩合稍不良ナルモ選別良好ナリ。第二次試驗ニ於テハ毎時精麥量一四七貫餘、毎時每馬力精麥量ハ一八三貫餘ニシテ相當大ナリ。選別モ亦二番口ニ稍多量ノ糶ヲ出セル外、一般ニ佳良ナリ。只自動排塵裝置ハ其ノ機能未ダ完全ナラズシテ稍モスレバ受網内ニ塵芥充滿シ脱粒ヲ惡シタスルコトアリ。又昇降器先ノ搖網裝置ノ爲メ音響稍高シ。

第二 動力麥摺機鑑定試驗成績

一 出 品 物

名 稱	價 格	住 所	氏 名
伊藤式麥摺機 B 型	一〇五〇 <small>円</small>	神戸市林田區千歲町四ノ一	日本農機製造株式會社
更生號麥摺機一號 B 型	一〇〇〇	大阪市東成區大今里町五七	東洋農機株式會社
丹羽式動力用麥摺機械	九五〇〇	兵庫三原郡榎列村	丹羽 勢 一
柴田式麥摺機三號型	一三〇〇	岡山市上伊福一八八	柴田農具製作所
寺阪式麥摺機特號	一三五〇〇	大阪市外鳳町	寺阪兄弟商會
野田式特號麥摺機	一〇三〇〇	香川縣綾歌郡西庄村	野田興農商會
藤井式麥摺專用選別機 A 型	一〇〇〇〇	兵庫縣美蓋郡三木町	藤井 巳 之 吉

鑑定試驗ノ申込ヲナシ出品セルモノ次ノ七機ニシテ其ノ名稱等左表ノ如シ。(申込順)

二 供 試 材 料

供試材料ハ昭和十年兵庫縣明石郡玉津村産ノ稈麥紅梅種ヲ使用シ刈取後三日間地干セル後千齒ニテ穂ヲ扱キ落シ其ノ麥穂ヲ更ニ晴天一日間乾燥セリ。紅梅種ハ六條麥ニシテ粗剛ナル中位ノ太キ芒ヲ有シ粒着ハ密ナリ。供試麥穂ニ就キテ調査セル結果ハ次ノ如シ。

試行	機種	試行日	試行時間	試行場所	試行者	試行結果	試行備考
1	伊藤式麥摺機 B 型	1934.10.10	10分	東京農工大学	田中	良好	
2	更生號麥摺機一號 B 型	1934.10.11	12分	東京農工大学	田中	良好	
3	柴田式麥摺機三號型	1934.10.12	15分	東京農工大学	田中	良好	
4	寺阪式麥摺機特號	1934.10.13	18分	東京農工大学	田中	良好	
5	野田式特號麥摺機	1934.10.14	20分	東京農工大学	田中	良好	
6	藤井式麥摺專用選別機 A 型	1934.10.15	25分	東京農工大学	田中	良好	

五 鑑定試験ノ結果

鑑定試験ノ結果適當ナリト認メタル動力麥摺機(申込順)

- 一 伊藤式麥摺機 B 型
- 二 更生號麥摺機一號 B 型
- 三 柴田式麥摺機三號型
- 四 寺阪式麥摺機特號
- 五 野田式特號麥摺機
- 六 藤井式麥摺專用選別機 A 型

六 出品物ニ對スル概評

一、總 評

本試験ニ出品セラレタルモノハ何レモ圓筒型又ハ半圓筒型ノ「クリンブ」網ヲ有スル摺胴内ニ於テ回轉軸ノ周圍ニ植込ミタル鐵杆ヲ以テ麥穗ヲ脱稈スルモノニシテ麥穗ハ穗上昇器ニヨリ機ノ一端ヨリ供給セラレ他端ヨリ穗殻及稈屑ヲ排出シ胴ノ下部ニハ扇風器ヲ備ヘ網目ヲ通シ落下セルモノヲ風選シ稈、塵埃等ヲ除去シテ一番口ヨリ精麥ヲ二番口ヨリ屑麥ヲ夫々排出スルモノナリ。

本試験ニ供用セル麥穗ハ材料ノ都合上僅カニ一機當リ五十貫ニ過ギズ。且其ノ麥ノ品質乾燥程度等大體當地方ノ慣習ニ從ヘルモ一般農家ニ於ケルト多少異ナル點アリ。且機械ノ取扱調節ヲ出品人ニ委ネタル爲勢ヒ效程ニ重キヲ置キ調製ニ粗漏ヲ

生ゼル點無キニシモアラズ。完全ナル成績トハ稱シ難キモ概評ヲ下セバ次ノ如シ。

機體材料竝ニ工作ハ何レモ一般ニ良好ニシテ相當耐久力アルモノト認メラレタルモ中ニハ工作甚ダ粗漏ナルモノヲ見受ケタリ。機體重量竝ニ据付面積ハ移動使用スル事多キガ故ニ可成輕少ナルヲ可トスルヲ以テ一層此點ニ留意スル必要アルベシ。實地運轉ノ結果毎時效程ニ就テハ最小四〇貫弱ヨリ最大八七貫弱ニ達スル大差ヲ見タルモ毎時馬力效程ニ於テハ二〇貫乃至二八貫弱ニシテ大ナル差異ヲ見ズ。一般ニ效程ヲ過度ニ擧ゲントセシモノハ選別不良ニシテ選別ニ重キヲ置ケルモノハ比較的效程ヲ擧ゲ得ザル傾向ヲ見受ケタリ。效程ヲ大ナラシムルト共ニ選別ヲ一層良好ナラシムル様摺胴ノ構造扇風器ノ位置構造等ヲ改良スルヲ要ス。尙原動機ノ餘裕十分アルニ拘ラズ穂上昇降器ノ構造不良ナルタメ麥穗ノ供給量十分ナラズ爲ニ效程甚ダ低下セルモノアリシハ考慮ヲ要ス。

由來麥ノ調製ハ農家ニ於ケル最モ繁忙ナル時期ニ當リ特ニ梅雨期ニ降シテハ最モ迅速ヲ必要トスルヲ以テ近時動力用麥摺機ノ需要ハ一部動力用脫穀機ニヨリ代用セラレツツアルモ效程上尙相當ノ必要ヲ認メラレツツアリ。本試験ニ出品セル七種ノ動力用麥摺機ハ何レモ其ノ成績概ネ良好ニシテ大體ニ於テ實用ニ適スルモノト認メ得ルモ尙一層改良ヲ加ヘ完全ナル機械ノ製作セラルルコトヲ望ム。

二、出品物別概評

次ニ各機ニ付キ概評ヲ下セバ左ノ如シ。

伊藤式麥摺機B型

本機ハ全圓筒型麥摺胴ヲ有シ麥穗ハ主軸ノ下部ヨリ供給セラル。機體容積小ニシテ重量比較的輕ク運搬及据付ニ便ナリ。機體材料良好ナルモ工作稍粗ナリ。運轉試験ノ結果ニ依レバ昇降器ノ構造上麥穗ノ供給量ヲ十分ナラシムル能ハズ。爲ニ所要馬力少キモ毎時效程小ナリ。選別狀態ハ第一口ノ選別良好ナルモ第二口第三口ニ麥穗混入シ又第三口ニ精麥ノ混入ヲ

見タルハ注意ヲ要ス。

更生號麥摺機一號B型

本機ハ半圓筒型ノ摺胴ヲ有シ胴ハ二室ニ分タレ網目ノ大ナ鐵杆ノ形狀配列等第一室第二室ニヨリ異ニス。麥穗ハ主軸下部ヨリ供給セラレ材料工作一般ニ良好ニシテ軸承部金物ニ特殊切刻ヲ附シタル事、扇風器ノ餘風板ヲ全周ニ設ケ唐箕口ノ風量調節ニ便シタル事、或ハ昇降器ニ調節裝置ヲ附セル等考案ノ跡ヲ相當認ム。穗殼ハ附屬閉板ニヨリ機側ノ一部ニ排出シ再調製ニ便セリ。實地試験ノ結果使用容易ニシテ效程特ニ大ナラザルモ選別良好ナリ。

丹羽式動力用麥摺機械

本機ハ半圓筒型摺胴ヲ有シ機體ノ長サ及高サ大ナリ。麥穗ハ昇降器ニヨリ機體上部ヨリ投込マレ精麥ハ中央ヨリ移送機ニヨリテ排出サル。胴ノ直徑大ニシテ動力ヲ要スルコト少ク效程相當大ナルモ摺殘麥多ク摺落率小ナリ。選別裝置不完全ニシテ第二口ニ精麥第三口ニ精麥及屑麥ノ混入多ク選別不良ナリ。運搬及据付ニ稍不便ニシテ材料工作ニハ今一層ノ吟味ヲ要スルモノト認ム。

柴田式麥摺機二號型

本機ハ全圓筒型摺胴ヲ有シ麥穗ハ主軸下側ヨリ投入セラル摺胴ハ四室ニ分レ鐵板製隔壁ノ孔ヨリ漸次脱粒サレツツ送リ出サレ最後ノ室ハ放射狀八本ノ繰出杆ヲ有シ毎分二〇〇回乃至二五〇回ノ回轉數ヲ數ヲ以テ穗殼ヲ繰出ス裝置トセリ。機體ノ製作材料竝ニ工作佳良ニシテ毎時效程稍大ナルモ構造複雜ニシテ重量大ナリ。摺胴ノ覆蓋ヲ固定セル爲メ機體ノ點檢其ノ他手入ニ當リ稍不便ナリ。選別狀態ハ第一口ハ良好ナルモ第二口ニ皮付麥及精麥ヲ稍多量ニ混在セル事ハ注意ヲ要ス。

寺阪式麥摺機特號

本機ハ全圓筒型摺胴ヲ有シ麥穗ハ昇降器ニヨリ主軸ノ上ヨリ投込マル。摺胴ノ長サ大ニシテ据付面積大キク穗上昇降器モ長大ナルヲ以テ運搬及据付ニ稍不便ナリ。實地試験ノ結果毎時竝毎時每馬力效能大ニシテ選別狀態一般ニ良好ナリ。

野田式特號麥摺機

本機ハ全圓筒型摺胴ヲ有シ麥穗ハ主軸下側ニ送込マル。摺胴ノ直徑大ニシテ回轉胴鐵杆ニハ双ヲ附シ脫粒ニ便セリ。穗上昇降器ハ傾斜角度小ニシテ「バケツト」ノ代リニ鐵角棒ヲ附セリ。選別第二口ニハ風量調節器ヲ附シ風量ノ均等ヲ期シ尙下部ニ搖動式篩網ヲ附セリ。實地試験ノ結果摺落率高ク毎時竝毎時每馬力效能大ナリ。選別狀態ハ第一口ニ麥穗及稈屑第二口ニ皮付麥ノ混入アリ稍不良ナリ。

藤井式麥摺專用選別機A型

本機ハ全圓筒型摺胴ヲ有シ麥穗ハ昇降器ニヨリ主軸ノ下部ヨリ供給セラレ。形體重量共ニ比較的小ニシテ運搬竝据付ニ便ナリ。回轉胴軸ハ入口ヨリ出口ニ至ルニ從ヒ漸次太クシ全面ニ於ケル作業能率ノ齊一ヲ計レリ。實地試験ノ結果昇降器稈ノ高サ低キ爲麥穗供給量妨ゲラレ十分ナル效能ヲ擧ゲ得ズ且第一口ニ屑麥第二口ニ稈屑ノ混入多ク選別稍不良ナリ。製作材料工作ハ良好ナリ。

唐箕
萬石
縱線選穀器

鑑定試驗成績

佐賀縣立農事試驗場

第一 唐箕鑑定試験成績

名	稱	價 格	住 所	氏 名
大	西式唐箕	一六〇〇	熊本縣下益城郡豊田村	大 西 秀 義
大	屋式更生號唐箕	三〇〇〇	熊本縣上益城郡御船町八四一	合名會社 東 洋 社
山	田式輕便唐箕	一三〇〇	佐世保市俵町六八	平 山 兼 吉
小	島式改良唐箕	一六〇〇	熊本縣八代郡植柳村一四〇〇	小 島 治 平
昭	和式小型輕便唐箕	一五〇〇	山口縣熊毛郡島田村一八四九	太 田 農 具 製 作 所
安	野式小型唐箕	一六〇〇	愛媛縣越智郡小西村一七	安 野 龜 松
大	正式唐箕朝日號	二〇〇〇	京都府相樂郡川西村	山 際 正 次
島	本式唐箕	一八〇〇	德島市南法華大橋際	島 本 德 一 郎
小	佐々式小型改良唐箕	一〇〇〇	長崎縣西彼杵郡瀬戸町二三六五	小 佐 々 藤 吉

二 供試材料

供試材料ハ本縣獎勵品種タル水稻神山種ニシテ佐賀市神野町附近ニ於テ地味相似タル土地ノ昭和九年産米ナリ。病害蟲、風害等殆ドナク、概シテ順調ニ生育シ充實普通ニシテ供試材料トシテ適當ト認メラレタリ。本種ハ極メテ稀ニ短芒ヲ有シ粒形中粒ニ屬シ脱粒容易ナリ。而シテ脱穀ハ人力用回轉脱穀機ヲ以テ行ヒ一・二平方糶目ノ篩ニテ穗切、稈層等ヲ除去シ細キ稈層

名	解	再選別物重量	同上	再選別物重量
大正式唐箕
安野式小型唐箕
小島式改良唐箕
大屋式更生號
島本式唐箕

五 鑑定試験ノ結果

鑑定試験ノ結果適當ナリト認メタル唐箕（申込者いろは順）

名	稱	住	所	氏	名
大屋式	更生號	熊本縣上益城郡御船町八四		合名會社	東洋社
小島式	改良唐箕	同	八代郡植柳村一四〇〇	小島	治平
安野式	小型唐箕	愛媛縣越智郡小西村一七		安野	龜松
大正式	唐箕朝日號	京都府相樂郡川西村		山際	正次
島本式	唐箕	徳島市南法華大橋際		島本	徳一郎

六 出品物ニ對スル概評

大西式唐箕

本機ハ全高一・二五米（四尺餘）全長一・九五米（六尺四寸）全重量約三〇疋（約八貫）ニシテ大型ニ屬シ、漏斗稍高キ感アリ。漏斗下落下口開閉板ハ片蝶番狀ヲナシ複式（第一圖C）ニシテ各軸ノ一端ニハ互ニ嚙ミ合ヒタル扇狀有齒板ヲ備ヘ、之ヲ回轉スレバ開閉板ハ開閉ス。又開度ノ調節ハ一方ノ有齒板ノ下端部ヲ支フル楔形鈎ヲ左右ニ動シテ行フ（第二圖F）。送風口ハ稍廣ク且ツ位置高キ方ニ屬シ風胴ハ斷面略方形ニシテ長ク内部廣シ。第一口ト第二口ノ境界及ビ第二口ト第三口トノ境界ニハ夫々山型調節板アリ。

前後ニ移動シ各受口ノ幅ヲ調節ス。第一口ノ樋ニ金網ヲ萬石狀ニ裝置シ得ル如クシタルハ有意義ト認ムルモ其ノ作用完

全ナラズ。羽根車軸ニ「ボールベアリング」ヲ用ヒ回轉輕キモ傳動裝置ハ直接把手式ニシテ更ニ適切ナル構造ニ改ムルヲ要ス。材料工作等ニ付キテモ一層ノ改善ヲ要ス。第三口ニ於ケル風速ヲ見ルニ、上部三七秒米ニシテ中部以下ニハ選別ニ充分ナル風速ナク下部ニ於テハ逆風ヲ認ム。糶及摺落糶ノ選別狀態ヲ見ルニ何レニ於テモ第一口ニ不完全糶或ハ不完全米ノ混入量稍多ク、又第二口ニ糶屑或ハ稗等ノ混入著シク從ツテ第三口ノ選別物全量少シ。斯ノ如キ結果ハ前述ノ風量ニ基クモノニシテ成績稍不良ナリ。

六屋式更生號唐箕

本機ハ全高、全長共二・三米餘(約四尺)ニシテ全重量三六疋(九・六貫)アリ。稍大型ニ屬シ、漏斗ノ位置稍高シ。漏斗下落口ノ開閉板ハ一對ノ片蝶番狀板ニシテ觀音開キ式ナリ。蝶番狀板(第一圖D)ノ軸ノ一端ニハ夫々鐵桿ヲ取付ケ楔形鈎ヲ以テ開閉ス。鼓胴(第二圖E)ハ圓形ニシテ中心ニ鑄鐵製柄ヲ有スル羽根車ヲ備ヘ軸ハ丸鐵棒ナリ。送風口ハ羽根車ノ軸ヲ通ズル水平線ヨリ下方ニ位シ、矩形ヲナス。風胴ハ斷面矩形ニシテ大サ中等ナリ。第一口ト第二口トノ境界及ビ第二口ト第三口トノ境界ノ調節ハ夫々帶鐵ヲ捻リタル螺旋仕掛ニヨリ境板ヲ上下シテ行フモノニシテ取扱簡便ナレ共構造堅牢ナラサル嫌アリ。第一口ノ樋ノ底板ヲ金網ト交換シ此ノ勾配ヲ適宜調節シ得ラルル如クセルハ玄米調製上適切ナリト認メラル。羽根車ノ傳動裝置ニハ鑄鐵製ノ小齒車ト内齒車ヲ用ヒ其ノ速比ハ二・二倍ナリ。尙材料工作共ニ普通ナリ。次ニ第三口ニ於ケル風速ハ上部最モ高ク毎秒四米内外ニシテ下部ニ於テハ無風乃至ハ逆風トナル。而シテ口ノ中央ハ左右ニ比シ風速低キ傾向アリ。更ニ選別狀態ヲ見ルニ第一口及ビ第三口ハ概シテ選別良好ナレ共第二口ニ完全米稍多ク混入ス。之等ハ主トシテ境板ニ打當リタル糶或ハ玄米ノ飛散ニ基クモノニシテ將來改善ヲ要ス。成績ハ概シテ良好ナリ。

山田式輕便唐箕

本機ハ全長全高共二・一三米(三尺七寸餘)全重量一七・四疋(四・五貫)ニシテ最モ小型ニ屬シ移動ニ便ナレ共、漏斗ハ容量一斗五升内外ニ過ギズ。過小ナル感アリ。漏斗下落口開閉板ハ片蝶番狀板(第一圖A)ニシテ其ノ軸ニ直角ニ取付ケタル狀柄及ビ柄ノ一端ヲ支フル弧狀ノ刻ミ板(第二圖D)ニヨリ開閉調節スルモノナレ共構造完全ナラズ使用中移動スルコトアリ。鼓胴ハ圓形ニシテ小サク中心ニ亞鉛引鐵板製羽根四枚ヲ有スル羽根車ヲ備フ。送風口ハ矩形ニシテ位置稍高ク風胴ハ斷面矩形ニシテ長サ四四種ニ過ギズ。第一口ト第二口トノ境界ニハ片蝶番狀板ヲ設ケ半徑狀柄ニヨリ調節ス。羽根車ノ傳動裝置ハ小齒車ト内齒車式ニシテ速比二・八倍ナリ。尙把手ハ稍重ク使用ニ際シ噪音高シ、材料工作概シテ良好ナラズ。第三口ニ於ケル風速ヲ調査セルニ上部最モ高ク毎秒四・五米内外ニシテ下部ニ至ルニ從ツテ低下スルコト著シク下部ニハ稍強キ逆風アルヲ認ム。又左側ハ右側ニ比シ風速稍低キ傾向アリ。次ニ各口ニ於ケル選別狀態ヲ見ルニ第一口ニ糶屑或ハ不完全米等ノ殘存多ク、且ツ第二口ニ糶屑或ハ稗等ノ混入比較的多ク選別狀態不良ナリ。

小島式改良唐箕

本機ハ全長一・五二米(約五尺)幅〇・七八米(二尺五寸)ニシテ大型ニ屬スルモ高サ一・二五米(三尺七寸)全重量ハ三四疋(八貫餘)ニシテ普通ナリ。漏斗ハ容量大キク機體ト一體ニシテ取外シ不能ナルモ落下口ノ開閉ハ漏斗ノ下部ノ側面ニ下方ニ向ケテ取付ケタル一枚ノ片蝶番狀板(第一圖B)ヲ以テ行ヒ糶屑、稗等ノ爲ニ詰ルコト殆ドナク落下容易ナリ。尙開度ノ調節ハ開閉板ノ軸ニ付ケタル半徑狀柄ト弧狀刻ミ固定板(第二圖C)トニヨリ行ヒ調節確實ナリ。被選別物ハ風向ニ沿ヒタル斜面ヨリ落下シ落下口下ニ於テ風向ト反對方向ニ傾斜セシメテ裝置セル有孔鐵板(穀粒選別板)ニ當リ送風口ヨリノ風ニヨリ輕キモノハ吹揚ゲラレ有孔鐵板ノ上縁ヨリ飛バサレ重キモノハ其ノ斜面ニ沿ヒテ第一口ニ落下ス。鼓胴ハ圓形ニシテ羽根車ノ軸ハ中心ニアリ。又吸氣口ハ兩側ノ中央ニアリテ圓形ニシテ稍大ナリ。送風口ハ鼓胴ノ前方下部ニ開キ高サ約三〇種、幅五〇種餘ニシテ矩形ヲナシ風胴トノ中間一五種内外ノ間隙アリテ之ヨリ外氣ヲ誘導ス。風胴ハ幅廣ク、高サ低ク斷面扁平ニシテ長サハ中等ナリ。風胴ニハ調節裝置ナキモ第一口ト第二口トノ境界ニハ其ノ必

要ヲ認ム。材料工作概シテ良好ニシテ耐久力ニ富メルガ如シ。

第三口ニ於ケル風速ハ他機ト同様ニ上部高ク毎秒三・五米ヲ示シ下部稍低キ傾向アルモ其ノ變化比較的少ク最下部ト雖モ毎秒二乃至三米ノ風速アリ。次ニ選別状態ヲ見ルニ第一口ハ秕屑或ハ不完全米等ノ混入量少ク選別良好ナレ共第二口ニハ相當量ノ不完全米秕等出ヅルモ多少ノ完全米或ハ完全米ノ混入アルヲ認ム。尙第三口ノ選別状態モ佳良ニシテ概シテ成績良好ナリ。

昭和式小型輕便唐箕

本機ハ全長〇・九四米(三尺餘)全高一・一九米(四尺)全重量約二〇疋(五貫餘)ニシテ小型ニ屬ス。漏斗ハ容量二斗六升餘ニシテ大サ普通ナリ。漏斗下落口ノ開閉板ハ片蝶番狀板(第一圖A)ニシテ半徑狀柄竝ニ二リ鈎ヲ以テ開閉調節ス(第二圖B)。而シテ穂切稈等ノ落口ニ詰リ落下ヲ妨クルコトアルヲ以テ注意ヲ要ス。鼓胴ハ圓形ニシテ中心ニ羽根車ヲ備ヘ送風口ハ羽根車ノ軸ヲ通ズル水平線ヨリ稍上位ニアリテ矩形ヲナシ高サ一〇糎餘ニ過ギズ狭小ナリ。風胴モ各部ニ於ケル高サ低ク斷面矩形ヲナシ長サ四八糎ニシテ長カラズ。又漏斗下落口ノ下部ニ鐵板ヲ張リタル片蝶番狀ノ整流板アリ。落下口ノ開閉板ト同様ノ機構ニヨリ傾斜角度ヲ變ヘ被選別物ノ落下状態ヲ調節スルモノナレ共効果顯著ナラザルガ如シ。羽根車軸ノ傳動裝置ハ大小二個(徑二三糎、徑六糎)ノ木製溝調車ト丸「ベルト」ニヨルモ「ベルト」ノ滑ル虞レアリ。尙第一口ノ樋先ハ方向ヲ前後取替ヘ可能トス。材料工作不可ナラザレ共構造ニ付テハ更ニ改善ノ餘地尠カラズ。

安野式小型唐箕

第三口ニ於ケル風速ハ上部ニ於テ毎秒四米内外ヲ示シ、下部ニ至ルニ從ツテ遲緩スルコト竝ニ左側ガ右側ニ比シ風速遲キコト等他ニ於テ見ラルル傾向ト同様ナリ。次ニ各口ニ於ケル選別状態ヲ見ルニ第一口ノ選別不充分ニシテ秕屑不完全米或ハ不完全米秕等ノ殘存セルモノ稍多キヲ認メ其ノ他ノ口ニ於テハ概シテ不可ナラザルガ如キモ成績良好ナラズ。

本機ハ全長〇・九四米(三尺餘)全高約一・一九米(約四尺)全重量一九疋(約五貫)ニシテ小型ニ屬ス。漏斗ハ比較的大型ニシテ容量大ナリ。漏斗下落口ノ開閉板ハ片蝶番狀板(第一圖A)ニシテ半徑狀柄ト左右ニ摺動スル楔形鈎(第二圖A)ニテ開閉調節ス。

鼓胴ハ渦卷形ヲナシ羽根車ノ軸ヲ偏心トシ特ニ上方ニ取付ケ送風口寄リノ下部ニ鐵板ヲ以テ兩側ヨリ互ニ中央ニ向ケ三條ノ送風案内ヲ設ケ、風速ノ均衡ヲ圖レルハ見ルベキ點ナリ。吸氣口ハ圓形ニシテ比較的大キク送風口ハ矩形ニシテ稍廣ク羽根車軸ヲ通ル水平線ヨリ下方ニ開口シ風ハ下方ヨリ吹揚ゲラル感アリ。風胴ハ長サ四七糎ニシテ第一口ト第二口ノ境界ニ内方ニ彎曲セル片蝶番狀板ヲ裝置シ「リンク」仕掛ニヨリ第一口ノ受幅ヲ調節ス。羽根車ノ傳動裝置ハ鑄鐵製ノ小齒車ト内齒車式ナリ。材料、工作不可ナラズ。

第三口ノ風速ハ上部毎秒四米内外ニシテ高ク下方ニ下ルニ從ヒ風速ノ低下スルコト他機ノ場合ト異ラザレ共、其ノ低下比較的小キガ如シ。尙同一高サニ於テハ右側ノ風速稍高キ傾向アリ。

次ニ各口ノ選別状態ヲ見ルニ第一口ニハ秕屑不完全米或ハ不完全米等ノ混入量比較的少ク選別佳良ナルモ第二口ハ完全米或ハ完全米ノ混入量稍多キ爲選別状態良好ナラザル嫌アリ。又第三口ノ選別ハ良好ニシテ概シテ成績佳良ナリ。

大正式唐箕朝日號

本機ハ全長約一・五二米(五尺)高サ一・二五米(四尺)全重量四二疋(一一貫)ニシテ大型ニ屬シ漏斗ハ容量三斗九升ニシテ稍大キク落下口開閉板ハ片蝶番狀板(第一圖A)ニシテ半徑狀柄ト楔形鈎(第二圖A)ニテ調節ス。鼓胴ハ圓形ニシテ羽根車軸ハ其中心ニアリ。送風口ハ羽根車ノ軸ヲ通ズル水平線ヨリ稍低キ位置ニアリ高サ一八糎ナリ。羽根ハ一枚ノ幅廣キ柄ヲ有シ高サ約二四糎ニシテ稍高シ。風胴ハ長サ六二糎、高サ二七糎内外ニシテ内部廣シ。落下口ノ下ニハ鐵板ヲ張リタル片蝶番狀ノ整流板アリ。半徑狀柄及ビ小突起刻ミ板ニテ傾斜角度ヲ調節スル如クセルモ其ノ効果顯著ナラザルガ

如シ。第二口ト第三口トノ境界ニハ内側ニ傾斜シテ立チタル片蝶番狀板アリ。半徑狀柄及ビ弧狀ノ小突起刻ミ板ニヨリ調節ス。羽根車軸ノ傳動裝置ハ小齒車ト内齒車式ナレ共取付完全ナラズ使用ニ際シ噪音稍高キ感アリ注意ヲ要ス。各部ノ材料稍過大ナレ共工作概シテ良好ニシテ耐久力ニ富ムガ如シ。第三口ニ於ケル風速ヲ見ルニ上部毎秒四―五米ニシテ高ク下部ニ至ルニ從ヒ低下ス。又右側ハ左側ニ比シ風速稍高キ傾向アリ。下部ニ於テモ逆風ヲ認メズ。更ニ各口ニ於ケル選別狀態ヲ視フニ第一口及第三口ハ概シテ選別佳良ナルモ第二口ニ秕屑或ハ稗等混入セルハ遺憾トス。選別成績普通ナリ。

島本式唐箕

本機ハ全長一・六五米（五尺四寸）全高一・四〇米（四尺六寸）全重量（三三・二疋）（九貫）ニシテ最モ大型ニ屬ス。漏斗ハ容量三斗ニシテ稍大ナリ。漏斗下落口ノ閉閉板ハ片蝶番狀（第一圖A）ニシテ半徑狀柄及ビヒリ鉤（第二圖B）ニヨリテ調節ス。鼓胴竝ニ羽根車ハ直徑大ニシテ軸ハ鼓胴ノ中心ニアリ。羽根ハ無柄ニシテ長方形ヲナシ半徑約四七種ナリ。落下口下ニハ片蝶番狀ノ整流板アリ。半徑狀柄及ビ小突起刻ミ板ニヨリ調節ス。其ノ他ノ調節裝置ナシ。羽根車ハ軸ヲ中心ニ渦卷狀ニ曲ゲタル把手ニヨリ直接廻轉ス。材料、工作良好ナレ共構造上特ニ見ルベキ點ナシ。第三口ニ於ケル風速ハ上部ニ在リテハ、相當高ク毎秒四米内外ナルモ下方ニ及ビ從ヒ低下シ最下部ニ在リテハ逆風ヲ認ム。次ニ選別狀態ヲ見ルニ第一口ノ選別ハ稍不充分ノ感アレ共、第二、第三口ノ選別狀態ハ普通ナリ。而シテ機體大形ニシテ取扱ニ多少ノ不便ナキニアラザレ共成績概シテ普通ナリ。

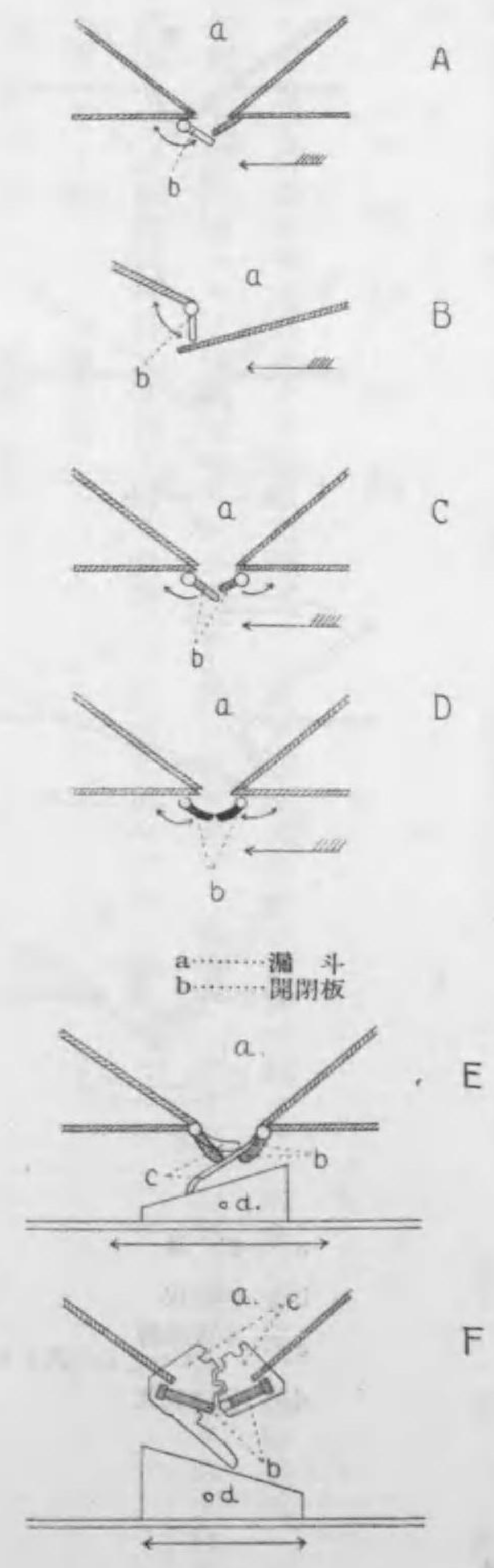
小佐々式小型改良唐箕

本機ハ全長一・〇〇米（三尺三寸）全高一・一五米（三尺八寸）全重量一七・二疋（四・六貫）ニシテ最モ小型ニ屬ス。漏斗ハ容量一斗五升ニシテ極メテ小ナリ。漏斗下落口ノ閉閉板ハ片蝶番狀（第一圖A）ニシテ半徑狀柄トヒリ鉤（第二圖B）

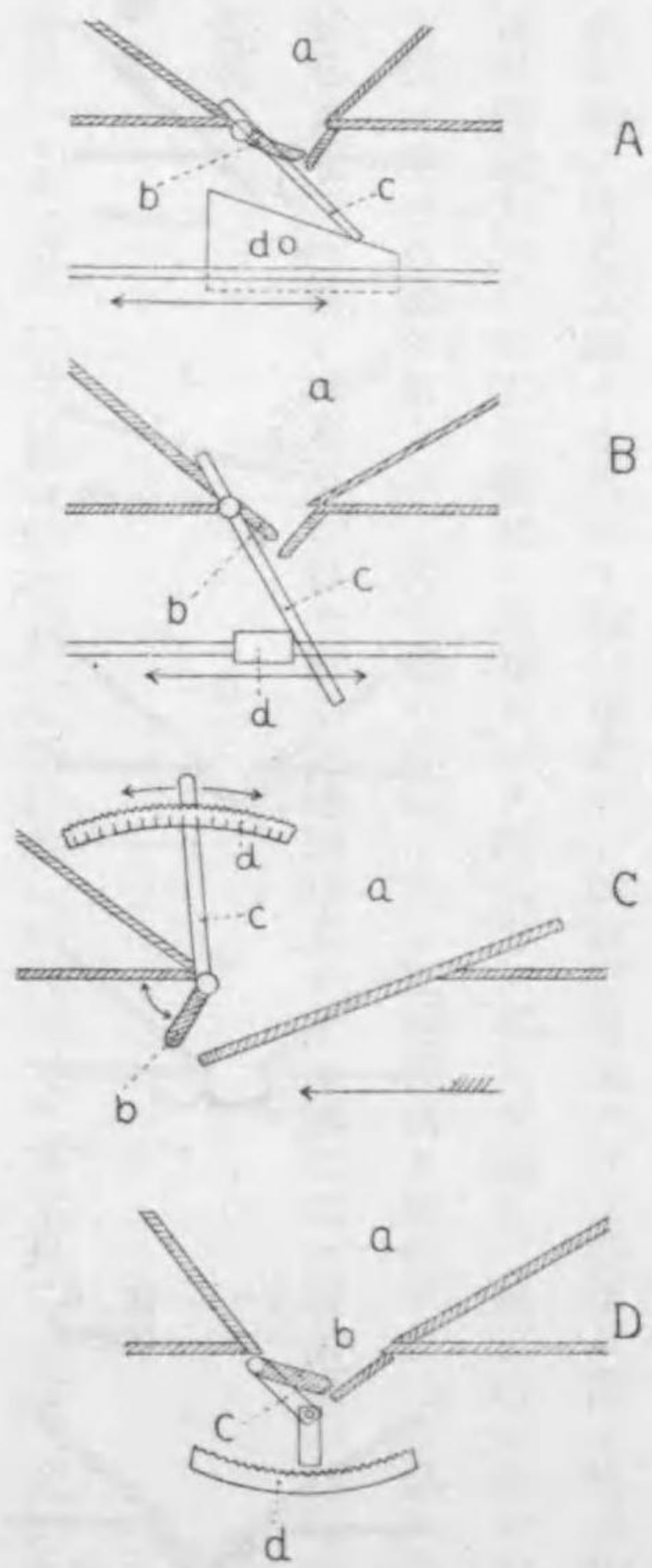
ヲ以テ開閉調節ス。鼓胴ハ直徑比較的大ナレ共吸氣口稍狭キ感アリ。羽根車ハ無柄ニシテ略方形ノ羽根四枚ヲ有シ鼓胴ノ中心ニアリ。送風口ハ矩形ニシテ羽根車軸ヨリ稍廣シ。風胴ハ高サ普通ナレ共長サ四一・五種ニ過ギズ。漏斗ノ落下口ノ直下ニハ片蝶番狀ノ整流板ヲ備ヘ半徑狀柄及ビヒリ鉤ヲ以テ調節ス。而シテヒリ鉤ノ構造脆弱ナル嫌アリ。羽根車ノ傳動裝置ハ小齒車ト内齒車ニ依ル。材料工作不可ナラザレ共構造ニ付キテハ改善ノ餘地多々アリト認ム。第三口ノ風速ハ上部ニ於テハ毎秒四・四米ヲ示シ下部ニ從ヒ低下シ下部ニ在リテハ毎秒〇・四―一・四米トナルモ逆風ハ認メラレズ。又右側ハ左側ニ比シ著シク風速高キ傾向アリ。

各口ニ於ケル選別狀態ヲ見ルニ第一口第二口共ニ選別不良ナリ。就中第二口ニ秕屑或ハ稗等ノ混入著シク、爲メニ之等第三口ニ選出サルル量極メテ少ク選別成績不良ナリ。

第一圖 漏斗下落口開閉部ノ横斷面



第二圖 落下量ノ調節装置ノ横断面



a……板漏
 b……閉開板
 c……半徑狀柄
 (又ハ之レニ代ルモノ)
 d……固定装置

第二萬石鑑定試験成績

一 出品物

名	稱	價 格	住 所	氏 名
大屋式	昭和號萬石篩	一六〇 ^円	愛知縣西春日井郡枇杷島町二七	大屋丹藏
朝日式	天授號四重萬石	一七五〇	新潟縣西蒲原郡小池村五四八〇	山崎甚八
藤井式	早分三重萬石	一〇五〇	山口縣熊毛郡三丘村三四八	藤井貞太

二 供試材料

供試材料ハ佐賀市神野町附近ニ於ケル地味相似タル土地ノ昭和九年産水稻神山種トス。病蟲ノ被害、風害等殆ドナク、概シテ順調ニ生育シ充實普通ニシテ供試材料トシテ適當ト認メラレタリ。糶摺ハ「ロール」型野田式糶摺機ヲ以テ行ヒ調査用唐箕ヲ以テ選別セリ。尙供試材料ノ性状ニ付キ調査セル成績ヲ示セバ次ノ如シ。

品 種 名	神 山 種
芒ノ有無長短	極稀、短芒
粒ノ大小及ビ形状	中粒、中
完全米千粒重量	二四・八瓦(千粒一〇回測定平均)

長サ	五・二耗
米粒幅	三・一耗 (完全粒二〇〇粒調査ノ平均)
厚サ	二・二耗
肌摺ノ多少	微

脱 秤 率

第一次試験 七七・六% (一斗宛三回測定ノ平均)

第二次試験 七二・六% (同)

含有水分量 一三・八% (ブラウンデユウベル氏水分檢定器ニヨル三回測定平均)

一升重量 三六〇匁 (一・三五〇瓦) (硝子楯ニヨル一〇回測定ノ平均)

三 試驗方法

試驗ニ際シテハ床上ニ藁ヲ敷キ其ノ上ニ供試器ヲ安置シ唐箕ノ場合ト同様ニ先ヅ豫備材料ニヨリ充分萬石ノ各部ヲ調節シ最モ適當ト認ムル状態ヲ決定シ周圍ニ飛散セル豫備材料ヲ清掃ノ上再ビ前ノ状態ニ裝置シ試驗ニ着手セリ。而シテ第一次試験ニハ一回流下ニヨル選別状態ヲ調査シ第二次試験ニハ、第一、第二及ビ第三口ニ流下セル未選別材料ヲ繰リ返シ繼續流下セシメ、選別状態竝ニ効程ヲ調査セリ。

第一次試験ニ於テハ特定農夫ヲシテ側方ニ準備セル材料ヲ漏斗ノ空ニナラザル様逐次箕ヲ以テ投入セシメ、而シテ最初折返シ網面上 (仕上米網) ニ材料ノ充滿スル迄ハ網下ニ平キ容器ヲ置キ落下材料ヲ受取ラシメ未選別材料ニ混合シ再度漏斗ニ投入シタリ。而シテ第一次試験ニ於テハ各口ニ落下セル材料ヲ其ノ儘容器ニ採リ、各網面上ニ殘レルモノハ最後ニ叩キ落シ

殘量トセリ。尙第二次試験ニ於テハ前記ノ如ク第一、第二及ビ第三口ニ落下セル未選別物ヲ箕ニテ掬ヒ取り漏斗内ノ粒ガ最初ニ空ニナル迄繰リ返シ漏斗ニ投入シ出來ル丈ケ作業ヲ續ケタリ。

斯クシテ得タル各口ノ選別物ハ調査用萬石ニ依リ粒及ビ玄米ニ大別シ更ニ特定農夫ヲシテ夫々篩ニヨル中寄セ、篩別或ハ手選等ニヨリ粒、完全米、不完全米、碎米ニ區別セシメタリ。

藤朝	井日	仕上米量	毎時効程	第一網面	第一網面有効面積百平方糎當
四・九	四・九	三・三	三・三	三・三	三・三
四・九	四・九	三・三	三・三	三・三	三・三
四・九	四・九	三・三	三・三	三・三	三・三
四・九	四・九	三・三	三・三	三・三	三・三
四・九	四・九	三・三	三・三	三・三	三・三
四・九	四・九	三・三	三・三	三・三	三・三
四・九	四・九	三・三	三・三	三・三	三・三
四・九	四・九	三・三	三・三	三・三	三・三
四・九	四・九	三・三	三・三	三・三	三・三

各口ニ於ケル選別状態

藤朝大井日屋	名稱	第一口				第二口				第三口				第四口			
		全重量	再選別重量	同百分比	残	全重量	再選別重量	同百分比	残	全重量	再選別重量	同百分比	残	全重量	再選別重量	同百分比	残
一・三〇	第一口	一・三〇	一・三〇	一〇〇%	〇	一・三〇	一・三〇	一〇〇%	〇	一・三〇	一・三〇	一〇〇%	〇	一・三〇	一・三〇	一〇〇%	〇
一・三〇	第二口	一・三〇	一・三〇	一〇〇%	〇	一・三〇	一・三〇	一〇〇%	〇	一・三〇	一・三〇	一〇〇%	〇	一・三〇	一・三〇	一〇〇%	〇
一・三〇	第三口	一・三〇	一・三〇	一〇〇%	〇	一・三〇	一・三〇	一〇〇%	〇	一・三〇	一・三〇	一〇〇%	〇	一・三〇	一・三〇	一〇〇%	〇
一・三〇	第四口	一・三〇	一・三〇	一〇〇%	〇	一・三〇	一・三〇	一〇〇%	〇	一・三〇	一・三〇	一〇〇%	〇	一・三〇	一・三〇	一〇〇%	〇

五 鑑定試験ノ結果

鑑定試験ノ結果適當ナリト認メタル萬石 (申込者いろは順)

名	稱	住	所	氏	名
大屋式昭	昭號萬石篩	愛知縣西春日井郡西枇杷島町二七		大屋	丹藏
朝日式天授	號四重萬石	新潟縣西蒲原郡小池村五四八〇		山崎	甚八
藤井式早分	三重萬石	山口縣熊毛郡三丘村三四八		藤井	貞太

六 出品物ニ對スル概評

大屋式昭和號萬石篩

本器ハ全高一・三四米(四尺四寸)全長一・〇五米(三尺五寸)幅〇・六九米(二尺二寸)總重量二・三九疋(約六貫)ニシテ大サ普通ナリ。又漏斗ハ容量一斗七升ニシテ大サ適當ナリト認ム。漏斗下閉閉板ハ引出ニシテ帶鐵ヲ捻リテ作レル螺旋及ビ之ニ嚙ミ合フ如ク裝置セル突起ニヨリ開閉スルモノニシテ開閉容易ナリ。(第一圖F)

使用網面數ハ三枚ニシテ第三網面ニハ一枚ノ換網アリ。各網面ノ大サニツキテ見ルニ第二網面ハ長サ九〇・五糎、幅三七・五糎面積約三四〇〇平方糎ニシテ第三網面ハ第一網面ト幅同一ナレ共長サ五九・五糎面積約二二五〇平方糎ナリ。第二網面ハ第三網面ヨリ稍短小何レモ大サ普通ナリ。次ニ各網面ノ網目ノ大サヲ見ルニ第一網面ハ縦目七・六目(一寸間ノ目數以下同様)ニシテ横目ハ上部ノ三分ノ二、六・八目、下部ノ三分ノ一ハ五・〇目ニシテ適當ト認メラル。第三網面ハ何レ

モ縦目ハ七・六目ニシテ横目ハ一枚ハ七・〇目、他ノ一枚ハ七・四目ナリ。第二網面ハ（碎米用）ハ縦目九・四目、横目九目ナリ。而シテ第三網面ノ上端及ビ下端ヲ特ニ細目トナシ玄米中ニ粗ノ混入スルヲ防止セリ。各網線ハ二四番ノ銅線ナリ。網面ノ緊張ハ各網面ノ裏面ニ装置シタル十字型ノ突張りニヨリ、楔ノ締メ加減ニヨリ略均等ニ且ツ簡易ニ調節スルヲ得ベシ。

第一及第二網面ノ勾配ノ調節ハ第一網面ノ先端ノ固定位置ヲ上下シ或ハ後方ニ装置セル一本ノ螺子ニ依リ前方ヲ支點トシテ漏斗ト共ニ網面ノ後方ヲ押シ揚ゲテ行ヒ又第三網面ハ螺子ニヨリ、伸縮シ得ル吊鉤ニヨリテ調節ス。第二網面ニハ單獨ノ調節装置ナシ。各網面ノ勾配調節範圍ハ第一面及第二面ハ三〇・五度―三六・〇度、第三面二四・五度乃至三五・〇度ニシテ相當廣キモ更ニ緩勾配トシテ使用シ得ル様改善ヲ要ス。材料工作概シテ良好ナリ。

而シテ使用試験ノ成績ヲ見ルニ第一網面ノ流下良好ニシテ第一口ヘノ流下量少キモ玄米ノ混入スルコト比較的多ク又第二口ヘノ流下量多キ感アリ。第三網面ハ勾配ノ調節容易ニシテ仕上米ノ選別状態普通ナリ。

朝日式天授號四重萬石

本器ハ全高一・二八米（四尺二寸）全長一・一八米（三尺五寸）幅〇・六五米（二尺一寸餘）全重量三〇・五疋（約八貫）ニシテ大サ普通ナリ。漏斗ハ容量一斗餘ニ過ギズ稍小ナルガ如シ。漏斗下閉閉板ハ引出式ニシテ閉閉板ノ下部ニ之ニ平行ノ軸ヲ装置シ軸ニ二本短カキ支桿ヲ付シ先端ヲ閉閉板ノ後方ノ程ト組ミ合セ把手ニヨリ軸ヲ回轉シテ閉閉ス。使用容易ナリ。使用網面數ハ四枚ニシテ何レモ幅四八種内外ナリ。第一網面ノ有効面積ハ長サ九四種幅四一種面積約三八五〇平方種ニシテ稍大ナリ。又第二第三網面ノ幅ハ第一網面ト略同一ナレ共稍短ク六三乃至六五種、有効面積二七〇〇―二六〇〇平方種ニシテ第一網面ノ約三分ノ二ナリ。又第四網面ノ（碎米網）廣サハ第二網面ノ三分ノ二餘ナリ。次ニ各網ノ網目ノ大サヲ見ルニ第一網面ハ縦目七・六目ニシテ横目ノ上中部六・二下部五・〇目ニシテ稍大ナリ。第二網面ハ縦目七・五目横目六・

六目ニシテ第三網面ハ縦目七・六目、横目六・六乃至七・〇及ビ横目七・五目ノ二枚アリ。又碎米用網面ハ縦目九・〇目ニシテ方形ヲナス。各網面ノ線ハ何レモ銅線ニシテ第一網面ニハ二四番線、第二網面、第三網面ハ二五番線、第四網面（碎米用）ニハ二六番線ヲ用ヒタリ。

網面ノ緊張装置ヲ缺キタレ共使用中ニハ網面次第ニ弛緩シ選別ヲ阻害スルコトアルベキヲ以テ之レガ緊張方法ニツキ考究ノ必要アリ。而シテ本器ハ折返シ式ニヨラズシテ四枚ノ網面ヲ何レモ第一網面ト同一斜面ニ重ネ合セタルヲ以テ未選別物ノ流出口一個所少ク從ツテ作業簡單ナリ。各網面ノ勾配調節方法ヲ見ルニ第一網面ハ上端ヲ支點トシテ下端ヲ紐ニテ吊リ鐵棒ニ卷キテ上下シテ調節シ反轉ヲ防グタメ「ラチエツト」ヲ附ケタリ。其ノ他ノ網面ハ上部ノ裏面ニ裝置セル二本ノ螺子ヲ以テ押上ゲ調節シ第二、第三兩網面ハ更ニ上端ノ兩側ニ楔ヲ挟ミテ調節ス。而シテ網面ノ勾配調節範圍ハ第一網面三四度―三六度、第二、第三網面三〇度―三六度、第四網面（碎米用）ハ三六度乃至三八度ニシテ何レモ調節範圍極メテ狭ク概シテ急勾配ニシテ適應範圍狭シ。尙材料不可ナラザレ共構造及工作ニ付キテハ更ニ改善ノ餘地アリ。就中網面ノ勾配調節部圓滑ナラザルヲ以テ一層工夫シ改善スルヲ必要トス。次ニ選別状態ヲ見ルニ第一口ヘノ流出全量ハ稍少ク、粗ノ歩合高ク、第四口（玄米口）ノ全量多クシテ効程高キモ他器ニ比シ僅カニ粗ノ混入多キガ如ク又碎米口ニ落下スル玄米量稍多キ嫌アリ。而シテ網面ノ勾配ヲ改善セバ實用上支障ナキモノト認メラル。

藤井式早分三重萬石

本器ハ全高一・二五米（四尺餘）長サ一・二〇米（四尺餘）幅〇・六一米（二尺餘）全重量二六・三疋（六貫餘）ニシテ大サ普通ナリ。漏斗ハ容量一斗ニシテ稍小ナル感アリ。漏斗下閉閉板ハ直接引出式ニシテ溝ノ間隙過大ニ失シ爲ニ閉閉圓滑ナラザルコト有リ。使用網面數ハ三面ニシテ折返シ式ナリ。第一網面ハ上、下二枚ヨリ成リ、其ノ長サハ上部七〇種、下部三一種ニシテ全長約一米ナリ。而シテ各網面ノ有効面積ハ第一網面ニアリテハ幅三九種、長サ九四・五種、面積約三七

〇〇平方種ニシテ第三網面ニアリテハ幅三九種、長サ六六種、面積約二六〇〇平方種ナリ。又第二網面ハ第三網面ト略同様ニシテ何レモ大サ中等ナリ。

次ニ網目ノ大サヲ見ルニ第一面ノ上部ハ縦目七・五目、横目七・〇目、下部ハ縦目五・七目、横目五・三目ニシテ縦ニ長方形ヲナシ他器ニ比シ細キ感アリ。第三面ハ縦目七・五目、横目六・八―七・四目ニシテ下半部ヲ密ニセリ。第二網面(碎米用)ハ縦目九・〇目、横目八・〇―八・二目ニシテ過大ナルガ如シ。各網面ノ線ハ銅線ニシテ第一網面ノ下部ニハ縦横共ニ二一番線ヲ用ヒ其ノ他ノ網面ニハ凡テ二五番線ヲ使用セルモ第一網面ニハ稍太キモノヲ使用スルヲ適當ト認ム。網面緊張ハ網ノ裏面ニ長サノ方向ノミニ二本ノ鐵棒ヲ張り網枠ヲ前後ニ緊張スル構造トセルモ均齊ヲ期シ難シ。

網面ノ勾配調節方法モ他器ニ類似シ第一網面ハ第二網面ト共ニ螺子ニテ後方ヨリ押上ゲ第二面ハ別ニ上部ノ臺木ヲ上下シテ僅ニ調節シ得ラル。第三網面ハ下端ヲ紐ニテ吊リ金棒ニ卷キ「ラチエツト」ニテ止メタリ。押上螺子ノ構造良好ナラズ。調節ノ圓滑ヲ缺ク嫌アルヲ以テ改善ヲ要ス。次ニ各網面ノ勾配調節範圍ハ第一網面三〇度乃至三三度、第二網面三〇・五度―三五・〇度、第三網面二八・五度乃至三七・〇度ニシテ調節範圍狭キヲ以テ更ニ緩傾斜トナシ得ル様改善ヲ要ス。

使用成績ニ付キテ見ルニ第一網面ニ於テハ枠ノ接目ノ抵抗ヲ受ケ選別物ノ流下速カナラズ。網面ヨリ落下シ第二口以下ニ出ツル量多ク効程高キモ第二網面(碎米用)ノ網目稍大ナル爲碎米口ニ完全米ノ落下量多キハ遺憾トス。然レ共仕上米選別状態ハ普通ニシテ成績概シテ普通ナリ。

第三 縦線選穀器鑑定試験成績

名	稱	價 格 (工場渡シ)	住 所	氏 名
野田	式立線米選機	10.00	香川縣綾歌郡西庄村一五六〇	野田 文 次 郎
ケイ	オー立線米選機一號型	15.00	香川縣三豊郡上高野村一八	上 森 農 機 商 會
福利	號縱線米選機	19.00	神戸市林田區千歲町四丁目一	日本農機製造株式會社
更 生	號 米 選 機	13.00	久留米市明治通三丁目一〇七	東洋農機株式會社九州支店
サ ト	ー 式 米 選 機	13.00	鳥根縣八東郡揖屋町六六七ノ一	株式會社 佐藤商會
サ ト	ウ 式 ス ピ ー 米 選 機	18.00	岡山市内山下元町三丁目二四	佐 藤 庄 次 郎
三 德	平 面 選 穀 機	15.00	兵庫縣揖保郡神部村四八ノ二	株式會社 三德萬石製造所
三 德	三 段 選 穀 機	17.00	同	同
シ	バ タ 式 大 黒 印 米 選 機 (平 面)	13.00	兵庫縣赤穂郡上郡町上郡二三六	株式會社 柴 田 商 會
同		13.00	同	同
伸 和	式 米 選 機 (一)	13.00	神戸市神戶區三宮一丁目六	和 田 商 店 機 械 部
同		13.00	同	同

二 供試材料

供試玄米ハ本縣獎勵品種タル水稻神山種ニシテ佐賀市神野町附近ニ於ケル地味相似タル土地ノ昭和九年産米ナリ。病害蟲ノ被害、風害等殆ドナク、順調ニ生育シ充實良好ニシテ供試材料トシテ適當ト認メラレタリ。

供試玄米ニツキ調査セルトコロヲ記セバ次ノ如シ。

品 種 名	神山
長	五・二〇耗(二百粒調査ノ平均)
幅	三・一〇耗(同)
厚	二・二〇耗(同)
完全米千粒重量	二四・八瓦(千粒十回測定ノ平均)
玄米含有水分量	一四・〇%
玄米一升重量	四〇五瓦(一、五二〇瓦)
檢 査 等 級	四等中
肌摺ノ多少	微
材料選別成績	
完 全 粒	九〇・八〇%
不 完 全 粒	六・七五%
粗	〇・〇〇%

批	二・四五%
稈	〇・〇〇%

三 試驗方法

試驗ハ無風状態ノ室内ニ於テ第一次試験、第二次試験ノ二回ニ分テ施行セリ。而シテ各試験ニ於ケル供試玄米量ハ六二疋(四斗一升三合)ト定メタリ。先ヅ供試器ヲ帆布筵ヲ敷キタル床上ニ水平ニ据ヘ付ケ、一―二斗ノ豫備材料ニ付線間隔線面ノ傾斜角度漏斗ノ開度等ヲ種々ニ調節シ最モ適當ト認ムル調節状態ヲ驗知シ、然ル後試験ニ着手セリ。

第一次試験ニ於テハ各供試器ニ對シ毎時程約一石トナル様漏斗ノ開度ヲ決定シ、選別ノ完全ヲ期シ線間隔傾斜角度ヲ調節シテ試験シ、第二次試験ニ於テハ各器ノ最良選別状態ニ於ケル最大程ヲ調査セリ。

試験開始前供試玄米ノ一部ヲ漏斗ニ投入シ置キ漏斗ノ落口ヲ開キテ開始シ、漏斗内ノ玄米ノ絶エザル様注意シ特定ノ農夫ヲシテ静カニ漸次供試全量ヲ投入セシメ漏斗ヨリ全量ノ落下シ終レル迄ノ時間ヲ調査セリ。而シテ仕上米及屑米ハ容器ニ取り秤量シ仕上米ハ全量ヲ大略五分シ各區分ヨリ一升宛ヲ採集シ充分混合シ、更ニ五等分シ各區分ヨリ再ビ二合宛ヲ採集シ混合シテ再選別調査材料ニ供用セリ。又屑米ハ全量ヲヨク混合シ再選別ノ材料ニ供シタリ。

選別方法ハ先ヅ材料一〇〇瓦宛ヲ二耗目篩ニヨリ充分篩別シ、篩ノ上ニ殘レルモノニシテ充實良好ナルモノ(生色ノモノ)ヲ完全米トシ然ラザルモノハ批トシ、又篩下ニ落下セルモノニシテ不整形ナルモ色澤生色ナルモノハ不完全米トシ、完全米ト同質ニシテ碎ケタルモノヲ碎米トシ色澤ニ生色ヲ認メザルモノハ凡テ批米トセリ。

